

第5次ニセコ町総合計画【2012～2023年度】
第2次見直し(2020～2023年度向け)

住民アンケート調査報告書

2019年11月
ニセコ町

目次

1: アンケート調査の概要	4
1-1. 目的	4
1-2. 実施概要	4
2: アンケート調査の体系	5
2-1. アンケート調査の設計	5
2-2. アンケート調査の進め方	6
3: 集計と解析の結果、および、2015年度調査との比較	6
3-1. サンプルの歪み	6
3-2. 単純集計とクロス集計、および、重回帰分析	7
(1)ニセコ町全体の選択肢ごとの割合と満足度平均値、重視度(影響度)	7
(2)地区ごとの満足度平均値と2015年度との比較	11
3-3. 2010年度と2015年度からの推移・変化に関するヒアリングと考察	13
1 学校教育に関するアンケート調査の結果から	13
2 地域住民の学習機会に関するアンケート調査の結果から	17
3 地域の歴史文化に関するアンケート調査の結果から	19
4 環境の保全・創造に関するアンケート調査の結果から	21
5 地域における省エネと再生エネルギーの活用に関するアンケート調査の結果から	25
6 住宅や住宅地に関するアンケート調査の結果から	27
7 交通網に関するアンケート調査の結果から	30
8 防災・防犯に関するアンケート調査の結果から	34
9 医療・健康に関するアンケート調査の結果から	36
10 高齢者福祉に関するアンケート調査の結果から	38
11 子育て支援に関するアンケート調査の結果から	40
12 障害者福祉に関するアンケート調査の結果から	43
13 観光に関するアンケート調査の結果から	45
14 農業に関するアンケート調査の結果から	48
15 林業に関するアンケート調査の結果から	51
16 商工業に関するアンケート調査の結果から	52
17 情報共有に関するアンケート調査の結果から	54
18 住民参加に関するアンケート調査の結果から	57
19 行財政に関するアンケート調査の結果から	59
20 連携によるまちづくりに関するアンケート調査の結果から	62
21 まちづくり基本条例に関するアンケート調査の結果から	64
22 4年間のまちづくり全体について	65
4: まとめ	67
4-1. アンケートとヒアリングから	67
4-2. 重点課題の絞り込みに向けて(アンケート分析からの視点)	70
5: 資料	79
1: アンケート調査票	80
2: アンケート自由記述回答	88
3: アンケート単純集計結果一覧	124

1：アンケート調査の概要

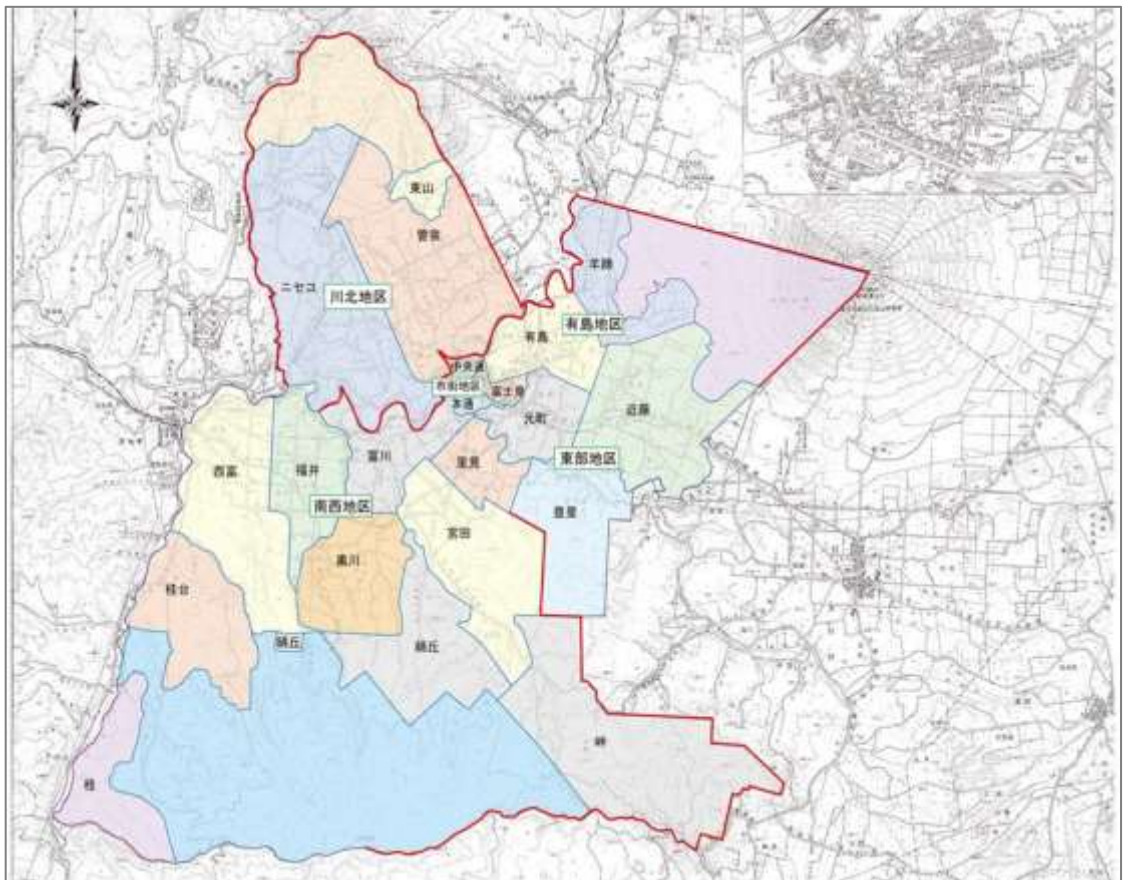
1-1. 目的

第5次ニセコ町総合計画の4年ごとの見直しにあたっては、町民による外部評価と庁内における内部評価の双方が必要となる。

そこで、外部評価の手法として町民アンケート調査を実施し、第1次見直し時のアンケート調査結果と比較すること等から、外部評価の視点と評価内容を得ることとした。

1-2. 実施概要

- アンケート調査の趣旨と目的：第5次総合計画の第2期（平成28～31年度／4年間）の検証として、まちづくりの現状をどのように評価するか（満足度）について町民意識を把握し、アンケート結果から重要度認識を分析して、第5次総合計画の第2次見直しに反映する。
- アンケート調査実施期間：2019年6月28日（金）～7月16日（火）締め切り
回収経過は、次ページの通りである。
督促状送付による回収数増加の効果が大きかった。
- アンケート調査対象者：18歳以上のニセコ町民1,500人を住民基本台帳から無作為抽出
- 回収者数と回収率：回収者数＝590人、回収率＝39.3%
- 回収サンプル集団の統計有意性について：95%有意性（5%棄却）を確保
- 調査項目の体系：前回（平成22年度実施）と基本的に同じだが、前回聞いていない項目で新たに追加した項目もある。また、設問の文章表現を修正したものもある。
- 調査対象エリアの地区区分：地区別の特徴を把握するため、前回アンケート同様の地区区分とした。大きく、川北地区、有島地区、市街地区、東部地区、南西地区の5区分とし、それぞれの範囲は、下記の地図の通りとした。



	完全回答	宛先不在	部分回答		
6月28日	発送				
6月29日	休				
6月30日	休				
7月1日	12	4	0		
7月2日	20	6	0		
7月3日	26	0	1		
7月4日	34	1	0		
7月5日	31	1	0		
7月6日	休				
7月7日	休				
7月8日	55	3	0		
7月9日	24	1	0		
7月10日	13	0	0	督促発送	
7月11日	20	0	0		
7月12日	24	1			
7月13日	休				
7月14日	休				
7月15日	休				
7月16日	229	0	0	締め切り	
7月17日	59	0	1		
7月18日	17	0	0		
7月19日	8	0	0		
7月20日	休				
7月21日	休				
7月22日	8	0	0		
7月23日	2	0	0		
7月24日	2	0	0		
7月25日	0	0			
7月26日	1	0	0		
7月27日	休				
7月28日	休				
7月29日	2	0	0		
7月30日	1	0	0		
8月13日	0	1	0	回収数	回収率
計	588	18	2	590	39.3%



2：アンケート調査の体系

2-1. アンケート調査の設計

アンケートの質問の体系は、平成 27 年度に実施したアンケート調査の満足度項目のみとした。前回の住民評価以降 4 年経過して 2 度目の見直し時期を迎え、どのように変化したのかを知ることが、今回のアンケート調査のもっとも主要な目的だからである。

前回の調査項目にはなかった施策領域であっても、第 5 次総合計画に位置づけられた項目については、住民の満足度調査を経ることが不可欠となったので、そのような項目については新規に追加設定した。

同様に、4 年が経過して、その間の状況の変化により不要になった設問項目があれば今回は削除する方針であったが、そのような項目はなかった。

質問文としてわかりにくい表現や、施策内容に関する聞き方として適切とは言えない表現についても、担当者と相談して修正を加えることとなった。

そのため、アンケート質問文修正案作成前に、それぞれの関係担当者から個別にヒアリングを行い、修正や加除等に関する協議を行って文案を確定した。

以上が、アンケート調査の設計にあたっての、基本的留意事項と進め方であった。

アンケート調査の質問の体系は、上右図の通りである。

また、住民に発送したアンケート調査用紙は、資料編 78 ページのとおりである。

3-2. 単純集計とクロス集計、および、重回帰分析

集計については、次の形で行った。

① ニセコ町全体の選択肢ごとの比率と満足度平均をく単純集計>

※満足度の重み付けは、満足=100、やや満足=67、やや不満=33、不満=0

② ニセコ町全体の、性別、地区別、居住歴別、国籍別の満足度平均に関する<クロス集計>

③ ニセコ町全体の「重視度（影響度）」に関する<重回帰分析>

また、これら①～③について、平成27年度のアンケート調査との比較による推移分析も行った。これらの解析と分析の結果を、2種類の表にまとめた。

(1) ニセコ町全体の選択肢ごとの割合と、満足度平均値、重視度（影響度）

2019年度のアンケート調査における設問項目		満足	やや満足	やや不満	不満	ニセコ町全体の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
		1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
(1)	子どもの教育に関する次の各項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	情緒豊かで礼儀正しい子どもの教育について	14.5%	56.3%	20.9%	8.3%	52.3	55.8	59.1	3.3	II	I	I
2	学習意欲があり、自分で考えることができる子どもの教育について	9.8%	52.4%	28.0%	9.8%	47.4	49.0	54.2	5.1	IV	IV	I
3	ふるさとニセコを愛する子どもの教育について	15.8%	54.6%	22.3%	7.2%	51.3	56.0	59.8	3.8	II	II	II
4	国際化や情報化に対応できる子どもの教育について	13.3%	49.2%	26.2%	11.3%	41.3	51.5	54.9	3.4	III	II	II
5	幼児センターから高等学校まで連携して、教育や子育てを向上させているか	11.1%	44.3%	30.1%	14.5%	45.0	44.4	50.7	6.3	IV	IV	II
6	学校教育と地域住民は連携して教育環境や内容の充実を図っているか	9.9%	44.9%	34.3%	11.0%	46.5	46.2	51.3	5.1	IV	IV	I
7	「学校の教育」全体についての満足度は?	8.2%	52.3%	29.4%	10.1%	45.7	46.9	52.9	6.0			II
(2)	地域住民の学習機会に関する次の各項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	「あそぶっく」が地域住民の学びの場になっているか	25.1%	52.1%	16.2%	6.5%		64.8	65.4	0.6		II	II
2	「あそぶっく」以外の、学びの場や機会について	4.4%	35.7%	40.1%	19.7%	44.0	41.1	41.6	0.5	IV	III	III
3	地域住民の学習活動のリーダーが育っているか	3.1%	27.4%	48.7%	20.8%	36.1	35.1	37.5	2.5	III	IV	IV
4	地域において青少年が健全に育っていると思うか	13.1%	54.6%	22.6%	9.8%	45.4	55.1	57.1	2.0	IV	II	II
5	町民が利用するスポーツ施設について	12.9%	43.9%	25.4%	17.7%	51.3	52.3	50.7	-1.6	I	I	I
6	スポーツ合宿の誘致が可能な施設について	5.8%	25.5%	40.3%	28.4%		34.8	36.2	1.3		IV	IV
7	「地域住民の学習機会」全体についての満足度は?	5.5%	44.5%	37.4%	12.6%	44.8	46.1	47.7	1.6			IV
(3)	地域の歴史文化に関する次の各項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	有島記念館の展示やイベントについて	20.2%	61.2%	13.1%	5.5%	57.5	59.6	65.5	6.0	II	II	II
2	有島武郎や有島農場の歴史、文化、景観などの継承について	21.1%	55.1%	18.7%	5.0%	57.9	59.3	64.2	5.0	II	II	II
3	先人の知恵や経験などの文化遺産を発掘・保全する活動について	13.7%	51.0%	25.8%	9.6%	49.3	50.5	56.3	5.9	IV	II	II
4	地域の歴史文化を活用した様々なイベントや事業の実施について	13.7%	48.0%	29.0%	9.3%		47.0	55.4	8.4		IV	I
5	町民の文化活動が活発に行われているか	9.9%	48.9%	29.5%	11.6%	50.4	51.2	52.4	1.3	II	I	II
6	町民が文化活動を行う施設について	13.5%	44.8%	28.1%	13.5%	46.1	51.6	52.8	1.2	III	II	II
7	町民の文化活動に対する行政の支援について	9.5%	45.4%	31.7%	13.3%	46.6	49.1	50.4	1.3	IV	IV	I
8	「地域の歴史文化」全体についての満足度は?	10.1%	47.9%	33.4%	8.6%	46.6	46.2	53.2	7.1			II
(4)	環境の保全・創造に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	環境への配慮が行われているかを評価する仕組みについて	14.4%	47.1%	24.4%	14.1%		57.8	54.0	-3.8		II	II
2	ごみの分別やリサイクルの取組みなどについて	25.6%	47.2%	17.6%	9.6%	64.7	59.9	63.0	3.1	II	I	II
3	公共下水道や合併処理浄化槽など排水処理による水環境の保全について	22.4%	49.1%	18.9%	9.6%	58.3	63.0	61.5	-1.5	II	II	II
4	水源や水源周辺周辺の保全について	23.1%	46.8%	19.2%	10.9%		64.0	60.8	-3.3		II	II
5	安全・安心でおいしい水の供給について	39.4%	45.0%	10.5%	5.0%		74.0	73.1	-1.0		II	II
6	市街地やリゾート地、農地における河川環境の保全について	15.0%	43.7%	29.5%	11.8%	45.4	56.0	54.0	-2.0	III	II	I
7	市街地やリゾート地、農地における森林など緑環境の保全について	15.2%	36.0%	30.2%	18.5%	42.5	52.7	49.3	-3.4	IV	II	III
8	ニセコ町の土地利用が適切に行われているか	10.3%	25.4%	35.8%	28.5%	33.1	39.7	39.2	-0.5	IV	III	IV
9	準都市計画区域のエリアの現状について	8.8%	33.9%	33.6%	23.7%		45.4	42.6	-2.8		IV	IV
10	「環境の保全・創造」全体についての満足度は?	10.5%	38.3%	36.0%	15.3%	44.0	52.7	48.0	-4.8			IV

※網掛けは最大多数の選択肢

※網掛けは±5%以上の増減

2019年度のアンケート調査における設問項目		満足	やや満足	やや不満	不満	ニセコ町全体の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
		1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
(5)	地域における再生エネルギーの活用と省エネの状況について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	地域の実状に見合った省エネや多様な再生可能エネルギーの利用について	7.3%	40.2%	36.9%	15.6%		36.6	46.4	9.8		Ⅲ	Ⅲ
2	再生可能エネルギー(太陽光、水力等)を自給する仕組みづくりについて	9.1%	31.8%	39.2%	19.9%		33.6	43.3	9.8		Ⅲ	Ⅲ
3	暮らしや経済活動における二酸化炭素削減の取組について	10.9%	39.6%	34.7%	14.7%	51.9	41.8	48.9	7.1	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ
4	地域交通における省エネルギーの推進について	9.8%	31.6%	40.7%	17.9%		40.7	44.4	3.7		Ⅲ	Ⅲ
5	エネルギー等環境に関する地域課題を解決するビジネスの起業について	7.5%	26.4%	44.9%	21.1%		33.7	40.0	6.3		Ⅳ	Ⅳ
6	「地域における省エネと再生エネルギー活用」全体についての満足度は?	8.1%	34.2%	39.0%	18.6%		37.4	43.9	6.6			Ⅲ
(6)	住宅や住宅地に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	現在住んでいる居住地周辺の景観や環境について	27.6%	49.4%	13.0%	10.1%	67.1	66.9	64.9	-2.0	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ
2	町営住宅を修理しながら長く使うことについて	27.5%	53.1%	12.8%	6.5%	75.6	71.6	67.4	-4.2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3	町営住宅の広さと居住者の家族構成が見合うような調整が行われているか	11.2%	37.3%	29.2%	22.4%		44.9	45.8	0.9		Ⅲ	Ⅲ
4	自宅の暖房や断熱などエネルギーの効率について	18.6%	36.0%	29.7%	15.7%			52.6				Ⅰ
5	住宅不足を解消するための、民間住宅の建設促進について	8.6%	37.4%	35.4%	18.7%		49.6	45.3	-4.3		Ⅲ	Ⅳ
6	現在住んでいる居住地周辺の生活道路の除排雪について	22.3%	38.3%	21.4%	17.9%	52.0	50.5	55.1	4.5	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
7	廃屋の環境・景観対策について	2.7%	21.1%	38.2%	38.0%		34.1	29.4	-4.7		Ⅳ	Ⅳ
8	「住宅や住宅地」全体についての満足度は?	9.5%	48.1%	30.2%	12.2%	59.9	51.3	51.7	0.4			Ⅱ
(7)	交通網に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	町道や道道など生活道路の整備状況について	14.2%	49.9%	22.5%	13.4%	59.8	55.1	55.0	-0.1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2	歩いて楽しくなるような景観や環境の道づくりが行われているか	7.8%	37.1%	35.1%	20.0%	41.4	38.1	44.3	6.1	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
3	普段通る道では歩道設置など安全性の確保がされているか	11.5%	35.3%	31.3%	21.9%	44.5	40.9	45.5	4.6	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
4	デマンドバス「にこっとBUS」の利便性などについて	12.6%	37.0%	28.0%	22.5%	47.7	44.2	46.6	2.3	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
5	公共交通機関(JRやバスなど)の使いやすさについて	4.7%	16.6%	37.7%	41.0%			28.3				Ⅳ
6	高速道路や新幹線などの整備促進の取組について	9.1%	32.6%	36.6%	21.8%	34.7	47.9	43.0	-4.9	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
7	商店街や公共施設などの使いやすさについて	7.0%	33.6%	36.7%	22.7%		46.2	41.6	-4.6		Ⅲ	Ⅳ
8	「交通網」全体についての満足度は?	4.7%	25.2%	41.7%	28.4%	43.0	40.9	35.4	-5.5			Ⅳ
(8)	防災・防犯に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	「原子力防災計画」の周知について	8.5%	42.6%	32.2%	16.8%		41.0	47.6	6.6		Ⅲ	Ⅲ
2	広域の消防体制・救急体制の充実について	16.4%	56.8%	18.9%	7.9%		58.8	60.7	1.9		Ⅱ	Ⅱ
3	町民参加の避難訓練について	7.5%	39.7%	40.4%	12.4%		43.6	47.4	3.8		Ⅳ	Ⅲ
4	防災拠点としての役場庁舎の整備状況について	9.6%	43.2%	31.9%	15.3%		34.8	49.1	14.3		Ⅲ	Ⅲ
5	防災備品の定期的な点検の状況について	9.3%	40.0%	36.0%	14.7%		47.4	48.0	0.6		Ⅳ	Ⅳ
6	災害時における町内避難経路について	9.1%	41.4%	35.5%	14.0%		45.0	48.6	3.5		Ⅳ	Ⅳ
7	消費者詐欺等から消費者が自らを守るための行政の支援について	10.6%	32.6%	37.9%	18.9%		43.2	44.9	1.7		Ⅳ	Ⅳ
8	「防災・防犯」全体についての満足度は?	6.5%	44.2%	36.4%	12.9%		45.0	48.1	3.1			Ⅲ
(9)	医療・健康に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	長く元気で暮らせるための健康づくりの取組について	12.8%	55.3%	24.8%	7.1%	51.1	52.0	58.0	6.0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2	健康的な食生活と、自分にあった運動について	12.5%	54.5%	26.9%	6.0%		55.6	57.9	2.3		Ⅱ	Ⅱ
3	健康診断の受診率を向上させる取組について	12.8%	55.4%	24.4%	7.4%		55.3	58.0	2.7		Ⅱ	Ⅱ
4	健康保険、介護保険、医療機関等の広域的取組について	10.8%	46.9%	32.2%	10.1%		47.2	52.9	5.7		Ⅳ	Ⅰ
5	「医療・健康」全体についての満足度は?	8.8%	47.4%	32.7%	11.2%		46.4	51.3	4.9			Ⅱ
(10)	高齢者福祉に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	高齢者を地域で助け合う身近な見守り、介護、福祉について	10.1%	43.7%	35.3%	10.9%	46.2	47.4	51.0	3.6	Ⅳ	Ⅳ	Ⅰ
2	高齢者が外出し社会参加する機会について	9.6%	45.2%	33.8%	11.4%	50.6	48.7	51.1	2.4	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
3	段差など使いにくい公共施設は解消されているか	8.9%	46.9%	32.8%	11.4%	39.4	39.0	51.2	12.1	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
4	災害や犯罪などから高齢者を守る取組について	6.5%	32.2%	46.4%	14.9%	36.3	32.1	43.4	11.3	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
5	「高齢者福祉」全体についての満足度は?	6.9%	42.7%	39.7%	10.7%	42.8	42.7	48.6	5.8			Ⅳ

※網掛けは最大多数の選択肢

※網掛けは±5%以上の増減

2019年度のアンケート調査における設問項目		満足	やや満足	やや不満	不満	ニセコ町全体の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
		1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
(11)	子育て支援に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
2	子育て支援に関わる多様な人々のネットワークについて	10.5%	51.6%	30.6%	7.3%		53.4	55.2	1.8		I	I
3	子育てをしながら安心して働くことができる職場環境について	8.3%	39.4%	37.5%	14.8%	44.0	41.6	47.1	5.5	IV	III	III
4	子育ての悩みを一人で抱えずに相談や交流できる仕組みについて	8.4%	46.2%	34.5%	10.8%	46.3	47.2	50.8	3.6	III	IV	I
5	家庭において家族が子育てに協力し合う男女共同の取組みについて	8.6%	48.5%	32.6%	10.3%	49.0	46.3	51.8	5.5	IV	IV	II
6	公園など子どもが安心して遊べる環境の整備状況は?	5.9%	36.2%	39.1%	18.8%			43.0				III
7	幼児センター、子育て支援センターなどの取組みについて	12.8%	58.1%	21.3%	7.8%	59.7	58.5	58.8	0.3	I	II	I
8	「子育て支援」全体についての満足度は?	7.8%	51.5%	32.1%	8.5%	48.2	48.2	53.0	4.8			I
(12)	障がい者福祉に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	相互扶助の精神により支え助け合い、共に暮らす地域福祉活動について	9.5%	44.2%	31.0%	15.3%		46.8	49.4	2.6		II	III
2	障がい者への、教育支援、就労支援、保健・医療・リハビリ支援について	8.6%	41.6%	34.3%	15.5%		42.1	47.8	5.8		IV	IV
3	障がい者が自立し充実した生活を送るための、相談・支援の取組みについて	8.9%	38.4%	37.9%	14.8%		41.0	47.1	6.1		IV	III
4	障がい者が安全安心に暮らせる生活環境について	7.8%	35.8%	36.2%	20.2%		40.3	43.7	3.4		IV	IV
5	「障がい者福祉」全体についての満足度は?	8.6%	38.5%	35.7%	17.2%		41.6	46.2	4.5			III
(13)	観光に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	農業など他産業と連携する観光産業が活性化しているか	9.5%	43.0%	34.0%	13.4%	44.5	50.9	49.6	-1.3	III	II	III
2	魅力的なイベント等による新たな観光の掘り起こしについて	8.6%	35.7%	37.9%	17.9%	43.1	46.4	45.0	-1.4	III	IV	III
3	会議、視察、大会、展示会などの誘致と開催について	8.9%	38.0%	35.0%	18.1%		41.0	45.9	4.9		III	III
4	周辺町村との広域的な観光振興が行われているか	8.6%	32.4%	40.4%	18.6%	40.4	43.6	43.6	0.0	III	III	III
5	国内や海外からの観光客に対する住民のおもてなしについて	8.4%	39.8%	35.8%	16.0%	43.3	48.5	46.9	-1.6	IV	III	IV
6	大規模なリゾート観光開発の進め方について	6.8%	23.6%	33.9%	35.8%	31.6	37.2	33.8	-3.4	IV	IV	IV
7	リゾート観光エリアと市街地商店街の経済循環について	5.2%	16.7%	41.5%	36.6%		28.9	30.1	1.2		IV	IV
8	「観光」全体についての満足度は?	6.0%	34.4%	38.3%	21.3%	42.0	44.4	41.7	-2.8			IV
(14)	農業に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	地元住民消費者や他産業と連携する新たな農業の展開について	6.7%	40.7%	38.9%	13.7%	41.8	44.3	46.8	2.5	II	III	III
2	都市住民との交流を深めるグリーンツーリズムの現状について	6.9%	36.4%	43.3%	13.4%		42.5	45.6	3.1		III	IV
3	担い手や後継者の育成などがなされているか	5.9%	26.7%	38.4%	29.0%	33.5	38.3	36.4	-1.9	III	III	III
4	環境と調和したクリーン農業によるブランド化の展開について	7.3%	41.0%	37.7%	13.9%	44.3	44.1	47.3	3.1	IV	IV	III
5	ニセコらしい農村景観について	12.0%	48.1%	26.1%	13.8%	48.1	50.6	52.8	2.3	III	II	II
6	農業への支援システムづくりについて	7.1%	33.3%	39.1%	20.4%		39.5	42.4	2.8		IV	IV
7	共同経営体や農作業の受託をする組織を作り育てることについて	7.1%	32.2%	40.3%	20.4%		38.7	42.0	3.3		IV	IV
8	農地の保全状態について	7.9%	40.2%	33.1%	18.9%	32.8	40.5	45.7	5.1	IV	IV	IV
9	地域合意に基づく農村地区の集落再編について	7.9%	36.1%	37.6%	18.3%		44.2	44.5	0.3		III	IV
10	基幹農作物の安定生産と、多様な農作物の生産について	9.0%	56.0%	25.3%	9.7%		38.3	54.9	16.5		IV	I
11	「農業」全体についての満足度は?	5.9%	47.4%	33.2%	13.5%	37.5	41.9	48.6	6.7			III
(15)	林業に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	林業労働者の確保や林業経営の状況について	8.0%	28.8%	33.6%	29.6%		37.7	38.4	0.7		III	III
2	計画的な森林づくりの状況について	6.7%	27.3%	32.7%	33.3%		37.9	35.8	-2.2		IV	IV
3	「林業」全体についての満足度は?	8.8%	27.2%	32.0%	32.0%		37.4	37.6	0.2			III
(16)	商工業に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	観光や農業等他分野と連携した魅力ある地元産品づくりについて	7.5%	40.2%	32.2%	20.1%	38.6	41.0	45.1	4.0	III	III	III
2	綺羅街道など市街地の商店街について	6.1%	32.5%	37.4%	24.0%	35.5	33.4	40.2	6.9	IV	IV	III
3	道の駅ビュープラザと周辺のショッピングエリアについて	12.3%	44.6%	29.0%	14.0%	55.5	54.0	51.8	-2.2	II	II	II
4	観光産業との経済循環について	7.0%	34.6%	39.5%	18.9%		42.3	43.2	0.9		III	IV
5	生活に必要な商品やサービスが町内で充たされているか	3.7%	18.0%	34.8%	43.4%		20.5	27.3	6.8		III	IV
6	小規模であっても多様なビジネスが起業・創業されているか	6.1%	35.2%	31.7%	26.9%		32.6	40.2	7.6		IV	IV
7	「商工業」全体についての満足度は?	5.2%	28.5%	41.4%	24.9%	37.7	32.3	38.0	5.7			IV

※網掛けは最大多数の選択肢

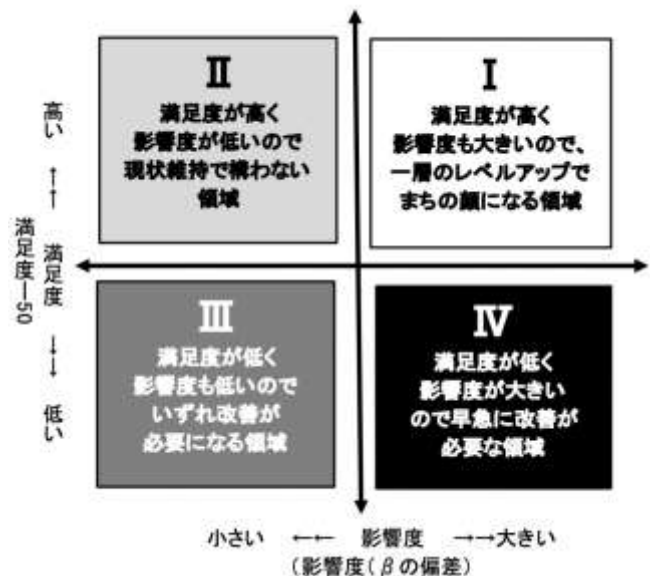
※網掛けは±5%以上の増減

2019年度のアンケート調査における設問項目		満足	やや満足	やや不満	不満	ニセコ町全体の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
		1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
(17)	情報共有に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	住民の暮らしに役立つ情報共有の仕組みについて	13.0%	45.3%	28.7%	13.0%	39.7	48.9	52.8	3.9	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ
2	ラジオニセコによる情報提供について	19.2%	49.0%	19.6%	12.1%			58.5				Ⅱ
3	行政情報の分かりやすさや迅速性等、情報内容の質の向上について	9.5%	40.8%	33.7%	16.0%	40.6	44.0	47.9	4.0	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ
4	光通信網など情報を活用しやすい通信環境の整備について	14.9%	43.2%	26.5%	15.4%	50.7	52.2	52.6	0.4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
5	「情報共有」全体についての満足度は?	9.8%	42.4%	34.5%	13.2%	41.3	46.6	49.7	3.1			Ⅲ
(18)	住民参加に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	住民参加の仕組みが機能しているかについて	9.3%	41.2%	31.6%	17.9%	49.9	47.5	47.4	-0.1	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
2	住民自らが考え行動するまちづくりの活動について	8.0%	38.2%	36.5%	17.4%	47.1	44.8	45.6	0.8	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
3	町内会など地区を良くする活動について	9.8%	43.0%	31.0%	16.2%	47.1	48.6	48.9	0.2	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ
4	「住民参加」全体についての満足度は?	7.9%	43.2%	32.7%	16.2%	50.2	47.0	47.6	0.6			Ⅳ
(19)	行財政に関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	住民に対して役場職員は迅速で柔軟な対応ができていますか	15.8%	42.6%	24.3%	17.3%	49.3	44.0	52.4	8.3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
2	役場の行政事務に町民にも見えやすい透明性があるか	10.3%	37.2%	33.3%	19.2%	48.0	43.2	46.2	3.0	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
3	役場職員の能力が向上しているか	9.9%	34.1%	32.1%	23.9%	44.2	39.4	43.4	4.0	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
4	町の財政の持続可能な運営がなされているか	5.4%	39.6%	35.5%	19.5%	46.8	37.8	43.7	5.9	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ
5	町の財政状況に関する透明性や分かりやすさについて	8.5%	43.5%	30.0%	17.9%		44.2	47.6	3.4		Ⅲ	Ⅳ
6	町の状況から見て、住民の負担と受益はバランスが取れているか	6.4%	36.8%	34.8%	22.0%	44.7	36.0	42.5	6.5	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
7	「行財政」全体についての満足度は?	7.0%	40.8%	34.3%	17.9%	45.9	41.0	45.6	4.6			Ⅳ
(20)	連携によるまちづくりに関する次の項目について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	ニセコを支え応援する多様な人々との連携について	9.4%	53.6%	27.0%	10.0%	51.3	53.0	54.2	1.2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ
2	羊蹄山麓や後志管内などにおける、広域行政の推進について	7.0%	49.7%	32.9%	10.4%	46.2	50.6	51.2	0.6	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
3	国際交流活動を支える取組みについて	10.3%	53.1%	26.9%	9.7%	45.3	55.3	54.8	-0.6	Ⅳ	Ⅱ	Ⅰ
4	「連携によるまちづくり」全体についての満足度は?	6.2%	52.4%	32.2%	9.2%	47.2	50.2	51.9	1.7			Ⅰ
(21)	情報共有と住民参加を基軸とする「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
	「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体についての満足度は?	7.8%	51.9%	27.2%	13.1%	52.7	51.9	51.5	-0.4			
(22)	この4年間(2015～2019)のニセコ町のまちづくり全体について	1	2	3	4	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
	この4年間のまちづくり全体についての満足度は?	7.6%	51.0%	29.0%	12.4%	50.5	50.8	50.8	-0.1			

※網掛けは最大多数の選択肢

※網掛けは±5%以上の増減

※影響度（重要度）指標の類型



(2) 地区ごとの満足度平均値と、2015年度との比較

2019年度のアンケート調査における設問項目	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	
(1) 子どもの教育に関する次の各項目について																									
1 情緒豊かで礼儀正しい子どもの教育について	52.3	55.8	59.1	3.3	49.3	62.0	57.9	-4.1	52.7	54.2	57.8	3.7	52.5	56.3	57.2	0.9	54.3	65.2	63.4	-1.8	50.8	42.9	65.8	22.8	
2 学習意欲があり、自分で考えることができる子どもの教育について	47.4	49.0	54.2	5.1	47.6	52.1	48.9	-3.2	50.3	47.1	54.2	7.1	45.8	50.3	53.1	2.8	46.8	54.5	59.1	4.6	48.1	39.1	58.3	19.1	
3 ふるさと二セコを愛する子どもの教育について	51.3	56.0	58.8	3.8	53.0	58.7	60.2	1.5	54.6	56.1	57.2	1.1	49.8	57.2	59.0	1.8	56.5	64.2	63.4	-0.8	49.8	44.0	57.4	13.4	
4 国際化や情報化に対応できる子どもの教育について	41.3	51.5	54.9	3.4	41.5	50.1	50.7	0.6	40.8	53.4	60.2	6.7	41.6	53.2	52.8	-0.4	47.0	50.7	58.2	7.5	43.2	45.3	58.5	13.2	
5 幼児センターから高等学校まで連携して、教育や子育てを向上させているか	45.0	44.4	50.7	6.3	46.3	40.0	46.5	6.5	46.1	44.1	56.9	12.8	44.3	48.5	48.8	0.3	47.4	47.3	47.8	0.5	46.9	33.0	54.6	21.6	
6 学校教育と地域住民は連携して教育環境や内容の充実を図っているか	46.5	46.2	51.3	5.1	47.3	44.0	43.3	-0.7	49.3	46.0	56.9	10.9	42.9	46.2	49.0	2.8	44.0	54.1	56.7	2.6	45.9	42.4	53.3	10.8	
7 「学校の教育」全体についての満足度は?	45.7	46.9	52.9	6.0	45.1	43.4	45.7	2.2	44.9	47.7	55.2	7.4	44.9	49.1	47.9	-1.1	47.0	51.9	62.4	10.5	46.2	44.0	60.6	16.6	
(2) 地域住民の学習機会に関する次の各項目について																									
1 「あそぶっく」が地域住民の学びの場になっているか	64.8	65.4	66.0	0.6	71.2	63.8	-7.4	67.5	65.2	-2.3	64.0	68.6	4.6	69.4	66.8	-2.6	63.4	66.8	3.4						
2 「あそぶっく」以外の、学びの場や機会について	44.0	41.1	41.6	0.5	40.4	40.5	42.2	1.7	45.1	39.7	42.6	2.9	44.8	44.0	42.3	-1.7	47.3	41.6	37.0	-4.6	42.4	38.9	42.6	3.6	
3 地域住民の学習活動のリーダーが育っているか	36.1	35.1	37.5	2.5	29.4	36.6	42.1	5.5	34.1	36.6	39.5	3.0	39.2	35.7	36.5	0.7	37.5	40.6	33.2	-7.4	31.8	29.6	35.7	6.1	
4 地域において青少年が健全に育っていると思うか	45.4	55.1	57.1	2.0	41.5	58.5	62.0	3.6	43.7	54.9	53.1	-1.9	46.6	54.6	56.9	2.3	51.0	55.4	55.6	0.2	45.2	54.0	61.3	7.3	
5 町民が利用するスポーツ施設について	51.3	52.3	50.7	-1.6	48.0	52.7	52.7	0.0	50.3	54.0	50.5	-3.5	51.5	53.1	51.5	-1.6	51.2	52.2	48.3	-3.9	51.5	55.6	51.8	-3.8	
6 スポーツ合宿の誘致が可能な施設について	34.8	36.2	1.3	38.2	38.5	0.3	35.3	36.7	1.4	33.3	36.3	3.0	38.2	34.5	-3.7	38.8	45.3	6.5							
7 「地域住民の学習機会」全体についての満足度は?	44.8	46.1	47.7	1.6	41.3	44.3	46.6	2.3	41.1	49.3	50.3	1.0	46.7	46.5	47.5	1.0	52.7	49.1	46.7	-2.4	41.9	48.4	50.1	1.7	
(3) 地域の歴史文化に関する次の各項目について																									
1 有島記念館の展示やイベントについて	57.5	59.6	65.5	6.0	50.9	65.4	63.9	-1.5	60.8	62.4	64.4	2.1	57.6	59.9	68.0	8.1	61.1	56.2	61.9	5.8	57.9	55.4	69.8	14.5	
2 有島武郎や有島農場の歴史、文化、景観などの継承について	57.9	59.3	64.2	5.0	53.3	63.1	62.4	-0.7	58.0	61.1	63.9	2.7	58.1	60.5	63.8	3.3	61.3	60.7	61.6	0.9	60.3	56.2	70.7	14.5	
3 先人の知恵や経験などの文化遺産を発掘・保全する活動について	49.3	50.5	56.3	5.9	44.4	56.5	53.5	-3.0	50.9	53.1	56.0	2.9	50.3	52.1	56.7	4.6	45.3	47.2	53.4	6.2	48.1	45.1	64.1	19.0	
4 地域の歴史文化を活用した様々なイベントや事業の実施について	47.0	55.4	8.4	50.6	53.7	3.1	52.0	56.8	4.8	47.1	56.3	9.2	45.9	52.0	6.1	44.6	59.3	14.7							
5 町民の文化活動が活発に行われているか	50.4	51.2	52.4	1.3	47.0	50.0	52.0	2.0	49.0	53.3	53.3	0.0	51.7	53.8	52.2	-1.5	54.9	48.6	49.7	1.0	47.9	42.8	53.6	10.8	
6 町民が文化活動を行う施設について	46.1	51.6	52.8	1.2	42.2	51.4	54.9	3.5	43.4	52.5	50.7	-1.9	45.6	54.1	53.1	-0.9	49.1	52.6	50.5	-2.0	49.8	45.5	53.0	7.4	
7 町民の文化活動に対する行政の支援について	46.6	49.1	50.4	1.3	38.9	47.8	50.9	3.2	46.2	50.7	49.6	-1.1	47.8	53.5	51.9	-1.6	46.3	45.9	45.4	-0.5	49.3	41.9	54.3	12.4	
8 「地域の歴史文化」全体についての満足度は?	46.6	46.2	53.2	7.1	40.6	44.1	52.5	8.4	48.0	49.1	50.3	1.2	46.7	48.6	54.9	6.3	50.7	50.6	49.1	-1.5	49.3	38.0	58.0	20.1	
(4) 環境の保全・創造に関する次の項目について																									
1 環境への配慮が行われているかを評価する仕組みについて	57.8	54.0	-3.8	62.5	48.3	-14.2	58.3	56.5	-1.9	59.0	58.2	-0.9	59.0	47.9	-11.1	53.9	55.8	1.9							
2 ごみの分別やリサイクルの取組みなどについて	64.7	59.9	63.0	3.1	67.1	57.5	65.7	8.2	62.5	60.8	60.2	-0.5	64.6	61.8	62.5	0.7	62.1	59.7	58.3	-1.4	66.6	58.1	68.3	10.2	
3 公共下水道や合併処理浄化槽など排水処理による水環境の保全について	58.3	63.0	61.5	-1.5	46.2	55.7	52.3	-3.3	58.7	67.0	60.7	-6.3	64.0	70.1	69.5	-0.6	51.9	58.8	58.9	0.0	56.8	54.0	62.6	8.6	
4 水源地や水源地周辺の保全について	64.0	60.8	-3.3	62.4	52.6	-9.8	64.9	59.9	-5.0	67.0	66.4	-0.5	63.0	61.6	-1.3	59.0	66.1	7.1							
5 安全・安心でおいしい水の供給について	74.0	73.1	-1.0	75.8	70.7	-5.1	76.5	73.0	-3.5	75.1	76.8	1.7	69.0	68.3	-0.7	69.1	73.4	4.3							
6 市街地やリゾート地、農地における河川環境の保全について	45.4	56.0	54.0	-2.0	37.8	50.0	46.5	-3.4	44.6	60.5	56.9	-3.6	51.4	57.8	61.6	3.7	38.8	54.8	49.7	-5.2	41.7	54.2	54.2	0.0	
7 市街地やリゾート地、農地における森林など緑環境の保全について	42.5	52.7	49.3	-3.4	37.4	48.0	42.6	-5.4	42.1	58.8	51.1	-7.7	44.4	55.0	57.2	2.1	40.1	54.3	45.4	-8.9	43.3	50.6	52.4	1.8	
8 二セコ町の土地利用が適切に行われているか	33.1	39.7	39.2	-0.5	31.0	36.9	32.8	-4.1	31.1	43.4	41.2	-2.2	36.0	41.0	47.5	6.5	24.8	43.2	32.6	-10.6	32.6	36.2	43.4	7.2	
9 準都市計画区域のエリアの現状について	45.4	42.6	-2.8	42.0	36.0	-6.0	47.0	43.8	-3.2	50.7	51.5	0.8	47.4	34.3	-13.1	34.7	34.3	-0.4	36.0	49.5	13.5				
10 「環境の保全・創造」全体についての満足度は?	44.0	52.7	48.0	-4.8	41.1	46.3	44.1	-2.2	42.3	57.4	46.8	-10.6	45.5	56.2	54.3	-1.9	44.7	54.8	43.6	-11.2	46.0	46.3	49.7	3.3	
(5) 地域における再生エネルギーの活用と省エネの状況について																									
1 地域の実状に合った省エネや多様な再生可能エネルギーの利用について	36.6	46.4	9.8	28.1	45.0	16.9	37.2	49.5	12.3	40.4	48.3	7.9	37.7	46.3	8.7	32.0	40.0	8.0							
2 再生可能エネルギー（太陽光、水力等）を自給する仕組みづくりについて	33.6	43.3	9.8	29.9	43.9	14.0	34.5	51.8	17.2	35.8	43.3	7.5	31.2	39.2	8.0	29.5	35.0	5.5							
3 暮らしや経済活動における二酸化炭素削減の取組について	51.9	41.8	48.9	7.1	52.5	41.6	44.8	3.2	52.9	42.9	55.1	12.2	51.7	44.9	48.8	3.8	48.4	41.0	48.5	7.5	52.6	35.4	45.9	10.5	
4 地域交通における省エネルギーの推進について	40.7	44.4	3.7	34.1	43.2	9.1	42.1	51.8	9.7	45.6	44.2	-1.4	38.5	45.9	7.3	33.1	37.1	4.0							
5 エネルギー等環境に関する地域課題を解決するビジネスの起業について	33.7	40.0	6.3	26.7	41.4	14.7	32.3	43.8	11.5	38.9	37.8	-1.1	30.5	35.7	5.2	27.0	39.9	12.9							
6 「地域における省エネと再生エネルギー活用」全体についての満足度は?	37.4	43.9	6.6	37.9	39.7	1.8	33.1	48.3	15.2	43.5	46.0	2.4	31.8	42.9	11.1	33.1	38.5	5.5							
(6) 住宅や住宅地に関する次の項目について																									
1 現在住んでいる居住地周辺の景観や環境について	67.1	66.9	64.9	-2.0	72.8	70.8	64.8	-6.0	61.6	66.6	63.6	-3.0	63.6	67.2	64.5	-2.7	68.9	66.9	60.7	-6.3	72.9	68.8	75.3	8.5	
2 町営住宅を修理しながら長く使うことについて	75.6	71.6	67.4	-4.2	78.8	74.3	69.9	-4.4	71.3	68.4	61.5	-6.9	73.7	74.5	66.6	-7.9	78.8	75.0	68.1	-6.9	79.3	64.3	77.5	13.2	
3 町営住宅の広さと居住者の家族構成が見合うような調整が行われているか	44.9	45.8	0.9	47.3	50.9	3.6	43.6	40.8	-3.0	44.4	44.1	-0.3	55.1	50.8	-4.3	33.0	58.1	25.1							
4 自宅の暖房や断熱などエネルギーの効率について	52.6	52.6	0.0	58.3	51.1	-7.2	51.1	47.8	-3.3	47.8	47.8	0.0	47.5	47.5	0.0	67.8	67.8	0.0							
5 住宅不足を解消するための、民間住宅の建設促進について	49.6	45.3	-4.3	55.5	46.1	-9.4	47.8	43.1	-4.6	53.2	48.1	-5.1	42.9	38.1	-4.8	46.9	50.9	4.0							
6 現在住んでいる居住地周辺の生活道路の除排雪について	52.0	50.5	55.1	4.5	65.5	60.2	61.8	1.5	44.1	53.5	53.6	0.1	48.9	50.1	56.3	6.2	48.0	50.3	45.9	-4.4	55.1	52.4	54.9	2.4	
7 廃屋の環境・景観対策について	34.1	29.4	-4.7	33.0	28.2	-4.9	41.0	32.9	-8.1	35.2	28.1	-7.1	27.4	24.9	-2.5	33.0	32.6	-0.4							
8 「住宅や住宅地」全体についての満足度は?	59.9	51.3	51.7	0.4	63.8	55.6	54.5	-1.0	55.5	52.9	50.1	-2.8	59.5	51.5	48.9	-2.6	60.5	49.2	50.8	1.7	60.8	51.9	59.8	7.9	
(7) 交通網に関する次の項目について																									
1 町道や道道など生活道路の整備状況について	59.8	55.1	55.0	-0.1	61.3	57.7	58.8	1.1	56.7	56.0	52.8	-3.2	61.6	58.3	57.6	-0.7	61.4	50.3	52.2	-1.9	60.1	51.4	53.0	1.6	
2 歩いて楽しめるような景観や環境のづくりが行われているか	41.4	38.1	44.3	6.1	37.1	38.0	46.1	8.1	44.1	36.2	45.1	8.9	42.7	42.2	47.4	5.1	40.7	38.0	37.4	-0.7	43.4	33.1	42.6	9.5	
3 普段通る道では歩道設置など安全性の確保がされているか	44.5	40.9	45.5	4.6	34.8	29.9	37.0	7.1	39.4	42.4	49.9	7.5	49.2	47.9	51.5	3.6	45.1	39.3	35.4	-3.9	50.6	32.0	48.5	16.5	
4 デマンドバス「にこっとBUS」の利便性などについて	47.7	44.2	46.6	2.3	47.4	44.3	49.4	5.1	43.6	41.5	47.2	5.7	49.4	49.8	47.1	-2.6	50.6	43.6	46.5	2.9	48.8	34.3	42.9	8.6	
5 公共交通機関（JRやバスなど）の使いやすさについて	28.3	28.3	0																						

2019年度のアンケート調査における設問項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値			
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減
(8) 防災・防犯に関する次の項目について																								
1 「原子力防災計画」の周知について	41.0	47.6	6.6		31.5	50.8	19.4		45.0	49.4	4.3		45.4	48.3	2.9		33.9	45.7	11.7		35.6	42.3	6.7	
2 広域の消防体制・救急体制の充実について	58.8	60.7	1.9		54.8	61.1	6.3		63.5	62.1	-1.5		63.0	61.9	-1.1		58.1	53.8	-4.3		47.2	60.5	13.3	
3 町民参加の避難訓練について	43.6	47.4	3.8		36.9	48.9	11.9		47.9	50.2	2.3		46.0	47.9	1.9		49.6	43.8	-5.8		34.8	45.4	10.6	
4 防災拠点としての役場庁舎の整備状況について	34.8	49.1	14.3		30.8	51.8	21.1		35.4	50.3	14.9		36.2	49.9	13.7		38.0	43.3	5.4		28.4	54.2	25.7	
5 防災備品の定期的な点検の状況について	47.4	48.0	0.6		45.6	50.0	4.4		47.8	50.0	2.3		50.4	50.5	0.2		46.4	40.3	-6.1		38.8	48.5	9.7	
6 災害時における町内避難経路について	45.0	48.6	3.5		35.4	49.6	14.2		49.1	51.8	2.7		47.6	51.8	4.2		47.7	39.5	-8.2		35.7	49.6	13.9	
7 消費詐欺等から消費者が自らを守るための行政の支援について	43.2	44.9	1.7		41.3	52.3	10.9		45.6	47.2	1.6		46.4	41.1	-5.3		44.4	43.1	-1.4		29.0	46.7	17.7	
8 「防災・防犯」全体についての満足度は?	45.0	48.1	3.1		37.6	51.0	13.4		47.6	48.9	1.4		49.1	48.3	-0.9		46.1	47.5	1.4		37.5	48.0	10.5	
(9) 医療・健康に関する次の項目について																								
1 長く元気で暮らせるための健康づくりの取組みについて	51.1	52.0	0.9		53.4	46.4	-7.0		49.8	55.5	5.7		49.7	55.9	6.2		48.4	45.2	-3.2		54.3	49.9	-4.4	
2 健康的な食生活と、自分にあった運動について	55.6	57.9	2.3		54.9	58.6	3.7		58.7	54.6	-4.1		57.4	58.1	0.7		52.9	60.7	7.8		51.2	62.2	11.0	
3 健康診断の受診率を向上させる取組みについて	55.3	58.0	2.7		55.4	58.0	2.7		57.5	57.5	0.0		59.8	57.2	-2.6		50.4	58.1	7.7		48.9	60.8	11.8	
4 健康保険、介護保険、医療機関等の広域的取組について	47.2	52.9	5.7		45.1	52.7	7.5		52.4	50.6	-1.8		51.0	53.9	2.9		41.3	50.0	8.7		40.3	59.3	19.0	
5 「医療・健康」全体についての満足度は?	46.4	51.3	4.9		44.8	51.3	6.5		52.1	49.4	-2.8		49.4	52.3	2.9		43.3	50.6	7.3		41.0	55.4	14.4	
(10) 高齢者福祉に関する次の項目について																								
1 高齢者を地域で助け合う身近な見守り、介護、福祉について	46.2	47.4	1.2		50.4	41.6	-8.8		47.1	46.0	-1.1		43.5	51.5	8.0		47.4	43.5	-3.9		46.1	42.5	-3.6	
2 高齢者が外出し社会参加する機会について	50.6	48.7	-1.9		52.6	45.1	-7.5		48.9	48.8	-0.1		48.1	51.6	3.5		52.1	44.4	-7.7		54.7	46.3	-8.4	
3 段差など使いにくい公共施設は解消されているか	39.4	39.0	-0.4		40.1	33.9	-6.2		36.1	38.8	2.7		38.2	32.0	-6.2		34.2	40.6	6.4		45.4	35.1	-10.3	
4 災害や犯罪などから高齢者を守る取組について	36.3	32.1	-4.2		36.9	31.8	-5.1		35.6	32.5	-3.1		35.0	35.9	0.9		31.9	34.2	2.3		34.2	28.9	-5.3	
5 「高齢者福祉」全体についての満足度は?	42.8	42.7	-0.1		47.4	40.2	-7.2		40.5	40.6	0.1		48.4	42.2	-6.2		47.4	47.6	0.2		40.4	36.0	-4.4	
(11) 子育て支援に関する次の項目について																								
2 子育て支援に関わる多様な人々のネットワークについて	53.4	55.2	1.8		55.1	55.6	0.5		55.5	58.9	3.4		53.4	52.8	-0.6		52.1	57.9	5.8		52.6	53.9	1.3	
3 子育てをしながら安心して働くことができる職場環境について	44.0	41.6	-2.4		49.8	43.8	-6.0		42.1	42.0	-0.1		51.8	41.3	-10.5		38.8	40.7	1.9		41.8	46.6	4.8	
4 子育ての悩みを一人で抱えずに相談や交流できる仕組みについて	46.3	47.2	0.9		50.5	53.0	2.5		46.7	48.9	2.2		45.9	47.6	1.7		38.7	42.4	3.7		44.4	40.7	-3.7	
5 家庭において家族が子育てに協力し合う男女共同の取組について	49.0	46.3	-2.7		53.6	48.3	-5.3		43.1	46.7	3.6		48.3	48.6	0.3		44.0	42.2	-1.8		52.0	44.0	-8.0	
6 公園など子どもが安心して遊べる環境の整備状況は?			43.0				45.6				41.4				43.6				42.5				44.4	
7 幼児センター、子育て支援センターなどの取組について	59.7	58.5	-1.2		62.3	62.4	0.1		56.0	55.9	-0.1		60.4	60.4	0.0		56.9	60.4	3.5		60.5	60.5	0.0	
8 「子育て支援」全体についての満足度は?	48.2	48.2	0.0		50.8	49.6	-1.2		43.7	50.8	7.1		48.0	49.1	1.1		45.9	42.8	-3.1		48.7	49.1	0.4	
(12) 障がい者福祉に関する次の項目について																								
1 相互扶助の精神により支え合い、共に暮らす地域福祉活動について	46.8	49.4	2.6		47.1	47.7	0.6		43.6	50.3	6.7		49.7	49.4	-0.3		45.4	52.4	7.0		43.6	51.5	7.9	
2 障がい者への、教育支援、就労支援、保健・医療・リハビリ支援について	42.1	47.8	5.7		44.9	49.2	4.3		40.8	47.2	6.4		44.6	47.3	2.7		39.6	45.7	6.1		42.3	54.3	12.0	
3 障がい者が自立し充実した生活を送るための、相談・支援の取組について	41.0	47.1	6.1		44.1	48.9	4.8		38.3	48.6	10.3		44.6	45.6	1.0		39.8	41.2	1.4		36.5	53.1	16.6	
4 障がい者が安全安心に暮らせる生活環境について	40.3	43.7	3.4		39.7	43.8	4.1		42.1	46.3	4.2		41.2	44.1	2.9		40.5	37.4	-3.1		35.9	45.7	9.8	
5 「障がい者福祉」全体についての満足度は?	41.6	46.2	4.6		39.0	47.8	8.8		41.0	49.0	8.0		44.9	44.9	0.0		40.5	42.6	2.1		42.0	48.1	6.1	
(13) 観光に関する次の項目について																								
1 農業など他産業と連携する観光産業が活性化しているか	44.5	50.9	6.4		42.2	48.2	6.0		49.1	52.2	3.1		45.4	54.0	8.6		45.9	52.4	6.5		39.8	43.9	4.1	
2 魅力的なイベント等による新たな観光の掘り起こしについて	43.1	46.4	3.3		39.9	43.4	3.5		41.0	51.0	10.0		45.7	45.3	-0.4		44.0	49.6	5.6		41.9	40.3	-1.6	
3 会議、視察、大会、展示会などの誘致と開催について	41.0	41.0	0.0		42.6	49.0	6.4		42.6	49.8	7.2		42.1	42.6	0.5		41.0	45.4	4.4		39.1	49.2	10.1	
4 周辺町村との広域的な観光振興が行われているか	40.4	43.6	3.2		33.8	43.3	9.5		44.7	47.1	2.4		46.8	42.0	-4.8		42.8	47.5	4.7		38.1	39.8	1.7	
5 国内や海外からの観光客に対する住民のおもてなしについて	43.3	48.5	5.2		38.7	45.4	6.7		44.7	53.5	8.8		43.6	48.9	5.3		41.0	50.6	9.6		46.3	43.7	-2.6	
6 大規模なリゾート観光開発の進め方について	31.6	37.2	5.6		30.1	25.3	-4.8		45.9	25.2	-20.7		39.9	34.1	-5.8		34.0	34.1	0.1		26.5	35.0	8.5	
7 リゾート観光エリアと市街地商店街の経済循環について	28.9	30.8	1.9		23.3	36.1	12.8		30.8	35.1	4.3		28.5	26.9	-1.6		33.0	20.2	-12.8		34.1	30.9	-3.2	
8 「観光」全体についての満足度は?	42.0	44.4	2.4		38.0	42.4	4.4		41.8	44.3	2.5		43.9	47.8	3.9		45.7	43.1	-2.6		41.1	42.7	1.6	
(14) 農業に関する次の項目について																								
1 地元住民消費者や他産業と連携する新たな農業の展開について	41.8	44.3	2.5		40.8	47.2	6.4		43.5	45.5	2.0		44.1	45.8	1.7		41.3	43.0	1.7		37.8	37.9	0.1	
2 都市住民との交流を深めるグリーンツーリズムの現状について	42.5	45.6	3.1		47.1	48.8	1.7		43.4	47.5	4.1		43.7	40.2	-3.5		44.5	48.1	3.6		36.2	45.4	9.1	
3 担い手や後継者の育成などがなされているか	33.5	38.3	4.8		31.3	35.1	3.8		32.0	33.6	1.6		36.3	43.8	7.5		29.2	42.9	13.7		31.6	31.4	-0.2	
4 環境と調和したグリーン農業によるブランド化の展開について	44.3	44.1	-0.2		42.4	44.4	2.0		46.0	42.4	-3.6		45.0	48.9	3.9		44.0	52.1	8.1		42.4	35.7	-6.7	
5 ニセコらしい農村景観について	48.1	50.6	2.5		51.6	50.8	-0.8		49.3	48.7	-0.6		46.6	54.0	7.4		41.8	49.1	7.3		50.8	49.6	-1.2	
6 農業への支援システムづくりについて	39.5	42.4	2.9		45.0	47.3	2.3		35.8	44.1	8.3		41.5	37.6	-3.9		42.1	40.6	-1.5		35.0	43.4	8.4	
7 共同経営体や農作業の委託をする組織を作り育てることについて	38.7	42.0	3.3		40.0	47.8	7.8		35.8	47.1	11.3		44.5	36.1	-8.4		34.2	34.7	0.5		31.8	42.6	10.7	
8 農地の保全状況について	32.8	40.5	7.7		38.4	38.1	-0.3		44.0	59.0	15.0		41.5	52.0	10.5		31.3	42.9	11.6		35.7	38.2	2.5	
9 地域合意に基づき農村地区の集落再編について	44.2	44.5	0.3		42.7	49.1	6.4		40.5	46.6	6.1		47.9	41.8	-6.1		37.8	35.9	-1.9		44.7	48.9	4.2	
10 基幹農作物の安定生産と、多様な農作物の生産について	38.3	54.9	16.6		41.9	58.9	17.0		36.2	60.4	24.2		43.6	51.6	8.0		31.9	55.4	23.5		29.9	51.4	21.5	
11 「農業」全体についての満足度は?	37.5	41.9	4.4		37.8	44.7	6.9		37.0	41.8	4.8		37.2	46.1	8.9		41.6	36.9	-4.7		36.8	36.1	-0.7	
(15) 林業に関する次の項目について																								
1 林業労働者の確保や林業経営の状況について	37.7	38.4	0.7		37.8	45.3	7.5		39.9	38.3	-1.6		37.5	33.3	-4.2		23.6	35.8	12.2		40.0	46.7	6.7	
2 計画的な森林づくりの状況について	37.9	35.8	-2.1		39.3	41.9	2.6		41.8	31.3	-10.5		42.4	34.2	-8.2		23.1	31.6	8.5		34.5	43.2	8.8	
3 「林業」全体についての満足度は?	37.4	37.6	0.2		42.2	41.7	-0.5		34.2	33.3	-0.9		43.5	34.2	-9.3		19.1	35.0	15.9		37.3	51.1	13.7	

※網掛けは、増減幅が±5%以上のもの

2019年度のアンケート調査における設問項目		ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値			
		2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減
(16)	商工業に関する次の項目について																								
1	観光や農業等地分野と連携した魅力ある地元産品づくりについて	38.6	41.0	45.1	4.0	39.3	37.0	51.2	14.3	41.7	48.3	44.2	-4.0	38.0	41.6	42.8	1.2	41.1	36.3	43.0	6.7	33.4	40.8	48.8	8.0
2	精羅街道など市街地の商店街について	35.5	33.4	40.2	6.9	32.1	33.0	41.4	8.4	39.9	38.6	44.0	5.4	33.3	32.3	37.4	5.1	33.0	30.1	36.6	6.5	38.0	31.5	42.8	11.3
3	道の駅ビュープラザと周辺のショッピングエリアについて	55.5	54.0	51.8	-2.2	57.3	55.8	53.7	-2.1	60.2	56.8	54.3	-2.5	53.5	56.3	52.3	-4.1	51.4	43.4	46.9	3.6	57.7	53.7	52.8	-0.9
4	観光産業との経済循環について	42.3	43.2	0.9		46.0	51.8	5.7		46.3	44.3	-2.0		44.1	38.0	-6.1		38.9	38.6	-0.3		32.2	48.6	16.4	
5	生活に必要な商品やサービスが町内で充実しているか	20.5	27.3	6.8		18.2	25.1	7.0		20.4	31.1	10.7		22.6	23.5	0.9		21.5	25.1	3.5		17.3	34.4	17.1	
6	小規模であっても多様なビジネスが経営・創業されているか	32.6	40.2	7.6		32.2	42.0	9.9		35.5	40.7	5.2		34.2	38.6	4.4		29.8	35.5	5.7		33.0	47.0	14.0	
7	「商工業」全体についての満足度は?	37.7	32.3	38.0	5.7	37.0	33.0	41.5	8.5	38.7	36.1	40.2	4.1	36.1	33.4	32.5	-1.0	40.0	30.8	33.8	3.0	39.6	29.3	48.0	18.7
(17)	情報共有に関する次の項目について																								
1	住民の暮らしに役立つ情報共有の仕組みについて	39.7	48.9	52.8	3.9	42.5	45.8	54.8	9.0	40.3	54.2	57.8	3.7	38.6	51.7	50.7	-0.9	30.4	45.3	49.7	4.4	40.4	42.1	56.6	14.5
2	ラジオニセコによる情報提供について	58.5				63.3				59.9				56.2				58.7				63.3			
3	行政情報の分かりやすさや迅速性等、情報内容の質の向上について	40.6	44.0	47.9	4.0	45.1	42.4	49.3	7.0	39.4	50.2	51.4	1.2	39.1	46.4	47.0	0.6	32.1	40.1	43.8	3.7	43.1	38.9	51.0	12.1
4	光通信網など情報を活用しやすい通信環境の整備について	50.7	52.2	52.6	0.4	55.7	53.2	55.7	2.5	46.9	53.8	56.3	2.5	50.1	57.0	48.5	-8.5	42.5	47.4	51.4	4.0	50.7	42.8	55.0	12.2
5	「情報共有」全体についての満足度は?	41.3	46.6	49.7	3.1	42.0	45.1	53.3	8.2	39.9	50.0	51.3	1.3	41.1	50.4	48.7	-1.7	32.2	43.6	46.9	3.4	43.9	39.4	51.6	12.2
(18)	住民参加に関する次の項目について																								
1	住民参加の仕組みが機能しているかについて	49.9	47.5	47.4	-0.1	56.2	46.6	44.0	-2.6	46.7	49.8	52.4	2.6	49.1	49.4	47.2	-2.2	42.5	49.2	48.3	-0.9	52.6	43.0	48.4	5.5
2	住民自らが考え行動するまちづくりの活動について	47.1	44.8	45.6	0.8	49.9	47.1	43.1	-3.9	45.1	46.0	46.6	0.6	47.4	44.8	45.3	0.5	37.9	50.5	51.2	0.7	49.0	36.6	45.9	9.3
3	町内会など地区を良くする活動について	47.1	48.6	48.9	0.2	49.9	47.7	48.1	0.5	45.1	50.6	49.1	-1.6	47.4	49.4	49.9	0.5	37.9	51.6	50.7	-0.9	49.0	44.1	52.4	8.4
4	「住民参加」全体についての満足度は?	50.2	47.0	47.6	0.6	53.1	47.3	45.6	-1.7	49.5	51.6	50.8	-0.8	50.2	47.8	47.0	-0.8	45.8	48.9	50.4	1.6	52.1	41.5	50.4	9.0
(19)	行財政に関する次の項目について																								
1	住民に対して役場職員は迅速で柔軟な対応ができていますか	49.3	44.0	52.4	8.3	52.6	45.8	53.8	8.0	46.4	49.0	51.6	2.6	50.1	47.7	47.9	0.2	41.1	37.9	52.5	14.6	52.1	38.5	57.2	18.7
2	役場の行政事務に町民にも見えやすい透明性があるか	48.0	43.2	46.2	3.0	52.9	46.4	44.5	-1.9	46.6	46.2	48.0	1.8	48.6	47.4	44.1	-3.3	34.1	37.8	42.0	4.2	47.0	36.0	52.5	16.5
3	役場職員の能力が向上しているか	44.2	39.4	43.4	4.0	45.0	46.7	41.8	-4.9	46.1	44.3	45.5	1.2	45.7	42.3	38.5	-3.9	40.7	34.1	40.7	6.6	45.0	31.2	51.4	20.3
4	町の財政の持続可能な運営がなされているか	46.8	37.8	43.7	5.9	47.9	38.9	44.9	6.0	49.5	36.7	43.4	6.7	46.3	42.5	39.9	-2.6	39.3	34.1	41.9	7.9	46.3	33.9	53.3	19.4
5	町の財政状況に関する透明性や分かりやすさについて	44.2	47.6	3.4		48.8	44.1	-4.7		44.8	50.5	5.6		48.7	47.6	-1.1		42.3	45.0	2.7		38.5	54.3	15.7	
6	町の状況から見て、住民の負担と受益はバランスが取れているか	44.7	36.0	42.5	6.5	48.8	36.0	43.9	7.9	49.1	37.2	47.2	10.1	44.5	39.9	35.5	-4.4	36.5	31.1	41.7	10.6	39.5	32.3	50.9	18.6
7	「行財政」全体についての満足度は?	45.9	41.0	45.6	4.6	46.7	44.9	46.1	1.2	47.7	41.6	47.4	5.7	46.3	46.1	42.9	-3.2	40.7	36.6	45.1	8.4	42.7	38.1	49.7	11.7
(20)	連携によるまちづくりに関する次の項目について																								
1	ニセコを支え応援する多様な人々の連携について	51.3	53.0	54.2	1.2	49.4	53.0	53.9	0.8	45.0	51.6	54.9	3.3	44.4	54.6	50.5	-4.2	43.6	53.5	54.4	0.9	49.4	53.1	61.8	8.7
2	羊蹄山麓や後志管内などにおける、広域行政の推進について	46.2	50.6	51.2	0.6	47.5	54.8	51.3	-3.5	45.4	49.3	51.4	2.2	44.3	53.0	44.7	-8.3	37.3	48.0	55.2	7.2	46.9	47.4	59.7	12.4
3	国際交流活動を支える取組みについて	45.3	55.3	54.8	-0.6	46.3	62.3	54.4	-8.0	50.0	53.0	53.9	0.8	46.3	57.3	51.7	-5.6	42.6	50.1	57.8	7.7	48.5	57.1	59.9	2.8
4	「連携によるまちづくり」全体についての満足度は?	47.2	50.2	51.9	1.7	51.8	52.7	51.3	-1.4	55.1	47.5	53.8	6.3	50.0	55.0	46.9	-8.1	47.2	50.7	54.5	3.8	47.3	45.2	58.8	11.6
(21)	情報共有と住民参加を基軸とする「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体について																								
	「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体についての満足度は?	52.7	51.9	51.5	-0.4	53.7	57.2	45.7	-11.5	52.5	52.4	54.5	2.1	51.5	54.9	48.3	-6.6	47.9	49.6	52.5	2.9	57.9	45.1	61.7	16.6
(22)	この4年間(2015～2019)のニセコ町のまちづくり全体について																								
	この4年間のまちづくり全体についての満足度は?	50.5	50.8	50.8	-0.1	51.8	53.3	50.8	-2.5	55.1	54.5	52.9	-1.6	50.0	52.2	49.0	-3.2	47.2	48.8	48.6	-0.1	47.3	46.4	59.4	13.0

※網掛けは、増減幅が±5%以上のもの

3-3. 2010年度、2015年度からの変化、推移に関するヒアリングと考察

今回のアンケート調査においては、2010年度、2015年度のアンケート調査結果との比較の中から、この4年間のまちづくりに対する、住民の評価の推移を推し量ることが、目的のひとつであった。この観点から、いくつかの特徴的な傾向が見えて来たので、これらを分析上の論点としてとりまとめ、関連する担当課の課長から、それぞれの背景や受け止め方、対応策等についてヒアリングを行い、その内容をもとに、総合計画の見直しを行った。

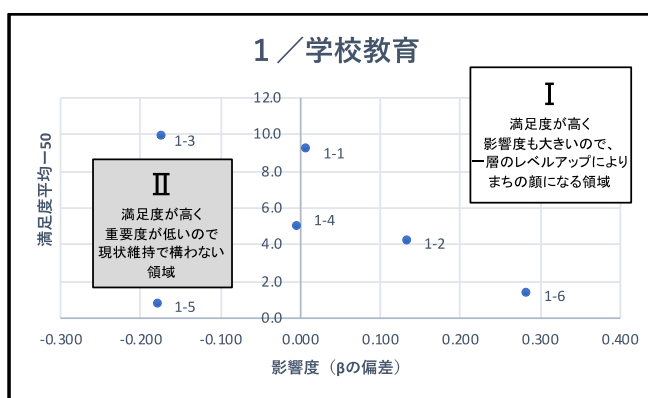
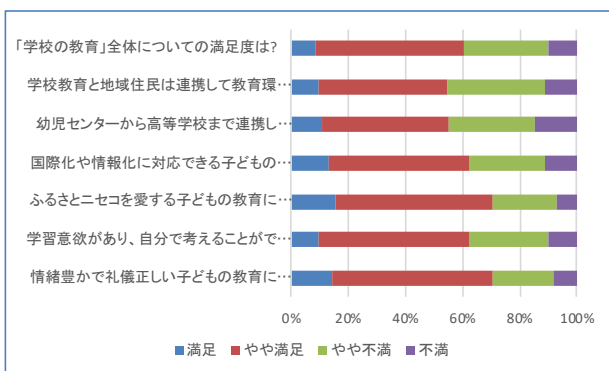
その際の、論点整理とヒアリング結果については、次ページ以降の通りである。

1 学校の教育に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 情緒豊かで礼儀正しい子どもの教育について	14.5%	56.3%	20.9%	8.3%	40.2%	4.7%	59.1	56.9	61.1	61.7	58.8	58.6	83.4
2 学習意欲があり、自分で考えることができる子どもの教育について	9.8%	52.4%	28.0%	9.8%	46.4%	5.1%	54.2	53.2	55.1	55	54	53.8	61.9
3 ふるさとニセコを愛する子どもの教育について	15.8%	54.6%	22.3%	7.2%	45.6%	5.1%	59.8	53.9	63.3	62.9	58.7	59.1	71.0
4 国際化や情報化に対応できる子どもの教育について	13.3%	49.2%	26.2%	11.3%	43.2%	5.8%	54.9	53.6	57.0	56.6	55.3	55.1	55.6
5 幼児センターから高等学校まで連携して、教育や子育てを向上させているか	11.1%	44.3%	30.1%	14.5%	45.9%	5.1%	50.7	50.9	50.7	51.1	50.9	50.9	52.4
6 学校教育と地域住民は連携して教育環境や内容の充実を図っているか	9.9%	44.9%	34.3%	11.0%	46.8%	5.3%	51.3	48.6	54.3	53.3	51.4	51.6	58.4
7 「学校の教育」全体についての満足度は?	8.2%	52.3%	29.4%	10.1%	43.9%	4.2%	52.9	52.3	53.8	52.9	53.2	53.0	62.6

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	52.3	55.8	59.1	3.3	49.3	62.0	57.9	-4.1	52.7	54.2	57.8	3.7	52.5	56.3	57.2	0.9	54.3	65.2	63.4	-1.8	50.8	42.9	65.8	22.8	II	I	I
2	47.4	49.0	54.2	5.1	47.6	52.1	48.9	-3.2	50.3	47.1	54.2	7.1	45.8	50.3	53.1	2.8	46.8	54.5	59.1	4.6	48.1	39.1	58.3	19.1	IV	IV	I
3	51.3	56.0	59.8	3.8	53.0	58.7	60.2	1.5	54.6	56.1	57.2	1.1	49.8	57.2	59.0	1.8	56.5	64.2	63.4	-0.8	49.6	44.0	57.4	13.4	II	II	II
4	41.3	51.5	54.9	3.4	41.5	50.1	50.7	0.6	40.8	53.4	60.2	6.7	41.6	53.2	52.8	-0.4	47.0	50.7	58.2	7.5	43.2	45.3	58.5	13.2	III	II	II
5	45.0	44.4	50.7	6.3	46.3	40.0	46.5	6.5	46.1	44.1	56.9	12.8	44.3	48.5	48.8	0.3	47.4	47.3	47.8	0.5	46.9	33.0	54.6	21.6	IV	IV	II
6	46.5	46.2	51.3	5.1	47.3	44.0	43.3	-0.7	49.3	46.0	56.9	10.9	42.9	46.2	49.0	2.8	44.0	54.1	56.7	2.6	45.9	42.4	53.3	10.8	IV	IV	I
7	45.7	46.9	52.9	6.0	45.1	43.4	45.7	2.2	44.9	47.7	55.2	7.4	44.9	49.1	47.9	-1.1	47.0	51.9	62.4	10.5	46.2	44.0	60.6	16.6	III	II	II



論点①: 「Q2 学習意欲があり自分で考える子供の教育」に対する満足度評価は向上している

町全体で満足度評価は有意に向上し満足度が50%を超えた。特に南西地区と有島地区において、向上の度合いが顕著である。しかし、50%台にとどまっているので、必ずしも絶対的に高い評価とは言えない。

満足度評価が向上しつつも子供の教育全体に与える影響は大きいままであることから、影響度指標類型はIV (早急に改善すべき領域) → I (町の自慢になっている領域) へと転換している。

論点②: 「Q5 一貫教育・Q6 コミュニティスクール」に対する満足度評価は向上している

どちらの項目も町全体で満足度評価は有意に向上し、満足度が50%を超えた。特に、南西地区と有島地区において、向上の度合いが顕著である。しかし、50%台にとどまっておき、他地区では50%を下回っているため、全町的に必ずしも高い満足度評価とは言えない。

子供の教育全体に与える影響は「Q5 一貫教育」は前回より小さくなり、影響度指標類型はIV (早急に改善すべき領域) → II (現状維持で良い) へと変化し、定着傾向にあると受け止められている可能性がある一方、「Q6 コミュニティスクール」は影響度が大きいまま満足度評価が向上しているため、影響度指標類型はIV (早急に改善すべき領域) → I (町の自慢になっている領域) へと転換している。コミュニティスクールにはまだ取り組み始めたばかり

B

なのでこの結果は意外ともいえるが、高い期待感と初動が可視化されたことに対する前向きな評価と受け止められる。しかし、まだ50%台にとどまっているので、一層の展開による町民参加の推進が期待される。

● 前原課長（学校教育課）からのコメント

- ・コミュニティスクールに対する地域住民の期待値、という分析についてはそうだと思う。確かに社会教育との連携もしくは融合という側面はあるが、継続性・属人性の強い社会教育面からのアプローチと、循環性・システムチックな学校教育面からのアプローチでは基本的に異質な面もあるので、特に学校教育側としてどのような基本軸を持ってコミュニティスクールを活用していくのか、原則的な議論の継続が不可欠であり、その議論を補足している。さらに、学校教育側では、コミュニティスクールによる成果を現していかななくてはならない。そのためには、地域住民がコミュニティスクールに参加する仕組みについて、町づくり基本条例における「住民参加」のこれまでの実績を一つのモデルとして、コミュニティスクールとしてのシステムを模索する必要がある。

● 佐竹事務局長（議会事務局）からのコメント

- ・学校教育と関わる地域活動に参加したいという潜在的欲求が、年配の大人の層に一定程度あるのではないかと。それは、大人の居場所として潜在的に欲求されていることなのかもしれない。

論点③：「Q7 学校教育全体」として住民の満足度評価は向上している

町全体で評価は有意に向上し、満足度が50%を超えた。特に、南西地区と有島地区において、向上の度合いが顕著である。

まちづくり全体に与える影響度指標類型はⅡ（現状維持で良い）となっていて、いわば安定状況にあると受け止められる。

論点④：有島地区と南西地区では、学校教育各項目全般にわたって住民評価は向上している

満足度評価の有意な向上が項目のほぼ全般にわたって見られた有島、南西両地区以外では、川北、東部地区においても部分的には有意な向上が見られたが、多くの項目において4年前と比べて有意な変化は見られなかった。子供の教育全体に与える影響度指標類型も4年前と変わっていない。地区によるこのような相違がどのような要因によるのか、地区の実情に即した分析が求められる。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が、全ての項目で40%を超えている。学校教育の状況は、学齢期の子供のいる世帯以外ではなかなか接点がないことからわかりにくいものとなっていることが想定される。子供の教育は地域の未来に直結する重要な課題領域であるので、学校教育に対する関心が地域全体として希薄になっていることは重視すべき課題である。その点において今後活用できる視点はコミュニティスクールであると考えられるが、その点についても「わからない」が他の項目よりも多い46.8%であり、満足度評価の高まり傾向が見られるとは言え、まだまだ課題の多い不十分な政策領域といえる。

B

● 前原課長（学校教育課）からのコメント

- ・学齢期の子供がいない家庭での大人が学校の状況に疎くなるのは仕方ないとも言えるが、その状況は放置するしかない仕方がないことだということにはならない。子ども達が地域の大人に学ぶためには、その大人自身も学ぶ必要がある。その観点からの「大人の講座」、あるいはリカレントが今後の課題となってくる。
- 2) 学校教育に対する男女別の満足度評価を見ると、男女間で有意な差が見られたのは、「Q3. 故郷を愛する教育」と「Q6. コミュニティスクール」で女性の方が男性よりも有意に高い満足度評価を与えている。どちらの項目も地域と直結する政策領域であり、女性の方が「地域による教育」に大きな期待を寄せていることの反映と考えられるが、子供の教育に女性の方が男性より具体的で切実な関心を寄せている状況の反映かもしれない。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P94～96 参照）

次のような意見が寄せられている。

- A) 一貫教育やコミュニティスクールの取り組みを進めてほしい（No.26、27、476）
- B) スクールバスの経路等の改善（No.26）
- C) 学童保育の拡充（No.61、65）
- D) 子供の遊び場や居場所などの充実（No.80、189、399、456、457、480、528、544、580）
- E) 英語教育の充実（No.242、296、492、
- F) 子供の虐待問題（No.441）
- G) 休日保育の受け入れ（No.498）
- H) 育児カウンセラーの設置（No.574）
- I) 私立幼稚園の誘致（No.24、182）
- J) 近藤小学校の地域ぐるみ取り組みへの高い評価（No.234）

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 1：子供の教育理念における東部地区と南西地区の満足度評価の違いについて地域間に大きな格差があることについて、東部地区の住民ぐるみの取り組みや、南西地区の交通事情等が要因となっているのではないかと、との分析がなされ、南西地区の交通問題は様々な生活領域に大きな影響を与えているとの認識も示されていた。

2019 年の状況：子供の教育理念における南西地区の満足度評価が際立って大きな向上を示し、東部地区と南西地区の満足度評価が同じレベルとなった。南西地区においては、他の領域の多くの生活面においても同様の満足度評価の向上が見られることから、この要因についての分析は大きな課題である。

特に、2015 年時点で大きな論点となった地域交通について、その後の改善取り組みが具体的にどのように影響しているのか、あるいは別の要因があったのかなど、重要な分析視点である。

●前原課長（学校教育課）からのコメント

- ・南西地区に関して学校教育面で何か特別のことがあったということはないので、南西地区での大幅な満足度評価向上の背景について思い当たることはない。

2015 年の論点 2：国際化・情報化教育の進展が成果を挙げているとの評価がなされた。

2019 年の状況：有島地区、東部地区、南西地区で、満足度評価が一層高まっている。

2015 年の論点 3：学校教育における様々な連携については、論点 1 と同様の分析と問題提起がなされていた。

2019 年の状況：南西地区で満足度評価が大幅に向上しているのみならず、各地区も含めニセコ町全体として満足度評価が高まっている。

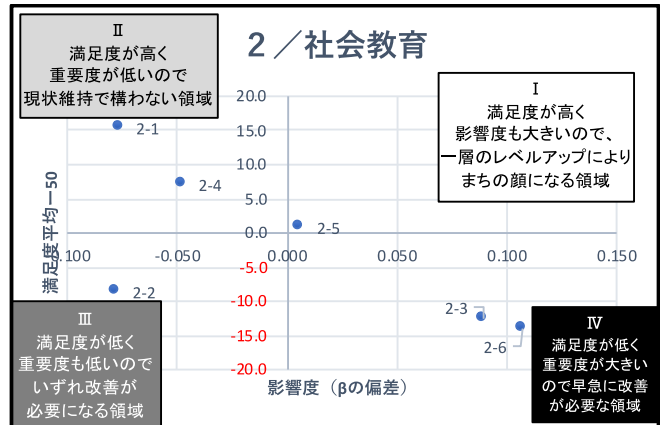
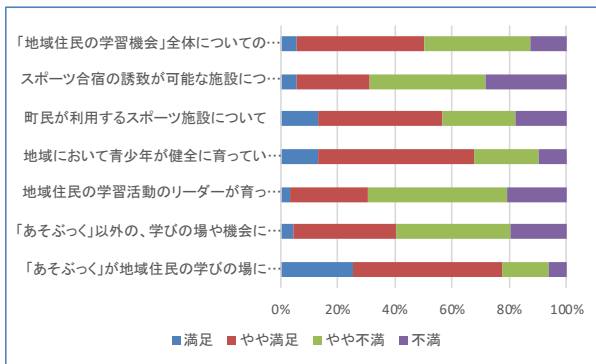
A

2 地域住民の学習機会に関するアンケート調査結果から

満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 「あそぶっく」が地域住民の学びの場になっているか	25.1%	52.1%	16.2%	6.5%	31.0%	4.2%	65.4	63.8	67.9	69	64.8	65.7	72.3
2 「あそぶっく」以外の、学びの場や機会について	4.4%	35.7%	40.1%	19.7%	40.7%	5.3%	41.6	43.0	40.6	41.8	41.6	41.2	53.4
3 地域住民の学習活動のリーダーが育っているか	3.1%	27.4%	48.7%	20.8%	56.1%	5.6%	37.5	35.5	39.8	39.7	37.2	36.8	61.2
4 地域において青少年が健全に育っていると思うか	13.1%	54.6%	22.6%	9.8%	39.3%	5.1%	57.1	55.5	58.9	62.8	55.8	56.8	71.6
5 町民が利用するスポーツ施設について	12.9%	43.9%	25.4%	17.7%	24.1%	5.3%	50.7	51.7	50.8	59.2	49.1	50.9	60.6
6 スポーツ合宿の誘致が可能な施設について	5.8%	25.5%	40.3%	28.4%	47.8%	5.1%	36.2	36.7	37.6	49.7	33.9	36	70.9
7 「地域住民の学習機会」全体についての満足度は？	5.5%	44.5%	37.4%	12.6%	40.2%	4.6%	47.7	45.3	50.1	54.9	45.4	47.4	59.3

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)			
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	
1		64.8	65.4	0.6		71.2	63.8	-7.4	②	67.5	65.2	-2.3		64.0	68.6	4.6		69.4	66.8	-2.6		63.4	66.8	3.4			II	II
2	44.0	41.1	41.6	0.5	40.4	40.5	42.2	1.7	45.1	39.7	42.6	2.9	44.8	44.0	42.3	-1.7	47.3	41.6	37.0	-4.6	42.4	38.9	42.6	3.6	IV	III	III	
3	36.1	35.1	37.5	2.5	29.4	36.6	42.1	5.5	34.9	36.6	39.5	3.0	39.2	35.7	36.5	0.7	37.5	40.6	33.2	-7.4	31.8	29.6	35.7	6.1	III	IV	IV	
4	45.4	55.1	57.1	2.0	41.5	58.5	62.0	3.6	43.7	54.9	53.1	-1.9	46.6	54.6	56.9	2.3	51.0	55.4	55.6	0.2	45.2	54.0	61.3	7.3	IV	II	II	
5	51.3	52.3	50.7	-1.6	48.0	52.7	52.7	0.0	50.3	54.0	50.5	-3.5	51.5	53.1	51.5	-1.6	51.2	52.2	48.3	-3.9	51.5	55.6	51.8	-3.8	I	I	I	
6		34.8	36.2	1.3		38.2	38.5	0.3		35.3	36.7	1.4		33.3	36.3	3.0		38.2	34.5	-3.7		38.8	45.3	6.5	①	IV	IV	
7	44.8	46.1	47.7	1.6	41.3	44.3	46.6	2.3	41.1	49.3	50.3	1.0	46.7	46.5	47.5	1.0	52.7	49.1	46.7	-2.4	41.9	48.4	50.1	1.7				



論点①：「地域住民の学習機会」に対する住民の満足度評価は変化していない

町全体では、どの項目も満足度評価の有意な変化はしていない。また、影響度指標類型も前回と比べて変化がない。

論点②：「学びの場としてのあそぶっく」に対して、川北地区住民の満足度評価は低下している

あそぶっくから遠いなどの理由からか、川北地区においてはあそぶっくを学びの場として利用することについての満足度評価が有意に低下している。しかし、満足度評価の平均は、ニセコ地区も含めて全ての地区で60%を超えていて、決して絶対評価が低いわけではない。また、川北地区を中心とした長期滞在リゾート客が有島記念館の展示を見た後であそぶっくに寄って有島武郎の本を借りるケースもあり、それがリピーターとなっているなど、住民アンケートには表れない利用実態としての高い評価も想定できる。

● 佐藤課長（町民学習課）からのコメント

- あそぶっくの図書館機能の充実については、蔵書数の限界や空間の狭さなどが背景となって事実上対応が遅れている。しかし今後は、地元住民のニーズだけでなく長期滞在客のニーズに対して、有島武郎ゆかりの街としての図書館機能を充実させる工夫が求められる。

論点③：「学習活動のリーダー」に対して川北地区と東部地区で住民の満足度評価が分かれている
 この項目は、町全体としても各地区においても満足度評価が非常に低い。その中であって、川北地区では満足度評価が有意に向上している一方で東部地区では有意に低下している。これが、各地域の状況を反映した結果なのか町全体としての満足度評価のゆらぎによるばらつきなのか判断できないが、住民リーダーの育成が困難な状況にあることを示唆している。コミュニティスクールとの関わりが一つの可能性として期待できるので、連携による相乗効果を目指すことも想定できる。

● **佐藤課長（町民学習課）からのコメント**

- ・かつて「人材バンク」を作成する事業があったが、データを作ることとそのデータを利用して実際に活動を進め得ることが結びつくことがなかった。その反省も踏まえ、コミュニティスクール事業においては、学校教育側から社会教育側に人材を求めることがあるので、今後は、学校教育と社会教育が連携してコミュニティスクール事業を進めることを検討している。その活動の中から地域リーダーが登場してくる可能性は高い。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が、設問2、設問3、設問6において40%を超えている。設問2については、あそぶっく以外に学習できる施設のイメージを持たない実情を表しているが、たとえば有島記念館は本来その機能を有しているはずなので対応可能な取り組みが今後期待されるだろう。設問3については、コミュニティスクールが可視化されるに従って改善が期待される。さらに設問6については、MICEの誘致活動に密接に関連する項目なので、そちらの事業の可視化と一体に進められるべき項目である。
- 2) 居住歴10年未満の住民にとって、設問4、設問5、設問6は、居住歴10年以上の住民より有意に評価が高い。設問4については他市町村と比べてという相対評価の可能性があり、設問5については日常の利用度合いが高いことによる評価であり、設問6についてはポテンシャルに対する評価でと考えられる。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P97～98参照）

次のような意見が寄せられている。

- A) あそぶっくの図書館機能をもっと充実させてほしい（No.20、87、111、169）
- B) フィットネスクラブや各種スポーツ施設などの充実を（No.85、235、492、576、312、338、374、441）
- C) 地域全体として英語教育の充実を（No.130）

前回2015年見直し時の論点振り返りと今回2019年時点での変化

2015年の論点4：地域における青少年の健全な成長についての満足度評価が向上し、改善の緊急性が緩んだとの分析結果となったが、その背景については特定できなかった。

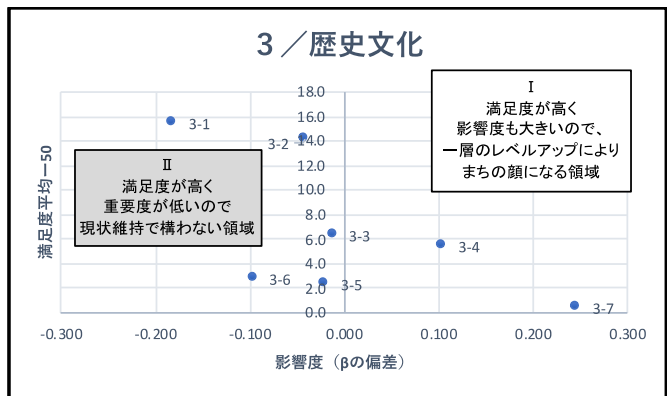
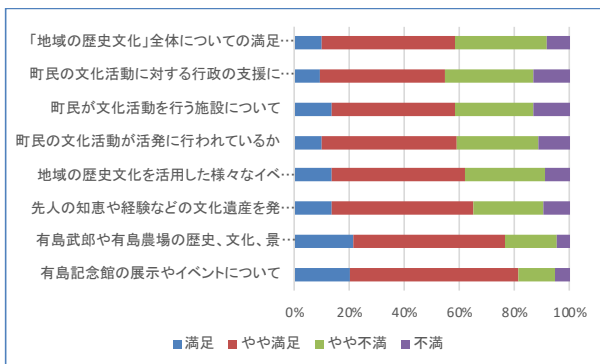
2019年の状況：全体としては前回と同様の評価構造であるが、南西地区では満足度評価が有意に向上している。大きな問題や課題は見いだせていない。

3 地域の歴史文化に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 「あそぶっ」が地域住民の学びの場になっているか	25.1%	52.1%	16.2%	6.5%	31.0%	4.2%	65.4	63.8	67.9	69	64.8	65.7	72.3
2 「あそぶっ」以外の、学びの場や機会について	4.4%	35.7%	40.1%	19.7%	40.7%	5.3%	41.6	43.0	40.6	41.8	41.6	41.2	53.4
3 地域住民の学習活動のリーダーが育っているか	3.1%	27.4%	48.7%	20.8%	56.1%	5.6%	37.5	35.5	39.8	39.7	37.2	36.8	61.2
4 地域において青少年が健全に育っていると思うか	13.1%	54.6%	22.6%	9.8%	39.3%	5.1%	57.1	55.5	58.9	62.8	55.8	56.8	71.6
5 町民が利用するスポーツ施設について	12.9%	43.9%	25.4%	17.7%	24.1%	5.3%	50.7	51.7	50.8	59.2	49.1	50.9	60.6
6 スポーツ合宿の誘致が可能な施設について	5.8%	25.5%	40.3%	28.4%	47.8%	5.1%	36.2	36.7	37.6	49.7	33.9	36	70.9
7 「地域住民の学習機会」全体についての満足度は?	5.5%	44.5%	37.4%	12.6%	40.2%	4.6%	47.7	45.3	50.1	54.9	45.4	47.4	59.3

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	57.5	59.6	65.5	6.0	50.9	65.4	63.9	-1.5	60.6	62.4	64.4	2.1	57.6	59.9	68.0	8.1	61.1	56.2	61.9	5.8	57.9	55.4	69.8	14.5	II	II	II
2	57.9	59.3	64.2	9.0	53.3	63.1	62.4	-0.7	58.0	61.1	63.9	2.7	58.1	60.5	63.8	3.3	61.3	60.7	61.6	0.9	60.3	56.2	70.7	14.5	II	II	II
3	49.3	50.5	56.3	5.9	44.4	56.5	53.5	-3.0	50.9	53.1	56.0	2.9	50.3	52.1	56.7	4.6	45.3	47.2	53.4	6.2	48.1	45.1	64.1	19.0	IV	II	II
4		47.0	55.4	8.4	50.6	53.7	3.1	52.0	56.8	4.8	47.1	56.3	9.2	45.9	52.0	6.1	44.6	59.3	14.7					IV	I	I	
5	50.4	51.2	52.4	1.3	47.0	50.0	52.0	2.0	49.0	53.3	53.3	0.0	51.7	53.8	52.2	-1.5	54.9	48.6	49.7	1.0	47.9	42.8	53.6	10.8	II	I	II
6	46.1	51.6	52.8	1.2	42.2	51.4	54.9	3.5	43.4	52.5	50.7	-1.9	45.6	54.1	53.1	-0.9	49.1	52.6	50.5	-2.0	49.8	45.5	53.0	7.4	III	II	II
7	46.6	49.1	50.4	3.3	38.9	47.8	50.9	3.2	46.2	50.7	49.6	-1.1	47.8	53.5	51.9	-1.6	46.3	45.9	45.4	-0.5	49.3	41.9	54.3	12.4	IV	IV	I
8	46.6	46.2	53.2	7.1	40.6	44.1	52.5	8.4	48.0	49.1	50.3	1.2	46.7	48.6	54.9	6.3	50.7	50.6	49.1	-1.5	49.3	38.0	58.0	20.1			④



論点①：有島記念館に対する満足度評価が高まっている

設問1、設問2、設問3は有島記念館の事業に関するものだが、いずれも満足度評価が有意に向上し、60%前後に高まっている。絵画の企画展示やコンサートなどの文化活動が、住民や町外者に広く受け入れられている結果と思われる。地区別では、市街地区で同様の有意な満足度評価の向上が見られる。

● 佐藤課長（町民学習課）からのコメント

- ・有島記念館における企画展やコンサートについては、近年予算措置も安定しており、加えて藤倉英幸さんの作品をもとに展示会の企画が自由にできるので、町民からの評価を底上げしているのではないかと。
- ・今後も持続的に企画展開を可能にするためには、収蔵物が劣化などしないような条件の良い収蔵スペースが不可欠という認識は持っているが、そのための予算措置がなかなか優先度が高まらない。しかし、諦めずに事業手法を検討している。

論点②：歴史文化活用イベントに対する満足度評価が高まっている

町全体と、地区別では市街、東部、南西地区において、満足度評価は有意に向上している。

論点③：地域の歴史文化全般についての満足度評価が高まっている

地域の歴史文化全般について、町全体および有島地区以外の全地区では満足度評価が有意に高まっている。これは、設問4（歴史文化活動イベント）と設問7（文化活動への行政の支援）による影響度が大きい（影響度指標類型がI）。町民の目に触れやすい事業であることがその背景であると考えられる。

● 佐藤課長（町民学習課）からのコメント

- ・ 記念館の展示やコンサートがあるごとに新聞折り込みチラシを配布しているが、このチラシを多くの町民が目にしていて、各種イベント実施についての町民の評価向上につながっているのではないかと。

論点④：文化振興への行政支援に対する満足度評価は高まっている

南西地区での満足度評価の向上に伴って、町全体としての影響度指標類型はIVからIへと大きく変化している。具体的にどの支援事業、支援体制が評価を受けたのかはわかっていない。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が、設問3、設問4、設問7において40%を超えている。有島記念館の事業や町民自身による文化活動以外の歴史文化遺産の発掘・調査や行政支援など、町民の関与領域が見えにくい項目については町民にとっての満足度評価の判断材料が見出せなかった、ということだろう。
- 2) 有島記念館関連項目においては、居住歴による満足度評価の有意な差異は見出せなかったが、それ以外の全ての項目では、居住歴10年未満の方が満足度評価は有意に高かった。有島記念館が居住歴などで左右されない幅広い住民から高い満足度評価を受けていることがうかがえる。

C

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P97～98 参照）

次のような意見が寄せられている。

- A) 倉庫邑の充実 (No.24、242)
- B) 有島記念館は町民がもっと利用するよう工夫すべきだ (No.26、242、246、312、435、266)
- C) 町民センターの機能充実 (No.87、1001)
- D) ラジオニセコは必要ない (No.128)
- E) 郷土歴史資料館が必要 (No.267、369)
- F) 文化イベントをもっと開催してほしい (No.530)
- G) 有島灌漑溝は文化遺産であり、草刈りなどの保守管理作業を支援すべき (No.543)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 5：有島記念館が主催している歴史文化に関する企画への満足度評価が川北地区で特に高かったが、その背景としてリゾート客の文化的関心事に即応している地域住民の意識と参加行動があるのではないかと分析があった。

2019 年の状況：川北地区では満足度評価の水準はその後増減を見せていないが、南西地区での満足度評価が大きく向上している。その背景にあるのは、南西地区住民の交通利用の利便性改善に向けた様々な動きが可視化されてきたことにより、市街地周辺に集積している文化施設等の利用期待が増え、満足度評価の向上につながった可能性がある。

A

2015 年の論点 6：文化活動施設に関する満足度評価の地域間格差が拡大している傾向の要因として、特に南西地区住民の意識の中で、交通網の不備により市街地周辺の文化施設等の利用がままならない実情などから、漠然とした疎外意識があってその結果として様々な領域における不満の高まりがあるのではないかと分析があった。

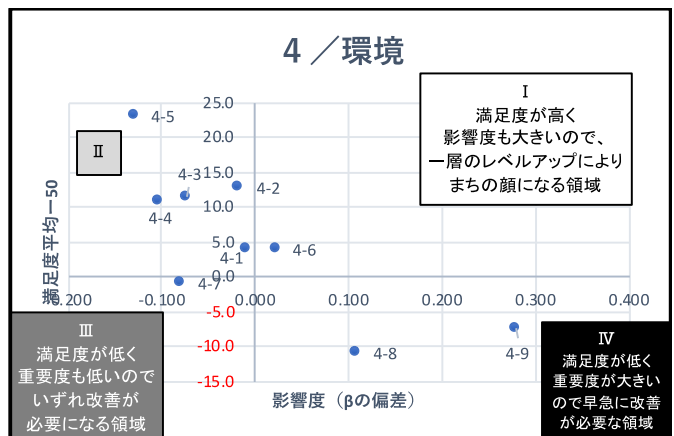
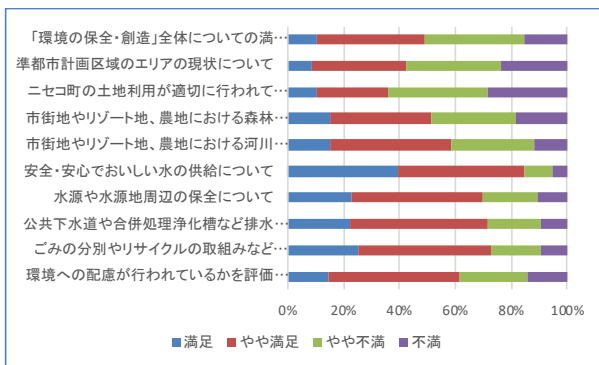
2019 年の状況：全項目にわたって南西地区での満足度評価の有意な高まりが顕著であることなど、4年前の状況が大きく変わっている。南西地区における満足度評価の高まりの要因を明らかにしておく必要がある。

4 環境の保全・創造に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わか らな い	無回 答	平均 値/ 全町	平均 値/ 男性	平均 値/ 女性	平均 値/ 10年 未満	平均 値/ 10年 以上	平均 値/ 日本 人	平均 値/ 外国 人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わか らな い	無回 答	平均 値/ 全町	平均 値/ 男性	平均 値/ 女性	平均 値/ 10年 未満	平均 値/ 10年 以上	平均 値/ 日本 人	平均 値/ 外国 人
1 環境への配慮が行われているかを評価する仕組みについて	14.4%	47.1%	24.4%	14.1%	28.1%	4.6%	54.0	54.5	54.2	55.6	53.9	53.9	63.9
2 ごみの分別やリサイクルの取組みなどについて	25.6%	47.2%	17.6%	9.6%	6.3%	2.2%	63.0	64.1	61.9	64.7	62.3	62.3	83.4
3 公共下水道や合併処理浄化槽など排水処理による水環境の保全について	22.4%	49.1%	18.9%	9.6%	19.8%	2.9%	61.5	62.3	60.5	59.8	61.7	60.8	78.7
4 水源や水源地周辺の保全について	23.1%	46.8%	19.2%	10.9%	27.3%	2.9%	60.8	63.4	58.7	61.1	60.8	60.7	66.8
5 安全・安心でおいしい水の供給について	39.4%	45.0%	10.5%	5.0%	9.8%	2.9%	73.1	74.3	72.5	72.8	73.4	72.8	92.4
6 市街地やリゾート地、農地における河川環境の保全について	15.0%	43.7%	29.5%	11.8%	32.2%	3.4%	54.0	57.8	51.8	56.8	53.7	53.9	69.3
7 市街地やリゾート地、農地における森林など緑環境の保全について	15.2%	36.0%	30.2%	18.5%	30.0%	3.2%	49.3	55.7	46.1	53.5	49	49.1	73.9
8 ニセコ町の土地利用が適切に行われているか	10.3%	25.4%	35.8%	28.5%	36.3%	3.1%	39.2	44.4	36.2	40.7	39.3	38.7	66.8
9 準都市計画区域のエリアの現状について	8.8%	33.9%	33.6%	23.7%	49.2%	2.9%	42.6	47.3	38.2	46	41.9	41.9	64.0
10 「環境の保全・創造」全体についての満足度は?	10.5%	38.3%	36.0%	15.3%	30.2%	3.4%	48.0	50.6	45.5	51	46.7	47.2	62.0

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)						
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019				
1		57.8	54.0	-3.8	62.5	48.3	####		58.3	56.5	-1.9	59.0	58.2	-0.9	59.0	47.9	####	53.9	55.8	1.9						II	II				
2	64.7	59.9	63.0	3.1	67.1	57.5	65.7	8.2	62.5	60.8	60.2	-0.5	64.6	61.8	62.5	0.7	62.1	59.7	58.3	-1.4	66.6	58.1	68.3	10.2	II	I	II				
3	58.3	63.0	61.5	-1.5	46.2	55.7	52.3	-3.3	58.7	67.0	60.7	-6.3	64.0	70.1	69.5	-0.6	51.9	58.8	58.9	0.0	56.8	54.0	62.6	8.6	II	II	II				
4		64.0	60.8	-3.3	62.4	52.6	-9.8	②	64.9	59.9	-5.0	67.0	66.4	-0.5	63.0	61.6	-1.3	59.0	66.1	7.1						II	II				
5		74.0	73.1	-1.0	75.8	70.7	-5.1		76.5	73.0	-3.5	75.1	76.8	1.7	69.0	68.3	-0.7	69.1	73.4	4.3						II	II				
6	45.4	56.0	54.0	-2.0	37.8	50.0	46.5	-3.4	44.6	60.5	56.9	-3.6	51.4	57.8	61.6	3.7	38.8	54.8	49.7	-5.2	41.7	54.2	54.2	0.0	III	II	I				
7	42.5	52.7	49.3	-3.4	37.4	48.0	42.6	-5.4	42.1	58.8	51.1	-7.7	44.4	55.0	57.2	2.1	40.1	54.3	45.4	-8.9	43.3	50.6	52.4	1.8	IV	II	III				
8	33.1	39.7	39.2	-0.5	31.0	36.9	32.8	-4.1	31.1	43.4	41.2	-2.2	36.0	41.0	47.5	6.5	24.8	43.2	32.6	####	32.6	36.2	43.4	7.2	IV	III	IV				
9		45.4	42.6	-2.8	42.0	36.0	-6.0	⑤	47.0	43.8	-3.2	50.7	51.5	0.8		47.4	34.3	####	36.0	49.5	13.5						IV	IV			
10	44.0	52.7	48.0	-4.8	41.1	46.3	44.1	-2.2	42.3	57.4	46.8	####	45.5	56.2	54.3	-1.9	44.7	54.8	43.6	####	46.0	46.3	49.7	3.3							



論点①：環境保全・創造に対する満足度評価は変わっていない

環境保全・創造に関する全ての項目において、満足度評価は変わっていない。項目によって満足度評価には大きな差異の幅があり、評価の低い設問8(土地利用)や設問9(準都市計画)、設問7(緑環境)はリゾート開発への不安、不信が意識の根底にあると考えられる。

論点②：水源地保全については、地区によって満足度評価が低下している

川北地区と有島地区では、水源地保全に関する満足度評価が低下している。反対に南西地区では、満足度評価が有意に高まっている。

● 山本課長(企画環境課)からのコメント

- ・開発内容などによっては住民の過剰反応ではないかという場面もあると思うので、評価の低さをそのまま受け止めるわけにはいかない場合もある。ただ、ニセコ町内の開発案件が増えている中で、住民からのこの反応は理解できる。対応に苦慮する面もある。秩序ある開発誘導と環境保全を両立するルールづくりのステップアップが必要か。

論点③：緑環境の保全については、満足度評価が低下している地区がある

森林など緑環境の保全については、有島、東部地区における満足度評価が有意に低下している。

- 山本課長（企画環境課）からのコメント
 - ・（同上）

論点④：土地利用については、地区によって満足度評価が分かれている

土地利用については、市街と南西地区では満足度評価が有意に向上し、東部地区では評価が有意に低下しており、分かれているが、町全体としての影響度指標類はⅢ（いずれ改善することでよい領域）→Ⅳ（早急に改善すべき領域）と深刻化している。土地利用に関しては、具体的にどのような利用形態を対象にしての評価なのか、その認識構造を具体的に把握する必要がある。

- 山本課長（企画環境課）からのコメント
 - ・国営農地再編整備事業が環境改編を伴う形（森林の伐採など）で行われているところもあるので、そのこととリゾート開発が混同されている可能性もあると思う。

論点⑤：準都市計画のエリア設定については、満足度評価が低下している地区が多い

準都市計画については、川北、東部地区では満足度評価が有意に低下し、いずれも30ポイント台まで低下している。準都市計画区域である川北地区の満足度評価の低下は、具体的な課題認識を踏まえての評価低下と思われることから、その実態や意向をより具体的に把握し何らかの新たなコントロールシステムが必要と考えられる。逆に、南西地区では満足度評価が有意に向上している。

D

- 高瀬課長（建設課）からのコメント
 - ・住民の懸念は理解できる。しかし、準都市計画は法定計画であり変更等は容易でない。また適用範囲拡大の意見にも接しているが、エリア近隣の農家は適用区域が拡大されてエリアに含まれると農業倉庫など営農活動への事実上の負担が大きくなるので、賛意獲得は困難だ。
 - ・また、町内の全地区に広がり増えている住宅や店舗等のミニ開発については、景観条例にもとづく「住民説明会」を義務化しているが、今後は、これまで以上に行政もしっかり関与して、住民と事業者の調整や合意形成に寄与できるよう、その可能なあり方について住民審議会に議論をお願いするつもりだ。

D

論点⑥：南西地区では、多くの項目で評価が向上している

南西地区においては、設問2、設問3、設問4、設問8、設問9において、満足度評価が有意に向上している。この地区的現象については、その背景など具体的に把握し、他地区の参考になるようなことがあるかどうか検討する必要がある。

- 山本課長（企画環境課）からのコメント
 - ・南西地区における交通問題が前回の見直しで重視されたことから、その後、デマンドバスのあり方に関する行政側の取り組みや、福井地区における地域住民自身による「助け合い交通」事業の展開などが、今回の南西地区における満足度の向上に大きく寄与していると受け止めている。実態への評価という側面よりも、機運への期待値ということかもしれない。

論点その他：上下水道未普及地区からの課題解決希望が顕在化してきた

設問5（上水の供給）は、有島地区で満足度評価が有意に低下している。

- 石山課長（上下水道課）からのコメント
 - ・川北地区には、開発業者が独自に簡易水道施設を設定していた分譲住宅地がある。老朽化しているこの住宅地に町の水道施設がほしいという居住者の意向が以前から示されているが、それは既存の町水道施設の拡張工事が伴う事業なので、今後検討していかなければならない。

論点その他：ゴミ分別における今後の地域社会変化を想定した多様なあり方検討

設問2（ゴミの分別とリサイクル）は、川北、南西地区で満足度評価が有意に向上している。

● 中村課長（住民生活課）からのコメント

- ・住民アンケートの自由記述にも見られるが、ゴミ分別とリサイクルについて、高齢化の一層の進展に伴う諸問題など地域社会の変化に対応できるような新たな有り様をいずれ検討せざるを得ない時を迎えるのではないだろうか。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは設問9のみとなっているが、この項目は準都市計画の対象エリアとその規制内容など制度要件についての認識が必要になるので、この結果になったと思われる。しかし、他の全ての設問については「わからない」という人の割合が低く、特に、設問2（ゴミのリサイクル）や設問5（安全・安心な水）については、「わからない」とした人は10%以下となっている。
- 2) 設問7、設問8、設問9などリゾート開発に関連する土地利用については、男性の方が女性より有意に大きな割合で高い満足度評価を与えている。言い換えれば、女性の方がリゾート開発に伴う土地利用、環境保全に強い警戒心を抱いていることが示されている。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P99～101参照）

次のような意見が寄せられている。

- A) 粗大ゴミの料金高すぎ（No.43、44）
- B) 下水道引いてほしい（No.44）
- C) 薪ストーブはSDGsに矛盾している（No.87）
- D) リゾート開発は自然を破壊する（No.111、122、211、217、230、545、579）
- E) エコツーリズムの街にしよう（No.122）
- F) 川のコンクリートブロックは自然破壊（No.147、217）
- G) 水資源の源となる森林の伐採に反対（No.177、182、217、230、539、564、572）
- H) 身近な自然の保護（No.211、217、230）
- I) ゴミステーションの管理（No.230）
- J) ゴミ分別の合理的な見直し（No.262、267、355、476、490、530、）
- K) 森林伐採による宅地開発（No.300、522、530、545、564、572、579）
- N) 水道水がまずい（No.24、235）
- O) 水道代が高い（No.65）
- P) 断水を招く開発に反対（No.217）
- Q) 地下の水脈に影響を及ぼす開発（No.522）
- R) 水道未整備地区がある（No.522）
- S) 浄化槽の申請手続きが遅い（No.530）
- T) オムツ回収日を増やして欲しい（No.24）
- U) 自然を壊す都市計画は不要（No.538）
- V) ゴミを捨てる人が少なくなるような取り組みを（No.85）
- W) 水源地周辺の土地を町有化に（No.498）
- X) 移住者の住宅建設で森林が伐採されている（No.538）
- Y) 農地を商業施設用地に変えていくことには反対（No.539）

前回2015年見直し時の論点振り返りと今回2019年時点での変化

2015年の論点7：公共下水道や合併処理浄化槽の普及拡大に関する満足度評価が全町的な高まりを見せていたが、南西地区では満足度評価の低下を招いていた。その原因は、この問題のみならず、南西地区が疎外的な状況を余儀なくされているのではないかと地域心理もあったかもしれないとの分析もあった。

2019年の状況：しかし、今回の地区別満足度評価を見ると、南西地区の満足度評価は大きく向上していて、これが全町的な満足度評価の向上につながっている可能性がある。

2015年の論点8：河川環境、緑環境、土地利用に関する満足度評価が全町的な高まりを見せていたが、土地利用面のいくつかの項目においては、外国資本等による土地買い占めなどの印象が強く、実態面においても印象の面においても、満足度評価が低いことへの対応策が求められていた。

2019年の状況：全項目にわたって南西地区での満足度評価の有意な高まりが顕著であるが、他地区および全町的には、多くの項目で評価の向上は見られず、特に土地利用面の満足度評価については、一層の満足度低下を招いている。近年も引き続き展開されているリゾート開発や中小規模の土地利用型開発に対して、住民の不安は一層深まっていることが示されている。

D

2015年の論点9：土地利用面に関する低い満足度評価の中にあって、準都市計画区域のエリアについての危機感は強く、適用エリアの拡大を望む声もあった。

2019年の状況：準都市計画区域のエリアについては、川北や東部地区では満足度評価が一層低下している一方で、南西地区では満足度評価が向上している。二極化している評価構造の背景を分析する必要がある。

5 地域における省エネと再生エネルギーの活用に関するアンケート調査結果から

●凡例	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として)	1	2	3	4	5	NA				未満	以上	人	人
※「わからない」は、40%以上に網掛け													
※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け													

地域における省エネと再生エネルギー活用状況について														
1	地域の実状に見合った省エネや多様な再生可能エネルギーの利用について	7.3%	40.2%	36.9%	15.6%	45.3%	3.7%	46.4	46.4	46.9	49.8	45.4	45.3	72.3
2	再生可能エネルギー(太陽光、水力等)を自給する仕組みづくりについて	9.1%	31.8%	39.2%	19.9%	46.1%	3.7%	43.3	42.8	44.2	50.3	41.4	42.6	63.5
3	暮らしや経済活動における二酸化炭素削減の取組について	10.9%	39.6%	34.7%	14.7%	47.8%	3.9%	48.9	48.7	49.5	55.6	47.2	48.7	57.6
4	地域交通における省エネルギーの推進について	9.8%	31.6%	40.7%	17.9%	47.6%	4.1%	44.4	43.8	45.8	51.3	42.7	43.8	66.6
5	エネルギー等環境に関する地域課題を解決するビジネスの起業について	7.5%	26.4%	44.9%	21.1%	57.6%	3.9%	40.0	37.0	43.2	46.4	37.7	38.5	60.6
6	「地域における省エネと再生エネルギー活用」全体についての満足度は?	8.1%	34.2%	39.0%	18.6%	46.4%	3.6%	43.9	43.0	44.8	50.8	41.8	43.1	61.2

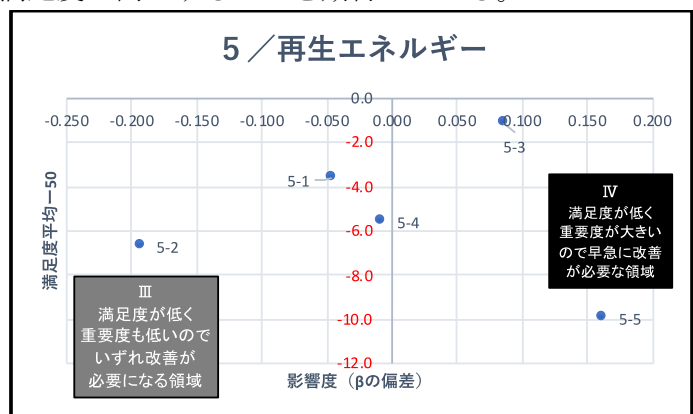
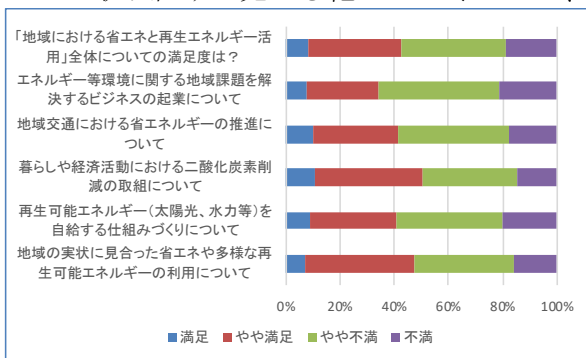
	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1		36.6	46.4	9.8	①	28.1	45.0	16.9	①	37.2	49.5	12.3	①	40.4	48.3	7.9	①	37.7	46.3	8.7	①	32.0	40.0	8.0		III	III
2		33.6	43.3	9.8		29.9	43.9	14.0		34.5	51.8	17.2		35.8	43.3	7.5		31.2	39.2	8.0		29.5	35.0	5.5		III	III
3	51.9	41.8	48.9	7.1	52.5	41.6	44.8	3.2	52.9	42.9	55.1	12.2	51.7	44.9	48.8	3.8	48.4	41.0	48.5	7.5	52.6	35.4	45.9	10.5	II	IV	IV
4		40.7	44.4	3.7		34.1	43.2	9.1		42.1	51.8	9.7		45.6	44.2	-1.4		38.5	45.9	7.3		33.1	37.1	4.0		III	III
5		33.7	40.0	6.3		26.7	41.4	14.7		32.3	43.8	11.5		38.9	37.8	-1.1		30.5	35.7	5.2		27.0	39.9	12.9		IV	IV
6		37.4	43.9	6.6		37.9	39.7	1.8		33.1	48.3	15.2		43.5	46.0	2.4		31.8	42.9	11.1		33.1	38.5	5.5			①

論点①：ニセコ町全体として向上しているが、依然として満足度評価は低い水準

ニセコ町全体としては、設問4(地域交通における省エネ)以外の全ての項目において満足度評価は有意に向上している。この傾向は、各地区においてもほぼ同様の形で見られるが、市街地区においては有意な向上が見られる項目は少なく、設問3(CO2削減の取り組み)、設問4(地域交通における省エネ)、設問5(地域エネルギー関連ビジネスの起業)については有意な結果が出ていない。影響度指標類型も、前回と同じままである。

● 山本課長(企画環境課)からのコメント

・平成31年4月から環境モデル都市第2次アクションプランが実行段階となり、具体的な取り組みが見える化していくことで、満足度が向上することを期待している。



その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問の全てに及んでいる。エネルギー問題、とくに省エネや再生エネ関連についてCO2削減という大きな方向に即した文脈の中で理解し地域の実情を把握することは、意外に難しいのかもしれない。
- 2) 男女間で有意な差が見られた項目は、設問5(地域エネルギー関連ビジネスの起業)であり、女性の方が高い満足度評価をしている。

E

- 3) 居住歴で有意な差が見られるのは、設問 1（再生可能エネルギー利用状況）以外の全ての項目にわたっており、居住歴 10 年未満の人の方が 10 年以上の人より満足度評価は有意に高い。関心が高いということの代理的現象なのだろうか。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P99～101 参照）

- A) メガソーラーや大型風車に反対（No.120、122）
- B) 原発に反対（No.122）

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 10：二酸化炭素削減の取り組みに対して、全町的に現状への不安や危機感が表明された結果が、満足度評価の低下と影響度の強化に反映されているとの分析がなされ、これについては、環境モデル都市アクションプランが住民にも浸透するよう情報共有と事業の可視化が必要との整理がなされた。

2019 年の状況：町全体においても各地区においても、満足度評価は大きく向上しているが、いまなお評価水準は高くなく、影響度指標類型も変わっておらず、基本的な問題の構造は変化していない。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

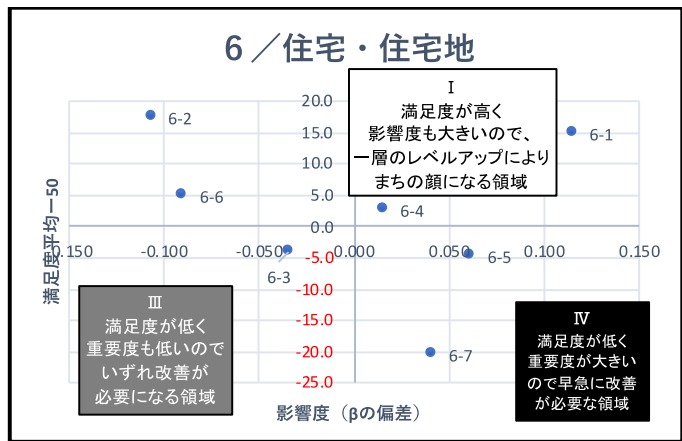
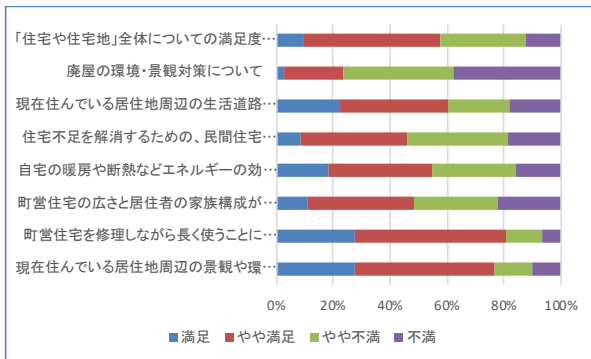
- ・ CO2 削減のことは具体的にはイメージしにくいので、住民のこの評価は理解できる。近年、CO2 による地球温暖化の影響が可視化されることが増えてきたので、少しずつ実感を伴うようになっていくのではないか。この点については、環境モデル都市第 2 次アクションプランを具体的に進めていく過程で、具体的な課題認識を共有していきたい。

6 住宅や住宅地に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

住宅や住宅地に関する次の項目について														
1	現在住んでいる居住地周辺の景観や環境について	27.6%	49.4%	13.0%	10.1%	2.9%	3.1%	64.9	65.4	65.1	67.5	64.4	65.3	71.5
2	町営住宅を修理しながら長く使うことについて	27.5%	53.1%	12.8%	6.5%	19.3%	2.5%	67.4	66.4	67.3	63.9	67.9	67	66.8
3	町営住宅の広さと居住者の家族構成が見合うような調整が行われているか	11.2%	37.3%	29.2%	22.4%	46.9%	3.1%	45.8	44.2	46.3	47.4	45.4	44.6	78
4	自宅の暖房や断熱などエネルギーの効率について	18.6%	36.0%	29.7%	15.7%	17.3%	2.7%	52.6	52.3	52.4	51.9	52.9	52.5	54.5
5	住宅不足を解消するための、民間住宅の建設促進について	8.6%	37.4%	35.4%	18.7%	29.3%	3.6%	45.3	48.4	43.6	38.4	47.9	45.1	66.8
6	現在住んでいる居住地周辺の生活道路の除排雪について	22.3%	38.3%	21.4%	17.9%	4.9%	2.5%	55.1	53.7	56.1	62.6	52.8	54.6	82.2
7	廃屋の環境・景観対策について	2.7%	21.1%	38.2%	38.0%	27.3%	3.6%	29.4	29.7	28.5	25	30.7	28.4	58.4
8	「住宅や住宅地」全体についての満足度は?	9.5%	48.1%	30.2%	12.2%	13.2%	3.2%	51.7	49.5	53.3	49.7	52.8	51.5	69.3

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	67.1	66.9	64.9	-2.0	72.6	70.8	64.8	-6.0	61.6	66.6	63.6	-3.0	63.6	67.2	64.5	-2.7	68.9	66.9	60.7	-6.3	72.9	66.8	75.3	8.5	I	II	I
2	75.6	71.6	67.4	-4.2	78.8	74.3	69.9	-4.4	71.3	68.4	61.5	-6.9	3.7	74.5	66.6	-7.9	78.8	75.0	68.1	-6.9	79.3	64.3	77.5	13.2	II	II	II
3	44.9	45.8	0.9	47.3	50.9	3.6	43.6	40.6	-3.0	44.4	44.1	-0.3	55.1	50.8	-4.3	33.0	58.1	25.1					III	III			
4			52.6	①			58.3			51.1			47.8			47.5			67.8							I	
5	49.6	45.3	-4.3	55.5	46.1	-9.4	④	47.8	43.1	-4.6	53.2	48.1	-5.1	42.9	38.1	-4.8	46.9	50.9	4.0					III	IV		
6	52.0	50.5	55.1	4.5	65.5	60.2	61.8	1.5	44.1	53.5	53.6	0.1	48.9	50.1	56.3	6.2	48.0	50.3	45.9	-4.4	55.1	52.4	54.9	2.4	I	I	II
7	34.1	29.4	-4.7	33.0	28.2	-4.9	41.0	32.9	-8.1	⑥	35.2	28.1	-7.1	27.4	24.9	-2.5	33.0	32.6	-0.5					IV	IV		
8	59.9	51.3	51.7	0.4	63.8	55.6	54.5	-1.0	55.5	52.9	50.1	-2.8	59.5	51.5	48.9	-2.6	60.5	49.2	50.8	1.7	60.8	51.9	59.8	7.9			



論点①：ニセコ町全体として満足度評価は変わっていない

ニセコ町全体としては、住宅・住宅地に関する全ての設問項目に関して、満足度評価の有意な変化は見られなかった。

論点②：居住空間の環境や景観に関する満足度評価は、地区によって異なる傾向が見られる

設問1(住んでいる地域周辺の環境や景観に対する満足度評価)が有意に向上している地域(南西)と有意に低下している地域(川北、東部)がある。それらの背景や原因などについて把握する必要がある。

論点③：町営住宅の長寿命化については、満足度評価が低下している

設問2(町営住宅の長寿命化)は、一部地域(南西地域)では満足度評価が有意に向上しているが、多くの地域(有島、市街、東部地区)では満足度評価が有意に低下している。

●高瀬課長(建設課)からのコメント

・公営住宅の長寿命化やミスマッチを解消して、高齢者と子育て世帯が近隣に住んで支え合

える住環境を形成できるよう、高齢者用10戸子育て世帯用6戸の新築を検討している。
長寿命化、ミスマッチ解消、新築をセットで進めたい。

論点④：民間住宅の建設については、満足度評価が低下している地区がある

設問5（民間住宅の建設促進）については、満足度評価が有意に低下している地域（川北、市街地）がある。影響度指標類型はⅢ（いずれ改善することでよい領域）→Ⅳ（早急に改善すべき領域）と深刻化している。ニーズの高い地区の切迫感が示されているといえる。

● **高瀬課長（建設課）からのコメント**

・民間住宅は、まだまだ不足している。そのため家賃も高騰しているため、この結果は理解できる。しかし、行政としては、前述の方針で対応すること以外の妙策は、現時点では思いつかないというのが実態だ。

論点⑤：生活道路の除排雪については、市街地区で満足度評価の向上が見られる

設問6（生活道路の除排雪）については、市街地区で満足度評価の有意な向上が見られた。

● **高瀬課長（建設課）からのコメント**

・ありがたい評価だが、個別意見の中にはまだまだ厳しい指摘もあるので、今後も工夫を続けたい。

論点⑥：廃屋対策については、地区によって満足度評価の低下がみられる

設問7（廃屋対策）については、満足度評価が有意に低下している地域（有島、市街地）がある。高齢化と離農が背景にあると考えられる。影響度指標類型は、Ⅳ（早急に改善すべき領域）のまま変わっていない。

● **高瀬課長（建設課）からのコメント**

・廃屋の実態は把握しており、所有者とのコンタクトも取っているが、わずかしこ進まない廃屋処理より早いピッチで新たな廃屋がでてくる。処分が進まない主な理由は、そのコストの大きさだ。人目につきやすい場所と見えにくい場所などで優先度をつけながら廃屋処分を進められないかなど、廃屋処分の支援のあり方について検討しているが、妙策がない。市街地には廃屋はほとんどないはずだ。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問3（マッチング）のみである。事業が本格的に動き出すのがこれからなので、今後の評価の動きを注視したい。
- 2) 居住歴によって有意な差が見られるのは、設問5（民間住宅の建設）では居住歴10年以上の満足度評価が有意に高く、設問6（除排雪）では居住歴10年未満の満足度評価が有意に高く、設問7（廃屋）では居住歴10年以上の満足度評価が有意に高い。新規転入者にとっての住宅難、他市町村よりも除排雪水準の高いニセコ町に対する新規転入者の満足度評価と従来からの住民の慣れ、廃屋の存在に対して長く住んでいる住民に慣れが見られるのではないかと考えられる。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P103～104参照）

- A) 街並み景観が不統一（No.34）
- B) 町営住宅のミスマッチ解消を（No.64）
- C) 町営住宅の新築を（No.77）
- D) 町営住宅使用料問題の住民説明を（No.87）
- E) 住宅建設用地が入手できない（No.120）
- F) 家賃が高すぎる（No.137、161、177、199、204、492、558、551）
- G) 土地開発に関する情報の開示を（No.161）
- H) 空き家情報が入手できない（No.161）
- I) アパートが少ない（No.161）
- J) アパートをバリアフリーに（No.161）
- K) 住宅周辺の観光開発に関する住民合意の必要性（No.334）
- L) 高齢者に配慮した入居条件を（No.435）
- M) 教員住宅の改善（No.446）

F

- N) 除排雪 (No.65、85、440)
- O) 「インターナショナルスクールの駐車場の整備」 (No.65)
- P) 住宅の建設増に伴う水道インフラの確保は大丈夫か (No.120、326)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 11：南西地区で居住環境が全般に満足度評価が低いことが問題視され、地域の全般的な疎外感その原因ではないかとの指摘をもとに、対策の幅を広げて南西地区の地域課題全般に取り組み必要性が認識された。

2019 年の状況：多くの地区では満足度評価の低下が散見される中、南西地区においては多くの項目で満足度評価が向上している。この傾向は他の領域においても見られることから、南西地区の地域課題全般にわたって一定の改善効果あるいは改善への期待感が好意的に示されたものと考えられる。

2015 年の論点 12：生活道路の除排雪について、地域間における満足度評価の格差が解消傾向にあることが指摘されたが、その背景や原因については特定できなかった。

2019 年の状況：市街地区で満足度評価が向上したほかは各地区とも大きな変化はなく、影響度指標類型がⅠからⅡに変化したことなどから、全町的に比較的安定傾向にあると見られる。

2015 年の論点 13：住宅や住宅地全体についての満足度評価が全町的に低下しているなかでも、東部地区の低下が顕著であることから、その要因として「中古空家住宅の活用」の停滞が指摘され、オーナーの貸し渋りなどの原因についての検討が求められた。

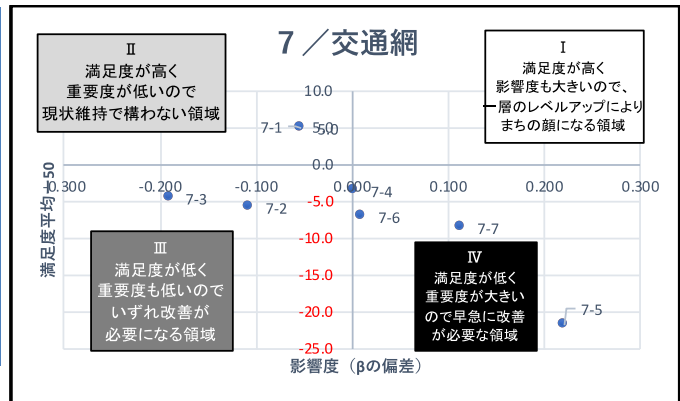
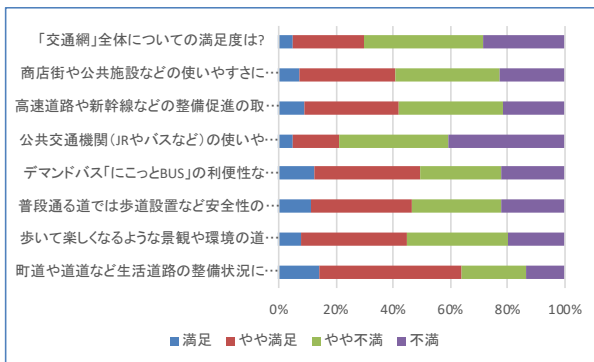
2019 年の状況：空家について、「中古住宅」から「廃屋」に対象を切り替えて質問を行ったために、前回の指摘内容についての検証ができていない。つまり、前回問題提起として受け止めた「中古住宅の貸し渋り」についての問題もそのまま残っている。

7 交通網に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住地」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA				未満	以上	人	人

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 町道や道道など生活道路の整備状況について	14.2%	49.9%	22.5%	13.4%	5.1%	2.9%	55.0	53.6	56.4	57.3	54.7	54.7	75.7
2 歩いて楽しくなるような景観や環境の道づくりが行われているか	7.8%	37.1%	35.1%	20.0%	11.0%	2.5%	44.3	43.2	45.3	47.6	43.7	43.7	69.2
3 普段通る道では歩道設置など安全性の確保がされているか	11.5%	35.3%	31.3%	21.9%	4.4%	2.9%	45.5	46.0	45.5	44.8	46.3	45	73.9
4 デマンドバス「にこっとBUS」の利便性などについて	12.6%	37.0%	28.0%	22.5%	20.7%	2.4%	46.6	48.4	45.3	54	44.4	45.7	69.5
5 公共交通機関(JRやバスなど)の使いやすさについて	4.7%	16.6%	37.7%	41.0%	14.4%	2.9%	28.3	29.9	26.7	27.9	28.4	27.1	61.5
6 高速道路や新幹線などの整備促進の取組について	9.1%	32.6%	36.6%	21.8%	40.3%	3.6%	43.0	47.1	38.6	46.4	41.9	41.6	76.7
7 商店街や公共施設などの使いやすさについて	7.0%	33.6%	36.7%	22.7%	9.7%	3.1%	41.6	42.2	40.8	42	41.6	40.7	74.4
8 「交通網」全体についての満足度は?	4.7%	25.2%	41.7%	28.4%	10.2%	3.2%	35.4	38.0	32.7	37.2	34.4	34.2	59.6

項目	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	59.8	55.1	55.0	-0.1	61.3	57.7	58.8	1.1	56.7	56.0	52.8	-3.2	61.6	58.3	57.6	-0.7	61.4	50.3	52.2	1.9	60.1	51.4	53.0	1.6	II	II	II
2	41.4	38.1	44.3	6.1	37.1	38.0	46.1	8.1	44.1	36.2	45.1	8.9	42.7	42.2	47.4	5.1	40.7	38.0	37.4	-0.7	43.4	33.1	42.6	9.5	III	III	III
3	44.5	40.9	45.5	4.6	34.8	29.9	37.0	7.1	39.4	42.4	49.9	7.5	49.2	47.9	51.5	3.6	45.1	39.3	35.4	-3.9	50.6	32.0	48.5	16.5	III	III	III
4	47.7	44.2	46.6	2.3	47.4	44.3	49.4	5.1	43.6	41.5	47.2	5.7	49.4	49.8	47.1	-2.6	50.6	43.6	46.5	2.9	48.8	34.3	42.9	8.6	IV	IV	IV
5			28.3				28.5				29.2				29.2				22.7				29.3				IV
6	34.7	47.9	43.0	-4.9	33.6	39.4	49.5	10.1	35.3	45.7	46.3	-7.4	34.7	53.9	37.3	####	33.1	37.2	36.5	-0.7	38.8	37.4	46.2	8.8	IV	IV	IV
7		46.2	41.6	-4.6		37.9	43.3	5.4	5	48.5	41.6	-6.9		50.1	38.7	####		47.4	42.1	-5.4		40.7	45.7	5.0		III	IV
8	43.0	40.9	35.4	-5.5	43.3	31.0	38.2	7.2	38.6	36.0	35.9	####	44.4	47.4	33.0	####	44.4	38.2	34.3	-3.9	48.6	33.1	37.0	3.9			



- 論点①：設問2（景観や環境の良い道づくり）は全町的に満足度評価が向上している
 設問1（景観や環境の良い道づくり）については、東部地区以外の全ての地区で、満足度評価は有意に向上しているが、水準は全ての地区でまだ50%に届いていない。
- 論点②：設問3（歩道の安全性）は一部の地域で満足度評価が向上している
 設問3（歩道の安全性）については、川北、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、水準はまだ50%に届いていない地区が市街地以外のほとんどである。
- 論点③：設問4（デマンドバス）は一部の地域で満足度評価が向上しているが、設問5（公共交通機関）については、町全体においてもまた全ての地区において満足度評価が極めて低い。
 設問4（デマンドバス）については、川北、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、水準は全ての地区でまだ50%に届いていない。
 設問5（公共交通機関）については、町全体、全地区において評価水準が極めて低

A

い20%台にとどまっている。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

・デマンドバスや高速公共交通機関、在来線保全とバス等代替交通機関問題、助け合い交通など住民自治による交通システムなど、交通網全体を総合的に考える必要がある。

論点④：設問6（高速道路や新幹線）は地区によって満足度評価が分かれている

設問6（高速道路や新幹線）については、川北、東部、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方、有島と市街地区では満足度評価は有意に低下している。いずれの地区も評価水準は50%を下回っている。新幹線工事の影響が及ぶ地区において満足度評価が低下しているということか。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

・工事が具体的に進行していく中で、騒音などが身近な課題として認識されているものと思う。これまで同様、丁寧な説明を続ける。

論点⑤：設問7（公共施設等の使いやすさ）は地区によって満足度評価が分かれている

設問7（公共施設等の使いやすさ）については、川北、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方、有島、市街、東部地区では評価は有意に低下している。いずれの地区も評価水準は50%を下回っている。影響度指標類型は、Ⅲ（いずれ改善することでよい領域）→Ⅳ（早急に改善すべき領域）と深刻化している。

論点⑥：設問8（交通網全体）は多くの地区で満足度評価が低下している

設問8（交通網全体）については、ニセコ町全体、有島、市街地区の満足度評価が有意に低下しているが、ニセコ地区では満足度評価が有意に向上している。リゾート地域における交通網の整備が影響しているのか。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

・生活交通の利便性にいまだ満足できない状況があると同時に、新幹線や高速道路整備が観光やビジネスに好影響をもたらす期待感があるものと思う。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問6（高速道路や新幹線）のみである。どのように評価したら良いのか、戸惑いがあるのだろうか。
- 2) 性別によって有意な差異がみられたのは、設問6（高速道路や新幹線）と設問8（全体）で、いずれも男性の方が評価平均が有意に高い。
- 3) 居住歴によって有意な差異が見られたのは、設問4（デマンドバス）で、居住歴10年未満の方が評価平均が有意に高い。居住歴の長い住民ほどデマンドバスの利用依存度が増えると思われることから満足度評価は厳しくなりがちであり、居住歴の浅い住民は依存度がまだ低いだろうから自身の体験による満足度評価というより、そのような事業そのものへの客観的評価の高さを示しているのではないか。

A

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P105～108 参照）

- A) デマンドバスが利用しにくいなどの問題点（No.10、87、91、131、204、267、315、336、498、1001）
- B) JR、バス、タクシーなど公共交通機関の充実（No.49、59、68、74、111、120、130、132、267、336、522、565、580）
- C) 道路標識の多言語化を（No.74）
- D) 学校付近の道路に押しボタン式信号設置を（No.228）
- E) デマンドバスを巡回バス化してほしい（No.311、374）
- F) 投函用、選挙投票用などスポット的な専用バスの運行を（No.545）
- G) 歩道の草取りなど管理（No.109、130）
- H) 市街地電柱の地下埋設（No.235）
- I) 交差点の改善（No.321、353、434、490、580）
- J) 車道や歩道の整備（No.515、530）
- K) 融雪溝（No.528）

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 14：東部地区と南西地区の満足度評価の低さ、特に南西地区は極めて満足度評価が低く、その背景や要因は単に交通面だけの問題ではないとの分析がなされ、諸々の地域課題が交通問題に集約的に可視化されているとの仮説に基づいて、交通問題の解決に向けた取り組みを最重要課題として取り上げることになった。

2019 年の状況：デマンドバスについての満足度評価は、川北、有島、南西地区で大きく向上した。評価水準は 50%に満たないが、公共交通機関に対する満足度評価が極めて低い状況の中では、デマンドバスの今後の一層の改善に向けて期待を担保した結果となっている。しかし、影響度指標類型は一貫してIVのまま変わっていないので、緊急に改善すべき課題として引き続き解決に向けた取り組みが求められている。

A

2015 年の論点 15：交通網全体としての満足度評価が、川北地区で大幅に低下し、有島地区で大幅に向上した背景や要因などに注目したところ、デマンドバス（重視度水準領域IV）に関する満足度評価が大きく影響していることがわかった。

2019 年の状況：交通網全体に関する町全体としての満足度評価は大きく低下し、地区別に見ると有島、市街地区で大きく低下し、川北地区では大きく向上している。しかし、町全体としても地区別としても評価水準は 20～30%台にとどまっており、交通網全体のこのような評価構造に各要因がどのように影響を与えたかを見ると、公共交通機関とデマンドバスが影響度指標類IVとなっている。相変わらず、この二つの要因、とくにデマンドバスが大きな影響を与えていることがわかる。

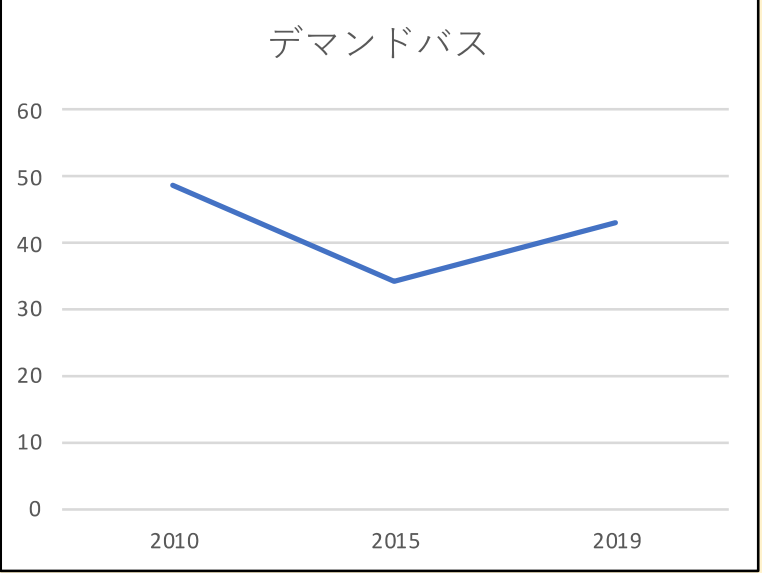
A

A 論点 A についての追加分析
 論点 A について、11 月 7 日に開催された 2 回目の第 5 次ニセコ町総合計画第 2 次見直し検討委員会において様々な指摘が行われたことから、さらに調査分析を深めることとなった。その追加調査と分析によって明らかになったのは、次の事柄である。

- (1) 循環バスからデマンドバスへの切り替えは、H24(2012)年 10 月～
- (2) 2010 年～2015 年～2019 年のアンケート満足度調査(南西地区)の推移から

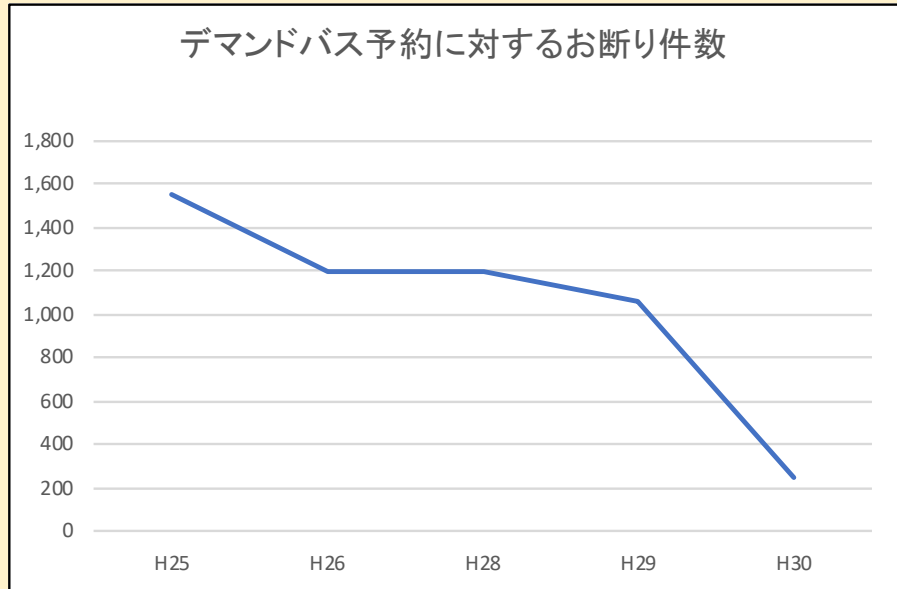
	2010	2015	2019
デマンドバス	48.8	34.3	42.9

南西地区に於る H22(2010)年度時点での満足度評価は、循環バスに関するものであるが、2015 年度時点ではデマンドバス導入後 3 年目の満足度評価が示されており、大幅な低下が見られた。しかし、2019 年度には有意な向上が示され、V 字回復の可能性を示している。つまり、デマンドバス導入当初の運行に関して、満足度評価が大幅に低下する要因があったということである。この満足度評価の変化は、次に示す「デマンドバス予約に対するお断り件数の推移」にも現れている。



3. デマンドバス予約に対するお断り件数の推移（集計：ニセコバス／ニセコ町全域）

	お断り件数
H25	1,548
H26	1,194
H28	1,193
H29	1,062
H30	254



H29(2017)年度からデマンドバス予約に対するお断り件数が大幅に減少している。この現象が満足度評価の大幅な向上に結びついた可能性は高いと思われる。この要因の一つに考えられるのが、次に述べる

H29(2017)年2月から始まった「スキーバス運行」である。スキーバス自体はニセコ町市街地とスキー場の間を結んでいるので、南西地区に直接影響を与えているものではないが、それまではデマンドバスを利用してスキー場まで通っていた子供たちが一転してスキーバスを利用するようになって、デマンドバスの利用申し込み受け入れにかなり余裕が生じたと思われ、そのことによってデマンドバス予約お断りが減少し、結果として満足度評価が高まることになったのではないかと推察される。

4. スキーバス運行（H29(2017)年2月～）による間接的影響

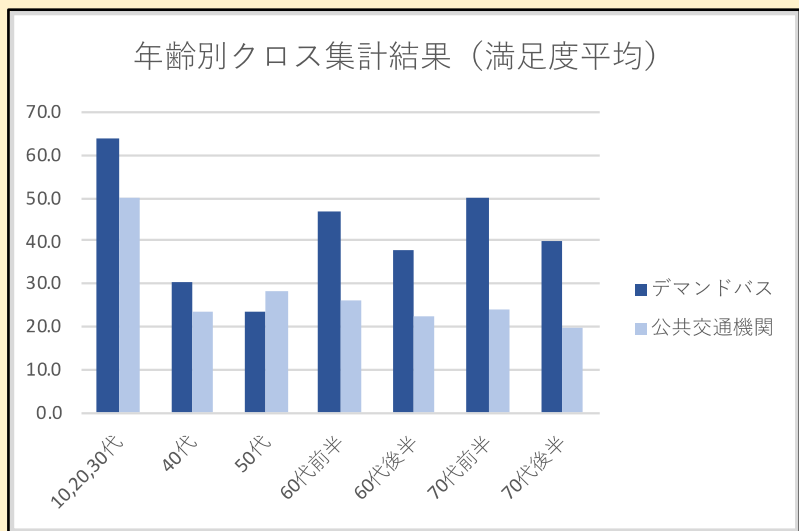
→上記3の背景の一つであることが想定される

5. H31年1月に公共交通全般の利用情報掲載したリニューアルパンフレット全個配布

→上記2の背景の一つとなっていることが想定される

6. 南西地区における年齢別クロス集計（2019 アンケート集計から）

年齢	デマンドバス	公共交通機関
10,20,30代	63.9	50.0
40代	30.5	23.3
50代	23.7	28.3
60代前半	46.8	26.4
60代後半	37.6	22.2
70代前半	50.0	24.2
70代後半	40.0	20.0



若年世代（10, 20, 30年代）の満足度が最も高く、子育てにおけるスキーバスの利便性などが要因となっていることが想定される。中年世代（40, 50）代の満足度が最も低いグループを形成しているが、高

齢の家族がデマンドの予約が断られた場合車で送迎せざるを得ないなどデマンドバスの運行に厳しい視線が注がれていることが想定される。現役引退後の高齢世代（60代以降）の満足度がやや高いのは、予約が断られないようになってきたことへの好感が示された結果ではないかと推察される。

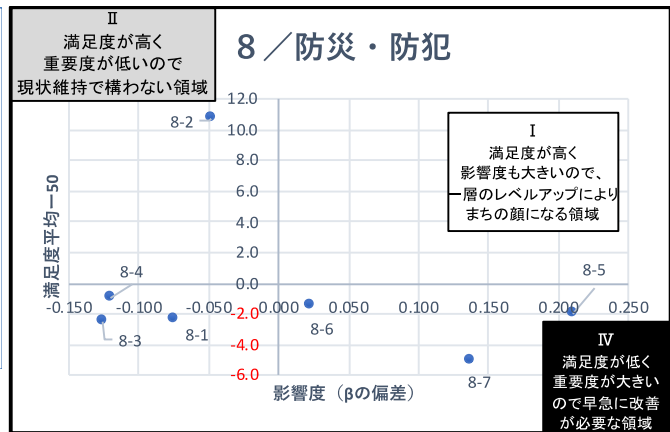
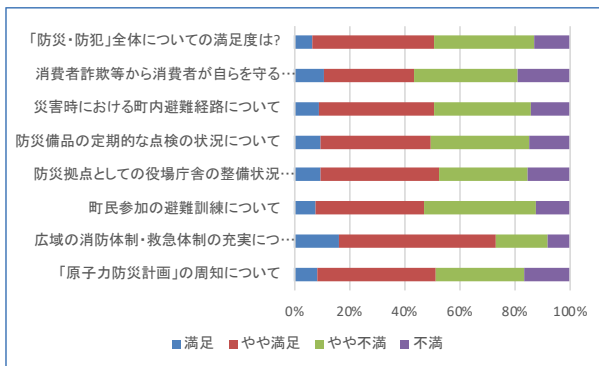
さらに、南西地区の町営住宅が整備されたことや西富地区町民センターの建て替えに向けて地域住民との意見交換が進んでいることなども、満足度評価の全般的な向上に結びついた可能性がある。

8 防災・防犯に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

防災・防犯に関する次の項目について														
1	「原子力防災計画」の周知について	8.5%	42.6%	32.2%	16.8%	31.5%	4.7%	47.6	47.6	48	51.3	46.5	47.3	66.9
2	広域の消防体制・救急体制の充実について	16.4%	56.8%	18.9%	7.9%	27.1%	4.6%	60.7	60.7	61.1	59.1	61.4	60.7	70.4
3	町民参加の避難訓練について	7.5%	39.7%	40.4%	12.4%	43.2%	4.7%	47.4	48	47.5	51.5	46.4	46.8	66.7
4	防災拠点としての役場庁舎の整備状況について	9.6%	43.2%	31.9%	15.3%	44.2%	4.7%	49.1	48.5	51.2	51.6	49.4	49.5	63.3
5	防災備品の定期的な点検の状況について	9.3%	40.0%	36.0%	14.7%	56.4%	5.4%	48.0	48	49.4	46.9	49.6	48.3	60
6	災害時における町内避難経路について	9.1%	41.4%	35.5%	14.0%	42.7%	5.3%	48.6	47.1	51.1	50	49.1	48.8	63
7	消費者詐欺等から消費者が自らを守るための行政の支援について	10.6%	32.6%	37.9%	18.9%	50.2%	5.1%	44.9	44.3	45.9	52.7	43.4	44.5	71.4
8	「防災・防犯」全体についての満足度は?	6.5%	44.2%	36.4%	12.9%	32.2%	4.9%	48.1	48	48.6	52.3	47.6	48.1	63.4

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	41.0	47.6	6.6	①	31.5	50.8	19.4	45.0	49.4	4.3	45.4	48.3	2.9	33.9	45.7	11.7	35.6	42.3	6.7	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ					
2	58.8	60.7	1.9	54.8	61.1	6.3	③	63.5	62.1	-1.5	63.0	61.9	-1.1	58.1	53.8	-4.3	47.2	60.5	13.3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ					
3	43.6	47.4	3.8	36.9	48.9	11.9	47.9	50.2	2.3	46.0	47.9	1.9	49.6	43.8	-5.8	34.8	45.4	10.6	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ						
4	34.8	49.1	14.3	②	30.8	51.8	21.1	35.4	50.3	14.9	36.2	49.9	13.7	38.0	43.3	5.4	28.4	54.2	25.7	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ					
5	47.4	48.0	0.6	45.6	50.0	4.4	47.8	50.0	2.3	50.4	50.5	0.2	46.4	40.3	-6.1	38.8	48.5	9.7	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ						
6	45.0	48.6	3.5	35.4	49.6	14.2	49.1	51.8	2.7	47.6	51.8	4.2	47.7	39.5	-8.2	35.7	49.6	13.9	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ						
7	43.2	44.9	1.7	41.3	52.3	10.9	45.6	47.2	1.6	46.4	41.1	-5.3	44.4	43.1	-1.4	29.0	46.7	17.7	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ						
8	45.0	48.1	3.1	37.6	51.0	13.4	47.6	48.9	1.4	49.1	48.3	-0.9	46.1	47.5	1.4	37.5	48.0	10.5	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ						



論点①：設問1（原子力防災計画）は全町的に満足度評価が向上している

設問1（原子力防災計画）については、町全体、川北、東部、南西地区で満足度評価は有意に向上しているが、評価水準は川北地区以外で50%に届いていない。

論点②：設問4（防災備品の点検）は全町的に満足度評価が向上している

設問4（防災備品の点検）については、東部地区以外の全地区と町全体で満足度評価は有意に向上している。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問1（原子力防災計画）と設問2（広域消防等の体制）および設問8（防災防犯全体）以外の全ての項目に及んでおり、防災・防犯を身近な問題と受け止めている人の割合が少ないことを示していると考えられる。

- 2) 居住歴によって有意な差異が見られたのは、設問3（防災訓練）と設問7（消費者詐欺防犯）で、居住歴10年未満の方が満足度評価は有意に高い。

●青田専門官（防災担当）からのコメント（包括的に）

- ・気候変動に伴って台風などの被害が大きくなっているため、ハード整備のみでは対応が難しくなっており、地域住民の普段からの備えや取り組みなどソフト面の取り組みが重要性を増している。そのために、全町での「自主防災組織」の立ち上げを提言している。災害が少ないニセコ町では地域住民の反応は薄いですが、主体的に動き始めている地区もあって、地域コミュニティの日常的な活性化にもつながる可能性が伺える。当面は、全国各地の事例を紹介しながら、地域ごとの特性に見合うあり方を探っている。
- ・自主防災組織の課題の一つとして、地域に住む高齢者との日常的な繋がりを元にした避難支援があるが、そのためには高齢者福祉担当との連携が欠かせないので、自分も高齢者福祉を勉強しながら、保健福祉課の担当者と情報交換している。
- ・国内の地域防災先進地では、地区ごとに自主的な「地区防災計画」を作成しているところもあるが、ニセコ町ではまだまだ難しそう。各地区ごとに、住民自身が主体的に考えていざというときに向けた対策を相談していく機運の醸成が必要だ。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P109 参照）

- A) 暮らしの安全面で不安はない (No.10、211)
- B) ビュープラの安全面に不安 (No.28)
- C) 地域の防災意識ができていない (No.87)
- D) 原発に反対 (No.111、120)
- E) 駐在所が不在の時があって不安 (No.130)
- F) 外国人向けの災害避難マニュアル必要 (No.160)
- G) 違法薬物犯罪が不安 (No.182)
- H) 防災ラジオの電波が弱い (No.349、419)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点：南西地区における全般的な満足度評価の低さの背景として、災害避難時の足の確保や情報過疎、消費者詐欺などに対する防衛策が高齢化の進行にともなって大きな不安要因となっていることなどがあるとの分析から、共助と公助の組み重ねを検討する方向が示された

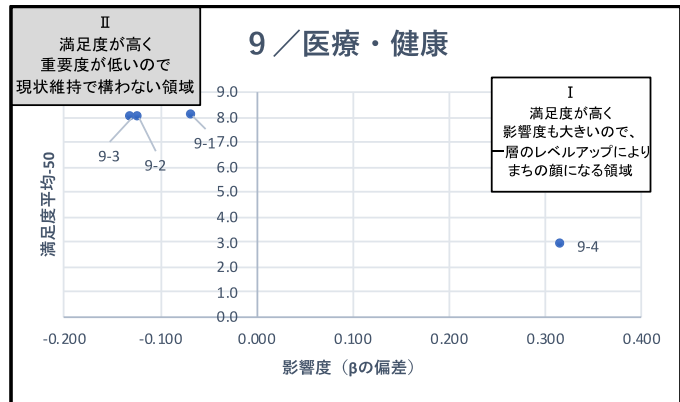
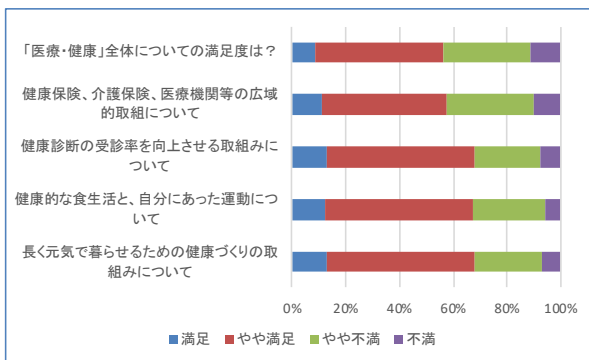
2019 年の状況：川北、南西地区の満足度評価がほとんどの項目にわたって大きく向上しているが、この背景や要因について分析する必要がある。

9 医療・健康に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住地」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

医療・健康に関する次の項目について														
1	長く元気で暮らせるための健康づくりの取組みについて	12.8%	55.3%	24.8%	7.1%	23.7%	4.6%	58.0	58.2	58.5	59.2	58.2	57.8	73.3
2	健康的な食生活と、自分にあった運動について	12.5%	54.5%	26.9%	6.0%	22.2%	4.7%	57.9	57.2	59	56.9	58.8	58.1	64.2
3	健康診断の受診率を向上させる取組みについて	12.8%	55.4%	24.4%	7.4%	26.8%	4.4%	58.0	56	59.8	58.7	58	57.9	66.8
4	健康保険、介護保険、医療機関等の広域的取組について	10.8%	46.9%	32.2%	10.1%	26.8%	4.2%	52.9	53.8	52.2	52.8	53.1	52.7	61.5
5	「医療・健康」全体についての満足度は?	8.8%	47.4%	32.7%	11.2%	18.3%	4.4%	51.3	52.1	51.3	48.5	52.9	51.5	59

	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	51.1	52.0	58.0	6.0	53.4	46.4	57.5	11.0	49.8	55.5	57.5	2.1	49.7	55.9	60.8	5.0	48.4	45.2	54.5	9.3	54.3	49.9	58.9	9.0	II	II	II
2		55.6	57.9	2.3	① 54.9	58.6	3.7		58.7	54.6	-4.1		57.4	58.1	0.7		52.9	60.7	7.8		51.2	62.2	11.0		II	II	
3		55.3	58.0	2.7		55.4	58.0	2.7		57.5	57.5	0.0		59.8	57.2	-2.6		50.4	58.1	7.7		48.9	60.8	11.8		II	II
4		47.2	52.9	5.7	② 45.1	52.7	7.5		52.4	50.6	-1.8		51.0	53.9	2.9		41.3	50.0	8.7		40.3	59.3	19.0		IV	I	
5		46.4	51.3	4.9		44.8	51.3	6.5	③ 52.1	49.4	-2.8		49.4	52.3	2.9		43.3	50.6	7.3		41.0	55.4	14.4				



論点①：設問1（健康づくりの取組み）は全町的に満足度評価が向上している

設問1（健康づくりの取組み）については、有島地区以外の全ての地区と町全体で、満足度評価は有意に向上している。

論点②：設問4（広域的取組み）は全町的に満足度評価が向上している

設問4（広域的取組み）については、町全体と東部、南西地区で、満足度評価は有意に向上している。伴って影響度は高い水準に維持しているため、影響度指標類型は、IV（至急改善すべき領域）→I（町の自慢になっている領域）に大きく転換した。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P110参照）

- A) 婦人科検診の体制が不十分 (No13)
- B) ジムなど健康づくりの設備を充実してほしい (No199、204)
- C) プールが欲しい (No.443)

前回2015年見直し時の論点振り返りと今回2019年時点での変化

2015年の論点16：健康づくりの取組みに関する満足度評価が地域によって異なる傾向を示していて、特に、川北、東部、南西地区で低下傾向が明らかとなったのは、市街地に集中している関連催しに参加するための情報面や交通アクセス面に対する不満があるからではないかとの分析がなされた。また、健康保険、介護保険、医療機関等の広域展開が影響度指標類型IVを示していることから、この点の改善を重点的に行うことによって、健康・

医療面の全般的満足度評価を向上させることにつながるのではないか、と方向性が見出された。

2019年の状況：町全体、川北、東部、南西地区で、多くの項目について満足度評価が大きく向上しており、前回重要度の領域がIVであった「健康保険、介護保険、医療機関等の広域展開」の影響度指標類はIに転換している。これは、どのような改善がなされての結果なのか、分析が必要である。

● **桜井課長（保健福祉課）からのコメント**

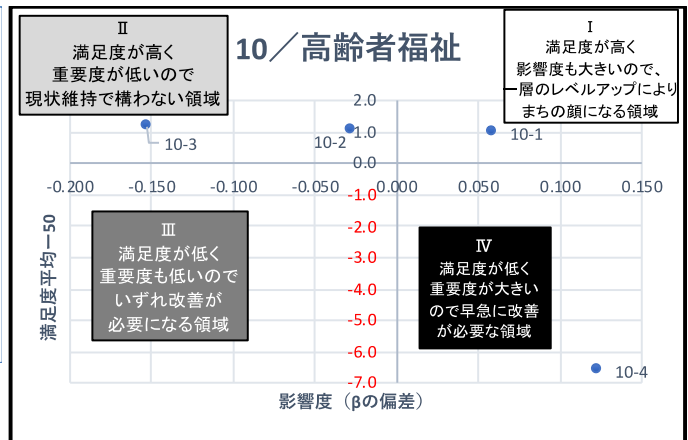
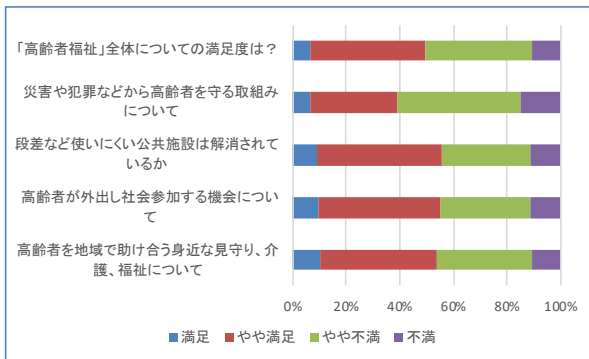
- ・ 前回4年前の調査時点からの変化として最も大きいのは、保健師が4人から5人に増えたことである。また、臨時のスタッフも2人いるので、ニセコ町の規模でこの変化の効果は大きいはずだ。地域に出かけて地区住民とコンタクトする機会が、大きく増えた。幼児の健診は、基本的な1歳児半、3歳児に加えてニセコ町では5歳児検診も行っており、きめ細かい体制を組んでいることがより明瞭に認識されるようになったのではないかと。高齢者に対するケアも、保健師が増えた効果は現れているはずで、そのことに対する各地区や町全体の評価が今回の結果に現れているように思う。

10 高齢者福祉に関するアンケート調査結果から

●凡例	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値／全町	平均値／男性	平均値／女性	平均値／10年未満	平均値／10年以上	平均値／日本人	平均値／外国人
※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として)	1	2	3	4	5	NA				未満	以上	人	人
※「わからない」は、40%以上に網掛け													
※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け													

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値／全町	平均値／男性	平均値／女性	平均値／10年未満	平均値／10年以上	平均値／日本人	平均値／外国人
1 高齢者を地域で助け合う身近な見守り、介護、福祉について	10.1%	43.7%	35.3%	10.9%	35.6%	3.9%	51.0	50.2	51.8	50.4	51.4	50.8	66.7
2 高齢者が外出し社会参加する機会について	9.6%	45.2%	33.8%	11.4%	37.5%	4.4%	51.1	50.3	51.7	55.2	50.2	50.9	66.7
3 段差など使いにくい公共施設は解消されているか	8.9%	46.9%	32.8%	11.4%	33.1%	4.4%	51.2	51.0	52.1	53.1	51.1	51	76.4
4 災害や犯罪などから高齢者を守る取組みについて	6.5%	32.2%	46.4%	14.9%	48.5%	4.7%	43.4	42.9	43.9	48.4	42.6	43.3	60
5 「高齢者福祉」全体についての満足度は?	6.9%	42.7%	39.7%	10.7%	39.7%	3.6%	48.6	48.6	49.5	53.8	48.1	48.8	61.2

項目	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	46.2	47.4	51.0	3.6	50.4	41.6	52.5	10.9	47.1	46.0	48.2	2.3	43.5	51.5	54.0	2.5	47.4	43.5	42.5	-1.0	46.1	42.5	54.3	11.8	IV	IV	I
2	50.6	48.7	51.1	2.4	52.6	45.1	48.3	3.2	48.9	48.8	52.1	3.2	48.1	51.6	54.6	3.0	52.1	44.4	43.4	-0.9	54.7	46.3	49.3	3.0	II	III	II
3	39.4	39.0	51.2	12.1	40.1	33.9	50.6	16.7	36.1	38.8	54.7	15.9	38.2	42.0	49.4	7.4	34.2	40.6	51.8	11.3	45.4	35.1	54.1	18.9	III	III	II
4	36.3	32.1	43.4	11.3	36.9	31.8	45.2	13.5	36.1	32.5	47.5	15.0	35.9	32.7	38.8	6.1	39.4	34.2	41.6	7.4	34.2	28.9	49.5	20.6	IV	IV	IV
5	42.8	42.7	48.6	5.8	47.4	40.2	50.0	9.8	40.5	40.6	49.4	8.8	42.2	47.4	47.6	0.2	40.4	36.0	50.5	14.4	42.8	38.2	50.0	11.8			



論点①：設問1（高齢者を地域で見守る）は半分ほどの地域で満足度評価が向上している

設問1（高齢者を地域で見守る）については、川北、南西地区の満足度評価が有意に向上している。その結果、影響度指標類型は、IV（至急改善すべき領域）→I（町の自慢になっている領域）に大きく転換した。

論点②：設問3（バリアフリー）、設問4（高齢者の防災・防犯）、設問5（高齢者福祉全般）は全町的に満足度評価が向上している

設問3（バリアフリー）、設問4（高齢者の防災・防犯）、設問5（高齢者福祉全般）については、ほぼ全ての地域と町全体で、満足度評価が有意に向上している。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問4（高齢者の防災・防犯）だけであり、高齢者を災害や犯罪から守る取り組みを身近な問題と受け止めている人の割合が少ないことを示していると考えられる。
- 2) 居住歴によって有意な差異が見られたのは、設問2（高齢者の社会参加）と設問4（高齢者の防災・防犯）及び設問5（高齢者福祉全般）で、居住歴10年未満の方が満足度評価が有意に高い。

●桜井課長（保健福祉課）からのコメント

- ・防災や防犯に関する高齢者福祉については、消費者行政担当や防災担当などとの連携が

不可欠だが、具体的には進んでいない。したがって、町民に見える領域も少ないのだろう。保健福祉課としては、支援が必要な高齢者の所在地などデータベース化している。今後は、連携する上での議論を進める必要がある。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P111 参照）

A) 高齢者福祉サービスについての説明やアドバイスを直接本人にして欲しい（No306）

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 17：川北地区において全ての項目について満足度評価が大きく低下したことについて、市街地区から離れた地区であることなどによる不安感が大きいのではないかとの分析がなされた。

2019 年の状況：転じて今回の調査においては、多くの項目で川北地区、南西地区の満足度評価は大きく向上していることから、その要因を明らかにしておきたい。

2015 年の論点 18：

川北地区と同様の傾向が、東部、南西地区においても見られ、また反対に市街地区では、高齢者の見守りなどの項目において満足度評価の有意な向上が見られた項目もあった。この高齢者の見守りなどの項目は、高齢者福祉全体に対する影響度指標類がⅣとなっていることから、高齢者福祉全体に対して今後大きな改善効果をもたらすことが期待された。

2019 年の状況：

今回の調査においては、町全体としても、ほぼ全ての地区においても、多くの項目で満足度評価は大きく向上しており、影響度指標類型の推移を見ると特に高齢者の見守りがⅣからⅠに変わったことに現れているように、4年間の改善効果が大きく現れた結果となっている。

G

● 桜井課長（保健福祉課）からのコメント

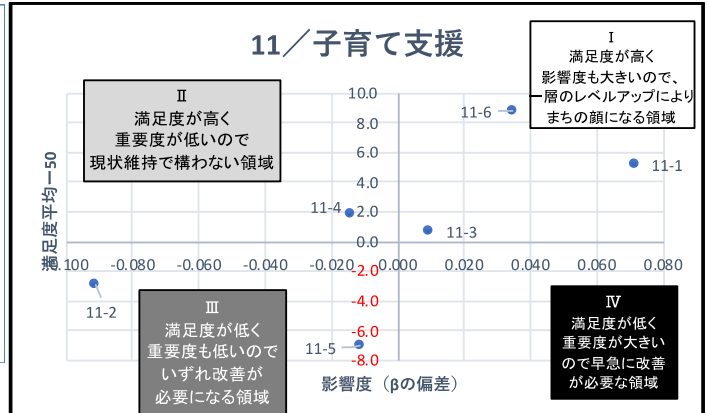
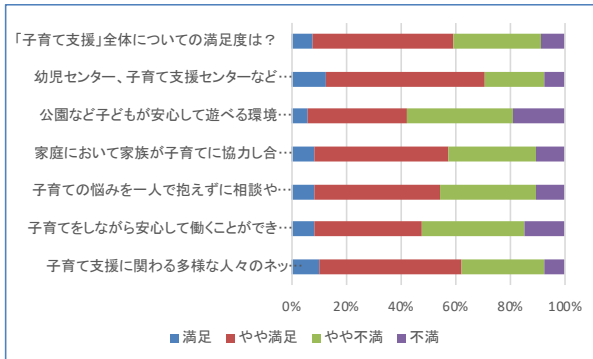
- ・前回 4 年前の調査時点からの変化として最も大きいのは、保健師が 4 人から 5 人に増えたことである。また、臨時のスタッフも 2 人いるので、ニセコ町の規模でこの変化の効果は大きいはずだ。地域に出かけて地区住民とコンタクトする機会が、大きく増えた。幼児の健診は、基本的な 1 歳児半、3 歳児に加えてニセコ町では 5 歳児検診も行っており、きめ細かい体制を組んでいることがより明瞭に認識されるようになったのではないかと。高齢者に対するケアも、保健師が増えた効果は現れているはずで、そのことに対する各地区や町全体の評価が今回の結果に現れているように思う。

11 子育て支援に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 子育て支援に関わる多様な人々のネットワークについて	10.5%	51.6%	30.6%	7.3%	52.5%	5.4%	55.2	54.9	56.7	55.1	55.9	55.0	71.4
2 子育てをしながら安心して働くことができる職場環境について	8.3%	39.4%	37.5%	14.8%	50.0%	5.3%	47.1	48	47	45.2	47.8	47.0	72.3
3 子育ての悩みを一人で抱えずに相談や交流できる仕組みについて	8.4%	46.2%	34.5%	10.8%	52.2%	5.6%	50.8	49.4	52.9	48.9	52	51.1	62.0
4 家庭において家族が子育てに協力し合う男女共同の取組みについて	8.6%	48.5%	32.6%	10.3%	55.3%	5.3%	51.8	53.5	52.1	50.4	52.8	51.9	66.8
5 公園など子どもが安心して遊べる環境の整備状況は?	5.9%	36.2%	39.1%	18.8%	36.8%	5.6%	43.0	44.2	42.1	44.5	42.8	41.9	78.0
6 幼児センター、子育て支援センターなどの取組みについて	12.8%	58.1%	21.3%	7.8%	44.6%	5.3%	58.8	58.7	58.8	54.9	59.9	58.9	71.7
7 「子育て支援」全体についての満足度は?	7.8%	51.5%	32.1%	8.5%	45.6%	4.7%	53.0	52.7	53.6	49.5	54.1	52.7	66.7

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)					
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019			
1		53.4	55.2	1.8	① 55.1	55.6	0.5		55.5	58.9	3.4		53.4	52.8	-0.6		52.1	57.9	5.8		52.6	53.9	1.3					I	I	I
2	44.0	41.6	47.1	5.5	49.8	43.8	43.3	-0.4	42.1	42.0	51.8	9.7	44.6	41.3	48.0	6.7	36.8	40.7	41.4	0.7	41.8	46.6	48.3	1.8	IV	III	III			
3	46.3	47.2	50.8	3.6	50.5	53.0	51.0	-1.9	46.7	48.9	56.0	7.2	45.9	② 47.6	48.5	0.9	38.7	42.4	48.8	6.4	44.7	40.7	49.4	8.7	III	IV	I			
4	49.0	46.3	51.8	5.5	53.6	③ 48.3	59.4	11.0	43.1	46.7	55.0	8.3	48.3	48.6	47.3	-1.4	44.0	42.2	52.0	9.8	52.8	44.0	53.1	9.1	IV	IV	II			
5			43.0				45.6				41.4	④			43.6				42.5				44.4				III			
6	59.7	58.5	58.8	0.3	62.3	62.4	57.2	-5.2	56.0	55.9	62.3	6.3	60.4	60.4	56.9	-3.5	60.4	55.8	60.5	4.7	58.4	58.2	63.0	4.8	I	II	I			
7	48.2	48.2	53.0	4.8	50.8	49.6	51.2	1.6	43.7	50.8	56.0	5.2	48.0	49.1	51.9	⑤ 2.8	45.9	42.8	53.8	11.0	48.7	49.1	54.4	5.3						



- 論点①：**設問2（子育てしながらの職場環境）は半分ほどの地域で満足度評価が向上している
 設問2（子育てしながらの職場環境）については、町全体と有島、市街地区で、満足度評価が有意に向上している。
- 論点②：**設問3（相談できる仕組み）は半分ほどの地域で満足度評価が向上している
 設問3（相談でき得る仕組み）については、有島、東部、南西地区で、満足度評価が有意に向上している。
- 論点③：**設問4（家庭における男女共同参画）は半分ほどの地域で満足度評価が向上している
 設問4（家庭における男女共同参画）については、町全体と有島、東部、南西地区で、満足度評価が有意に向上している。
- 論点④：**設問6（幼児センター、子育て支援センター）は地域によって満足度評価が分かれている
 設問6（幼児センター、子育て支援センターの取り組み）については、川北地区では満足度評価が有意に低下し、有島地区では満足度評価が有意に向上している。この相違を生んだ背景について把握する必要がある。

● 桜井課長（保健福祉課）からのコメント

- ・幼児センターは、託児に加えて子育て支援の拠点としての機能もあり、保健師と連携して

スタッフが地域に出向くなどの活動をしているが、そのことについての各地区からの評価が見られたのだと思う。しかし、川北地区では観光業に従事している若い世帯も多く、観光業特有の休日業務が多いので、週末やGW、年末年始の託児のニーズが多いことは承知しているが、現状の施設サービスの体制が限界でもあり、年中無休の託児は難しい。しかし、町民の有志が中心となって、GWと年末年始という観光業のかき入れ時に、地区センターなどを利用して託児の活動を行っているので、町としても、昨年の年末年始以降、その活動への補助の支援を行なっている。今後も、どのような体制が良いのか、可能なのか、検討していくつもりだ。また、この問題は、福祉だけで十分な対応策が講じられるとは思えない。観光サイドからの関わりなどとも連携する必要があると思う。

● 酒井センター長（幼児センター）からのコメント

- ・幼児センターは、在園児であっても在園児でなくても、日曜日やGWに託児のニーズがあっても予約があれば対応しているが、年末年始は行っていない。また、民間のボランティア託児グループとも連携して調整しながら休日保育に対応している。出張親子教室も各地区に対応している。川北地区からの園児は、全町の15%程であるが、川北地区での満足度低下の原因は、幼児センターとして把握できていない課題の可能性もあると思う。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問5（子供が遊べる環境整備）以外の全ての項目であり、子育て支援については全般的に知り難い領域になっていることが示された結果と言える。子育てを多様で広い範囲で行なっていくためには、住民全体にその問題や仕組みについて情報の共有を進める必要があるという示唆である。

H

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P94～96 参照）

次のような意見が寄せられている。

- A) 一貫教育やコミュニティスクールの取り組みを進めてほしい (No.26、27、476)
- B) スクールバスの経路等の改善 (No.26)
- C) 学童保育の拡充 (No.61、65)
- D) 子供の遊び場や居場所などの充実 (No.80、189、399、456、457、480、528、544、580)
- E) 英語教育の充実 (No.242、296、492、)
- F) 子供の虐待問題 (No.441)
- G) 休日保育の受け入れ (No.498)
- H) 育児カウンセラーの設置 (No.574)
- I) 私立幼稚園の誘致 (No.24、182)
- J) 近藤小学校の地域ぐるみ取り組みへの高い評価 (No.234)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 19：川北地区と南西地区において子育て環境としての職場や家庭の条件整備に関する満足度評価が低下していることを受けて、子育て相談と家庭での男女共同参画が子育て支援全般に関する満足度評価に大きな影響を与えている影響度指標類型Ⅳであることから、この政策を重点課題とすることが分析された。

2019 年の状況：町全体としても有島、東部、南西地区としても満足度評価が向上している項目が多い。しかし、川北地区では幼児センター、子育て支援センターに対する満足度評価が低下しており、特に観光関連産業従事者の多いこの地区における子育て支援のニーズと幼児センターや子育て支援センターの方針がマッチしていない状況が続いていることをうかがわせる。

H

● 佐竹事務局長（議会事務局）からのコメント

- ・昨年度から母親への産後ケアとして助産師を派遣している事業の開始で、乳児期の子育て世代の不安解消につながったと思われる。逆に川北地区では、幼児期は保育所や学童の利用が希望と合わないから不満が出ている。小学生も結局、核家族では両親が働きに出るこ

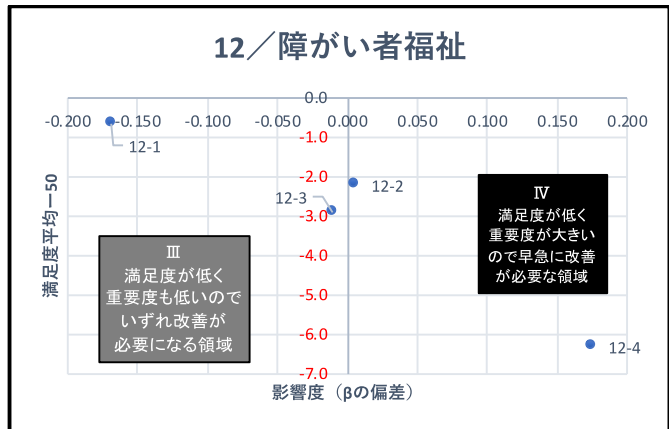
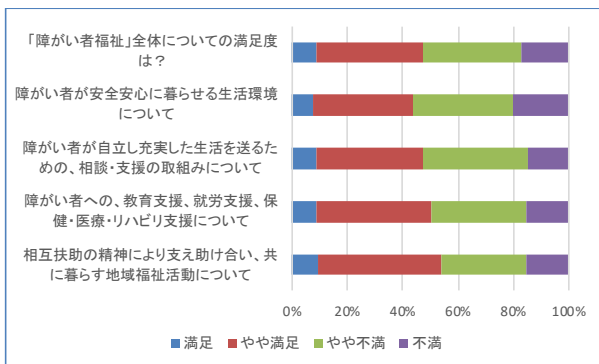
とで学校と家庭の中間で預けられる（見守りしてくれる）場所が必要になる。子ども会的な場所や機会が増えて欲しいのだろう。担い手は小コミュニティスクールであり、時間のある高齢者の活用に結びつけたい。

12 障がい者福祉に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 相互扶助の精神により支え助け合い、共に暮らす地域福祉活動について	9.5%	44.2%	31.0%	15.3%	54.2%	4.7%	49.4	49.4	49.6	56	48.5	48.5	85.7
2 障がい者への、教育支援、就労支援、保健・医療・リハビリ支援について	8.6%	41.6%	34.3%	15.5%	55.8%	4.7%	47.8	45.2	49.5	48.5	47.7	47.2	66.8
3 障がい者が自立し充実した生活を送るための、相談・支援の取組みについて	8.9%	38.4%	37.9%	14.8%	60.8%	4.7%	47.1	47.1	46.7	50.6	46.7	46.5	75.3
4 障がい者が安全安心に暮らせる生活環境について	7.8%	35.8%	36.2%	20.2%	58.5%	4.6%	43.7	43.2	44.3	45.2	43.6	43	78
5 「障がい者福祉」全体についての満足度は?	8.6%	38.5%	35.7%	17.2%	58.1%	4.4%	46.2	46.8	46.2	49.5	45.9	45.6	75.3

項目	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	46.8	49.4	49.4	2.6	47.1	47.7	47.7	0.7	43.6	50.3	50.3	6.7	49.7	49.4	49.4	-0.3	45.4	52.4	52.4	7.0	43.6	51.5	51.5	7.9		Ⅲ	Ⅲ
2	42.1	47.8	47.8	5.8	44.9	49.2	49.2	4.3	40.8	47.2	47.2	6.4	44.6	47.3	47.3	2.7	39.6	45.7	45.7	6.1	42.3	54.3	54.3	12.0		Ⅳ	Ⅳ
3	41.0	47.1	47.1	6.1	44.1	48.9	48.9	4.8	38.3	48.6	48.6	10.3	44.6	45.6	45.6	1.1	39.8	41.2	41.2	1.4	36.5	53.1	53.1	16.6		Ⅳ	Ⅲ
4	40.3	43.7	43.7	3.4	39.7	43.8	43.8	4.1	42.1	46.3	46.3	4.1	41.2	44.1	44.1	2.9	40.5	37.4	37.4	-3.1	35.9	45.7	45.7	9.8		Ⅳ	Ⅳ
5	41.6	46.2	46.2	4.5	39.0	47.8	47.8	8.8	41.0	49.0	49.0	8.0	44.9	44.9	44.9	0.1	40.5	42.6	42.6	2.2	42.0	48.1	48.1	6.1			



論点①：設問1（地域福祉活動）は半分ほどの地域で満足度評価が向上している

設問1（地域福祉活動）については、有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。

論点②：設問2（障がい者への各種支援）は、町全体と多くの地域で満足度評価が向上している

設問2（障がい者への各種支援）については、町全体と、有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、評価水準はほとんどで50%を下回っている。

論点③：設問3（相談・支援の仕組み）は、町全体と半分近くの地域で満足度評価が向上している

設問3（相談・支援の仕組み）については、町全体と、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、評価水準はほとんどで50%を下回っている。

論点④：設問5（障がい者福祉全般）は半分以上の地域で満足度評価が向上している

設問5（障害者福祉全般）については、川北、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、評価水準は全てにおいて50%を下回っている。

その他の特徴

1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、全ての項目であり、障がい者福祉については全般的に知り難い領域になっていることが示された結果と言える。障害者福祉を多様で広い範囲で行なっていくためには、住民全体にその問題状況について情報の共有を進める必要があるという示唆である。

H

- 2) 居住歴によって有意な差異が見られたのは、設問1（地域福祉活動）で、居住歴10年未満の方が満足度評価が有意に高い。

前回2015年見直し時の論点振り返りと今回2019年時点での変化

2015年の論点：満足度評価の傾向が二つに分かれていて、「相互扶助による助け合いで行う地域福祉活動」は住民自身の活動であるが影響度指標類型はⅢであり、「障害への様々な支援」「相談支援」「ユニバーサルデザインによる環境整備」といった行政主導の支援に関する影響度指標類型はⅣとなっている。住民自身が自身の課題として参加しながら支援するよりも、行政による制度的支援を望んでいる意識が現れている。

2019年の状況：南西と有島地区では、ほとんどの項目で満足度評価が大きく向上しており、影響度指標類型から見ると大枠の構造としては前回と同じだが、「相談支援」の重要度指標領域がⅣ→Ⅲになったことで支援主体が住民か行政かというフレーム以外に、「相互扶助で助け合う」や「相談支援」など個別の事情に寄り添う支援への期待度が減退していることが示された形となっている。

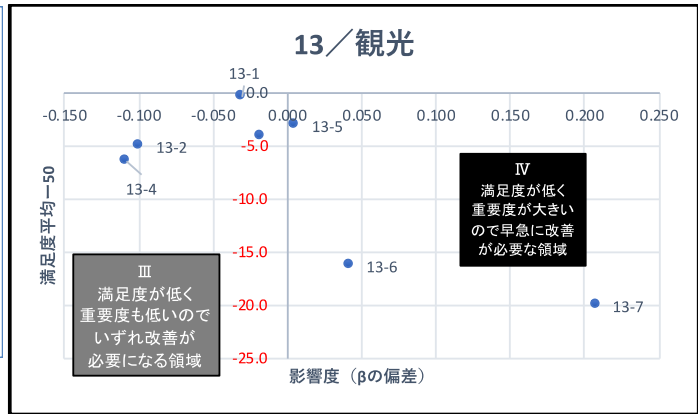
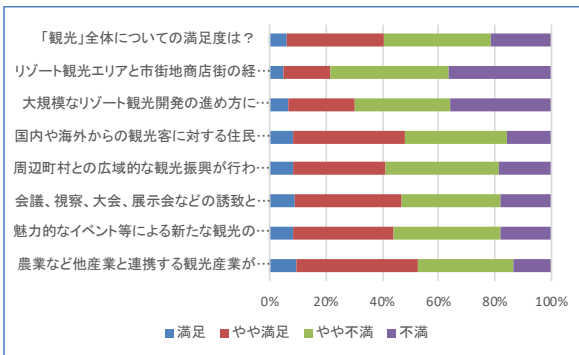
H

13 観光に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

観光に関する次の項目について														
1	農業など他産業と連携する観光産業が活性化しているか	9.5%	43.0%	34.0%	13.4%	29.8%	4.4%	49.6	45.8	53.2	55.5	47.4	49.0	69.5
2	魅力的なイベント等による新たな観光の掘り起こしについて	8.6%	35.7%	37.9%	17.9%	24.4%	4.4%	45.0	41.4	48.6	52.4	42.2	44.4	66.8
3	会議、視察、大会、展示会などの誘致と開催について	8.9%	38.0%	35.0%	18.1%	40.5%	4.2%	45.9	44.4	48.6	55.1	42.8	45.7	57.1
4	周辺町村との広域的な観光振興が行われているか	8.6%	32.4%	40.4%	18.6%	38.1%	4.4%	43.6	41.3	46.6	51	41.2	42.5	69.1
5	国内や海外からの観光客に対する住民のおもてなしについて	8.4%	39.8%	35.8%	16.0%	37.3%	4.4%	46.9	44.7	48.9	52.9	44.5	45.5	74.0
6	大規模なリゾート観光開発の進め方について	6.8%	23.6%	33.9%	35.8%	33.2%	4.2%	33.8	36.5	30.7	38.3	31.7	31.9	66.8
7	リゾート観光エリアと市街地商店街の経済循環について	5.2%	16.7%	41.5%	36.6%	34.1%	3.9%	30.1	30.5	30.0	31.3	29.9	28.4	69.2
8	「観光」全体についての満足度は？	6.0%	34.4%	38.3%	21.3%	23.1%	3.1%	41.7	40.2	42.8	45.2	40.8	40.7	74.5

	二セコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)						
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	44.5	50.9	49.6	-1.3	42.2	48.2	51.7	3.4	49.1	52.2	49.0	-3.2	45.4	54.0	48.3	-5.7	45.9	52.4	52.5	0.1	39.8	43.9	48.2	4.3	III	II	III				
2	43.1	46.4	45.0	-1.4	39.9	43.4	51.0	7.6	44.1	51.0	45.7	-5.2	45.3	49.2	41.2	-8.0	44.0	49.6	44.2	-5.4	41.9	40.3	45.4	5.1	III	IV	III				
3		41.0	45.9	4.9		42.6	49.0	6.4	②	42.6	49.8	7.2	42.1	42.6	0.4	41.0	45.4	4.4		39.1	49.2	10.1		III	III						
4	40.4	43.6	43.6	0.0	33.8	43.3	49.8	6.5	44.7	47.1	46.8	-0.3	42.0	43.7	40.1	-3.6	42.8	47.5	40.0	-7.5	38.1	39.8	45.6	5.8	III	III	III				
5	43.3	48.5	46.9	-1.6	38.7	45.4	55.6	10.2	44.7	43.5	47.0	-6.6	43.6	48.9	39.1	-9.8	41.0	50.6	47.5	-3.2	46.3	43.7	49.6	5.9	IV	III	IV				
6	31.6	37.2	33.8	-3.4	30.1	25.3	31.2	5.9	25.2	4.9	39.0	-5.9	34.1	39.9	33.3	-6.6	34.0	34.1	26.5	-7.6	35.0	34.7	37.8	3.1	IV	IV	IV				
7		28.9	30.1	1.2		23.3	36.1	12.8	⑥	30.8	35.1	4.3	28.5	26.9	-1.6	33.0	20.2	####		28.1	30.9	2.9		IV	IV						
8	42.0	44.4	41.7	-2.8	38.0	42.4	47.9	5.5	41.8	44.3	43.1	-1.2	43.9	47.8	38.5	-9.3	45.7	43.1	39.1	-4.0	41.1	42.7	40.8	-1.9			⑧				



論点①：設問2（イベント）は地域によって満足度評価が分かれている

設問2（イベント）については、川北、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方で、有島、市街地、東部地区では満足度評価が有意に低下している。また、評価水準は多くの地域で50%を下回っている。影響度指標類型は、IV（早急に改善が必要な領域）→III（いずれ改善が望まれる領域）へと変化しており、イベントへの期待感が薄らいでいる。

論点②：設問3（MICEの誘致）は半数の地域で満足度評価が向上している

設問3（MICEの誘致）については、川北、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているものの、評価水準は50%を下回っている。

論点③：設問4（広域的連携）は、いくつかの地域で満足度評価が分かれている

設問4（広域的連携）については、川北、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方で、東部地区で満足度評価が有意に低下している。評価水準は、全ての地域で50%を下回っている。

論点④：設問5（住民のおもてなし）は地域によって満足度評価が分かれている

設問5（おもてなし）については、川北、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方で、有島、市街地区で満足度評価が有意に低下している。評価水準は全ての地域で50ポイントを下回っている。影響度指標類型は、Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化しており、住民の間で重要性の認識が高まっている。

論点⑤：設問6（大規模な観光リゾート開発）は満足度評価が低下している地域が多い

設問6（大規模な観光リゾート開発）については、川北地区のみで満足度評価は有意に向上しているが、有島、市街、東部地区では満足度評価が有意に低下している。評価水準は全ての地域で20～30%台と、非常に低いレベルとなっている。

● 福村課長（商工観光課）からのコメント

- ・ニセコ町では、現状においても、開発案件に対して準都市計画と景観条例によって規制がかかっているため、事案の相談があった時点で規制要件に触れていることがわかったり、ニセコ町としてのまちづくり方針に合致しない場合は入口でお断りしている事例もかなりある。しかし、そのような事例は町民の目に触れることがないので、法的にクリアして進行している事案の現象面についての不安に偏っているのかもしれない。持続的な観光のあり方として開発と規制のバランスが重要であることは言うまでもないことであり、その観点から現状以上に規制を強くするのは困難だと考えている。

論点⑥：設問7（リゾートと市街地の経済循環）は地域によって満足度評価が分かれている

設問7（リゾートと市街地の経済循環）については、川北地区では満足度評価が有意に向上しているが、東部地区では満足度評価が有意に低下している。評価水準は全ての地域で20～30%台と、非常に低いレベルとなっている。

論点⑦：設問8（観光全般）は地域によって満足度評価が分かれている

設問8（観光全般）については、川北地区では満足度評価が有意に向上しているが、市街地区では満足度評価が有意に低下している。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問3（MICEの誘致）のみである。ニセコ町の観光は様々な形で町内でも話題になることが多く、観光地がリゾートエリアとして可視化されているため、町民にとってはわかりやすい領域と言える。しかし、その中にあっても、MICEは地域においても見えにくくわかりにくい領域となっていることが示された結果と言える。
- 2) 性別によって有意な差異が生じたのは、設問6（大規模なリゾート開発）のみで、女性の方が男性より有意に低い満足度評価をしている。
- 3) 居住歴によって有意な差異が生じているのは、設問7（リゾートと市街地の経済循環）以外の全ての項目においてであり、居住歴10年未満の人が10年以上の居住歴の人より満足度評価は有意に高く、観光によるまちづくりに好感を抱いている。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P112～114参照）

- A) 生活に余裕があれば外国人観光客のおもてなし (No10)
- B) 海外からの観光開発投資の経済効果はあるのか (No14)
- C) 外国人との連携のあり方は？ (No14、19)
- D) 町が活気つくイベントを (No.32)
- E) 環境対策、整備保全によるニセコの観光ブランドづくりを (No.49)
- F) 観光誘致できる農村景観づくりを (No.80)
- G) 観光関係者の足並みがバラバラ (No.87)
- H) 経済優先ではなく移住したくなるまちづくりを (No.120)
- I) 生活バス路線充実が観光客にとっても魅力 (No131)
- J) リゾートの建築物は様式統一を (No147)
- K) 住宅地、農地、自然の景観と秩序を保つ観光開発を (No.190)
- L) スポーツ合宿誘致による経済波及効果期待の観光地づくり (No.207)

- M) ビュープラのバイク駐輪スペースに問題あり (No.227)
- N) 観光事業者と町の間を深める必要がある (No.235)
- O) ゴミのない美しい観光地づくり (No.446、523)
- P) ドッグランなどペット同伴可能な観光地づくり (No.453)
- Q) 大人数による大会議誘致ではなく少人数によるインセンティブツアー誘致で持続可能な MICE 戦略 (No.562)
- R) 宿泊ベッド数のキャパシティコントロールと、関係人材のクオリティコントロールによる持続可能な MICE 戦略を (No. 562)
- S) グローバル企業の部門誘致によるオフィス設置を促進 (No. 562)

I

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 20 : 川北地区のみならず、農村地区においても観光と他産業の連携に対する満足度評価が高まっているが、必ずしも産業連携が進んできた結果の反映とは言えず、外国人が町内各地に住み始めてコミュニティに参加することが増えたことに対する印象からの評価ではないか、との分析があった。

2019 年の状況 : この論点については、全般的に満足度評価が低下し重要度指標も低下していることから、前回の分析が当を得たものであったと言える。外国人のコミュニティ参加が日常化してきたことから、ことさらに期待感は希薄になったからではないか。

2015 年の論点 21 : 観光客へのおもてなしとリゾート観光開発についての満足度評価が高まって、長期滞在のリゾート客と住民とのふれあいが増えていることが、今後のニセコ町観光のあり方を考える上で重要となっていることが指摘された。また、大規模リゾート開発について影響度指標類型が引き続きIVであることから、相変わらず重要な問題であることも確認された。

2019 年の状況 : 観光客へのおもてなしとリゾート観光開発については、地域間で満足度評価の構図が大きく異なっているが、基本的な変化はなかった。川北と南西地区では満足度評価の向上傾向が続き、有島、市街地、東部地区では満足度評価の低下傾向が続いている。観光客へのおもてなしとリゾート観光開発のどちらもニセコ町全体としての重要度指標類型が引き続きIVであることも、長期滞在のリゾート客と住民とのふれあいをめぐる住民意識（外国人へのおもてなしに対して違和感を抱く住民意識）の複雑な内面が一層深化していることを示した結果と言える。

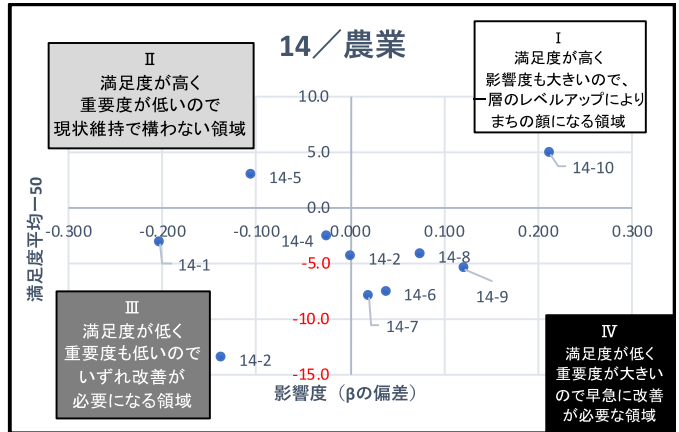
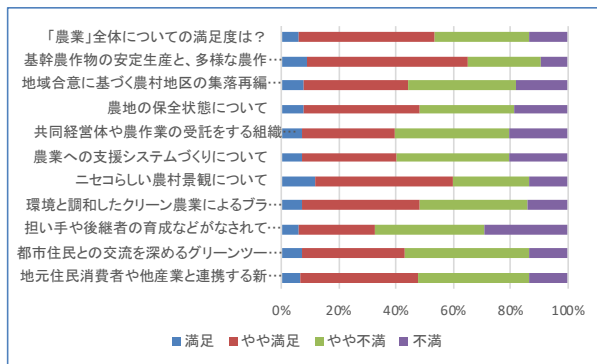
I

14 農業に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住地」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

農業に関する次の項目について														
1	地元住民消費者や他産業と連携する新たな農業の展開について	6.7%	40.7%	38.9%	13.7%	49.7%	4.6%	46.8	46.6	47.6	55.7	43.6	45.4	75.2
2	都市住民との交流を深めるグリーンツーリズムの現状について	6.9%	36.4%	43.3%	13.4%	58.5%	4.7%	45.6	46.5	45.3	53.8	42.4	43.7	69.5
3	担い手や後継者の育成などがなされているか	5.9%	26.7%	38.4%	29.0%	52.0%	4.7%	36.4	39.0	34.1	37.5	36.2	35.0	66.8
4	環境と調和したグリーン農業によるブランド化の展開について	7.3%	41.0%	37.7%	13.9%	49.0%	4.7%	47.3	45.3	50.0	51.7	45.7	46.1	69.5
5	ニセこらしい農村景観について	12.0%	48.1%	26.1%	13.8%	32.0%	4.2%	52.8	48.9	55.9	58.1	50.3	52.0	75.9
6	農業への支援システムづくりについて	7.1%	33.3%	39.1%	20.4%	57.1%	4.7%	42.4	42.3	43.0	50.4	40.4	40.9	71.0
7	共同経営体や農作業の受託をする組織を作り育てることについて	7.1%	32.2%	40.3%	20.4%	59.5%	4.7%	42.0	40.9	43.3	50	39.5	39.9	75.1
8	農地の保全状態について	7.9%	40.2%	33.1%	18.9%	52.4%	4.6%	45.7	48.2	43.4	49.7	44.5	44.9	60.2
9	地域合意に基づく農村地区の集落再編について	7.9%	36.1%	37.6%	18.3%	60.8%	4.9%	44.5	45.7	43.1	47	43.6	43.0	75.1
10	基幹農作物の安定生産と、多様な農作物の生産について	9.0%	56.0%	25.3%	9.7%	48.1%	4.9%	54.9	54.6	56.1	62.1	53.2	54.4	74.2
11	「農業」全体についての満足度は？	5.9%	47.4%	33.2%	13.5%	43.7%	4.7%	48.6	49.3	49.6	58.2	46.1	47.9	76.8

	ニセ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	41.8	44.3	46.8	2.5	40.6	47.2	51.6	4.4	43.5	45.5	46.4	0.9	44.1	45.8	44.4	-1.3	41.3	43.0	46.3	3.2	37.6	37.9	43.2	5.3	III	III	III
2		42.5	45.6	3.1		47.1	48.8	1.7		43.4	47.5	4.1		43.7	40.2	-3.5		44.5	48.1	3.6		36.2	45.4	9.1		III	IV
3	33.5	38.3	36.4	-1.9	31.3	35.1	42.1	7.0	32.0	33.6	40.8	7.2	36.3	43.8	30.4	####	29.2	42.9	34.5	-8.4	31.6	31.4	37.0	5.6	III	III	III
4	44.3	44.1	47.3	3.1	42.4	44.4	49.5	5.1	46.0	42.4	48.7	6.2	45.0	48.9	44.0	-5.0	44.0	39.7	52.1	12.4	43.8	35.7	44.5	8.8	IV	IV	III
5	48.1	50.6	52.8	2.3	51.6	50.8	54.9	4.2	49.3	48.7	52.8	4.0	46.6	54.0	51.0	-2.9	41.8	49.1	51.1	2.0	50.8	49.6	52.8	3.2	III	II	II
6		39.5	42.4	2.8		45.0	47.3	2.3		35.8	44.1	8.3		41.5	37.6	-3.9		42.1	40.6	-1.6		35.0	43.4	8.4		IV	IV
7		38.7	42.0	3.3		40.0	47.8	7.8		35.8	47.1	11.3		44.5	36.1	-8.5		34.2	34.7	0.5		31.8	42.6	10.7		IV	IV
8	32.8	40.5	45.7	5.1	38.4	38.1	44.0	5.9	32.0	15	52.0	10.5	31.3	42.9	43.1	0.1	35.7	33.0	40.8	7.8	32.2	38.7	54.2	15.5	IV	IV	IV
9		44.2	44.5	0.3		42.7	49.1	6.5		40.5	46.6	6.1		47.9	41.8	-6.1		37.8	35.9	-1.9		44.7	48.9	4.2		III	IV
10		38.3	54.9	16.5		41.9	58.9	16.9		36.2	60.4	24.1		43.6	51.6	8.1		31.9	55.4	23.6		29.9	51.4	21.5		IV	I
11	37.5	41.9	48.6	6.7	37.8	44.7	51.5	6.8	37.0	18	51.8	10.1	37.2	46.1	47.9	1.8	41.6	36.9	48.2	11.3	36.8	36.1	46.3	10.2			



論点①：設問3（担い手や後継者）は地域によって満足度評価が分かれている

設問3（担い手や後継者）については、川北、有島、南西地区では満足度評価が有意に向上している一方で、市街地、東部地区で満足度評価が有意に低下している。

● 中川課長（農政課）からのコメント

- この設問の「担い手」の中に、後継者と新規就農者が混在して受け止められている可能性が高いので、地区別の実態が見えにくくなっている。後継者と新規就農者の地区別実態を把握している現課の観点からは、この地区別クロスの結果は分析しにくい。

論点②：設問4（クリーン農業）は地域によって満足度評価が分かれている

設問4（クリーン農業）については、川北、有島、東部、南西部では、満足度評価は有意に向上しているが、市街地区のみで有意に低下している。影響度指標類型については、Ⅳ（早急に改善が必要な領域）→Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）へと変化しているが、満足度評価は全体として依然として50%を下回っているものの、東部地区では満足度評価を大きく伸ばして50%を超えている。地域農業者が有機JASなどに取り組んでいる状況が地域で知られてきたことなどが背景にあると思われる。

● 中川課長（農政課）からのコメント

- ・ 地区ごとの受け止め方と言っても、その地区の消費者側の受け止め方と農業者の受け止め方では違うことが予想されるので、農業者と非農業者に分けたクロス分析をして、どのような構造が見えてくるか把握したほうがいい。その結果を、地区別の特徴からあえて予想すると、市街地と東部地区は消費者側の受け止め方が強いと思うが、東部地区では市街地区と異なり地区内に比較的多くのオーガニック農業者がいて日常的に接触可能なので、市街地区よりは実態に近い評価ができていないのか。有機農業に対する自分（農政課長）の向き合い方としては、例えば有機JASとか特別栽培とか基準が明確な手法に基づくものであることが評価の原則なので、自称オーガニック、という客観的評価基準を持たない農法については行政的な支援手立てが取り難いと考えている。

● 追加解析（職業クロス分析）

中川課長の問題提起に沿って、農業者と非農業者のクロス分析を行った（右図）。

	14-1	14-2	14-3	14-4	14-5	14-6	14-7	14-8	14-9	14-10	14-11
農業者	49.1	54.3	50.1	46.4	58.1	47.0	45.9	56.9	56.3	58.0	51.0
非農業者	46.5	44.5	34.3	47.4	52.2	41.6	41.3	43.8	42.3	54.4	48
差異	2.6	9.7	15.8	-1.0	5.8	5.4	4.6	13.1	14.0	3.6	3.0

設問の14-2（グリーンツーリズム）、14-3（担い手や後継者）、14-5（農村景観）、14-6（農業支援システム）、14-8（農地の保全）、14-9（集落再編）については、いずれも農業者の方が非農業者より有意に満足度評価が高い。しかも14-6（農業支援システム）以外での農業者の満足度平均は50%を超えており、農業者は現場にいる当事者感覚として、課題について自負を持って向き合っていることが窺える。農業者と非農業者の意識の違いを認識した上で、今後、意見交換するさいの相互認識として重要なことと思われる。14-4（クリーン農業）については、農業者と非農業者に差はなかった。

● 中川課長（農政課）からのコメント

全体に想定していたような結果だが、14-3（担い手や後継者）、14-8（農地の保全）、14-9（集落再編）については、想定以上に大きな幅で農業者と非農業者の間で満足度評価に開きがあることに驚いた。

論点③：設問6（支援システム）は満足度評価が向上している地区がある

設問6（支援システム）については、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上している。

論点④：設問7（共同経営の仕組み）は地域によって満足度評価が分かれている

設問7（共同経営の仕組み）については、町全体と川北、有島、南西地区では満足度評価が有意に向上しており、市街地区では満足度評価が有意に低下している。この項目も含め、市街地区では農業についての評価判断が、実態よりも印象や個人の価値観に左右されている割合が高いのではないかと。

論点⑤：設問8（農地の保全）は満足度評価が向上している地域が多い

設問8（農地の保全）については、川北、有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。

論点⑥：設問9（農村集落再編）は地域によって満足度評価が分かれている

設問9（農村集落再編）については、川北、有島地区では満足度評価が有意に向上しているが、市街地区では有意に満足度評価が低下している。影響度指標類型については、Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化しており、高齢化と後継者難に伴う離農の進行を受けた農村集落維持への危機感の表れと受けとけられる。

● 中川課長（農政課）からのコメント

- ・ 市街地区の住民も、自身の地区の集落（町内会）について現状に満足ができていないことを

示している可能性がある。この視点については、別の観点からの分析も必要と思う。

論点⑦：設問 10（安定生産）は町全体と全ての地区で満足度評価は向上している

設問 10（安定生産）については、町全体と地区の全てにおいて満足度評価は有意に向上している。影響度指標類型は、IV（早急に改善が必要な領域）→ I（一層のレベルアップで町の顔になる領域）へと変化している。

● **中川課長（農政課）からのコメント**

- ・意外な結果と思ったが、よく考えると、農村部においては、自分たちの営農についての自負と自信の表れだろうし、市街地区にとってはビュープラなどの様子から印象判断して農家の頑張りを評価する気持ちがあるのだろうと思った。

論点⑧：設問 11（農業全体）は町全体といくつかの地区で満足度評価は向上している

設問 11（農業全体）は、町全体と市街地区以外の全ての地区で満足度評価は有意に向上している。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が 40%を超えているのは、設問 5（農村景観）以外の全ての項目である。農業の地域実情や様々な制度支援など、非農業者には見えにくくわかりにくい領域となっている。農村エリアであっても住民の理解が十分に得られていない地域社会をどのようにしたら住民が支えられるか、大きなハードルとなっている。
- 2) 男女別では、設問 5（農村景観）について、女性の方が男性より有意に高く評価している。
- 3) 居住歴別では、設問 3（担い手や後継者）及び設問 9（集落再編）以外の全ての項目で、居住歴 10 年未満の人の方が有意に高く評価している。

● **中川課長（農政課）からのコメント**

- ・「わからない」という人の割合が高いのは当然で、同じ産業型でも「観光」とも違うところかもしれない。したがって、「農業者」と「非農業者」によってどのような相違が見えてくるかのクロス分析が重要ということになる。（→上記参照）

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P115 参照）

- A) 有機農業の取り組み深化（No19、147）
- B) 農地の保全（No63）
- C) 農業機械の運転についての注意喚起（No92）
- D) 廃屋や農機具の野外放置（No.95）
- E) 農作物に被害を与える野生動物対策（No.177）
- F) 大規模圃場整備事業に疑問（No.182）
- G) 地産地消に配慮した消費活動（No.266）
- H) 自然、酪農、農業のまちづくりを（No.187）

● **中川課長（農政課）からのコメント**

- ・ C の意見にある「ヘリコプターによる農薬散布」は天候不順などの悪条件の中で止むを得ずとった手法と聞いているが、それにしても、周囲に対する告知などの情報共有にもっと慎重になるべきだった。ドローンはまだ使っていないはずだが、いずれ登場するだろうから、これについても、使用するにあたっての周辺住民との合意形成がよりの確になされるようにしなければならない。

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 22：農地の保全についての満足度評価が全体に高まっているが依然として低い水準にあり、影響度指標類型も引き続き IV であることから、緊急課題であることに変わりはないことが指摘された。

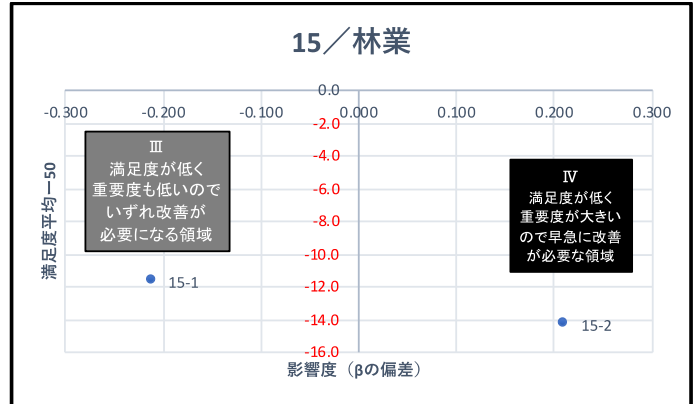
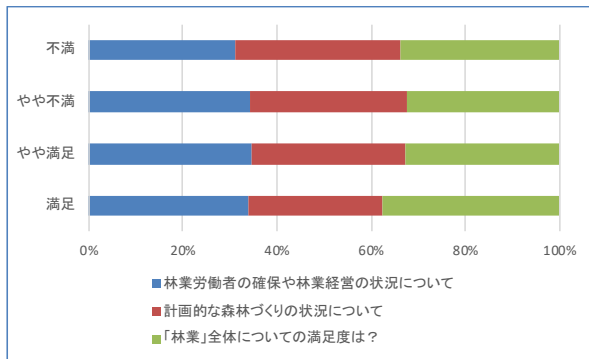
2019 年の状況：農地の保全についての満足度評価は、町全体としてもまた市街地区以外の全ての地域においても大幅に向上しているが、なお低い水準のところもあって、重要度指標領域は IV のままとなっている。

15 林業に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

林業に関する次の項目について														
1	林業労働者の確保や林業経営の状況について	8.0%	28.8%	33.6%	29.6%	74.6%	4.2%	38.4	41.6	36.8	56.2	35.4	36.6	66.9
2	計画的な森林づくりの状況について	6.7%	27.3%	32.7%	33.3%	70.0%	4.6%	35.8	40.6	31.2	50.1	32.4	33.3	70.6
3	「林業」全体についての満足度は？	8.8%	27.2%	32.0%	32.0%	71.2%	3.9%	37.6	40.3	34.9	54.9	33	34.6	73.5

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)			
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	
1		37.7	38.4	0.7	37.8	45.3	7.5	①	39.9	38.3	-1.6	37.5	33.3	-4.2	23.6	35.8	12.3	40.0	46.7	6.7					III	III	III	
2		37.9	35.8	-2.2	39.3	41.9	2.7		41.8	31.3	####	②	42.4	34.2	-8.2	23.1	31.6	8.5	34.5	43.2	8.8					IV	IV	IV
3		37.4	37.6	0.2	42.2	41.7	-0.5		34.2	33.3	-0.9	③	43.5	34.2	-9.2	19.1	35.0	15.9	37.3	51.1	13.7							



論点①：設問1（労働者の確保）は満足度評価が低下している地区が多い

設問1（労働者の確保）については、川北、東部、南西地区では満足度評価が有意に向上している。

論点②：設問2（森林づくり）は地区によって満足度評価が分かれている

設問2（森林づくり）については、有島、市街地区では満足度評価が有意に低下している一方で、東部、南西地区で、満足度評価が有意に向上している。

論点③：設問3（林業全体）は地区によって満足度評価が分かれている

設問3（林業全体）については、市街地区では満足度評価が有意に低下しているが、東部、南西地区では満足度評価が有意に向上している。

その他の特徴

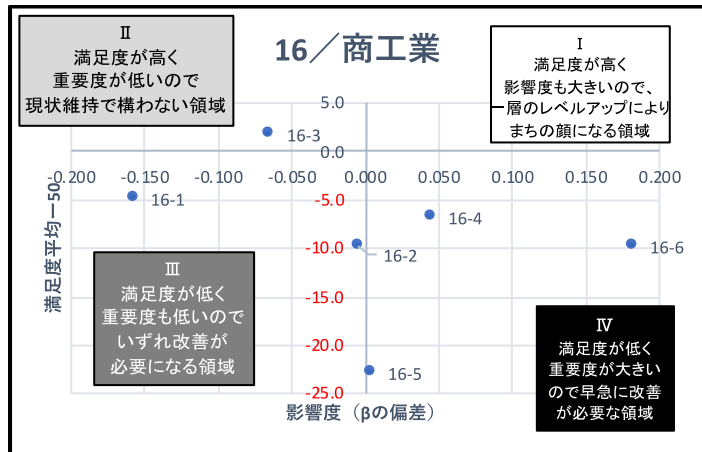
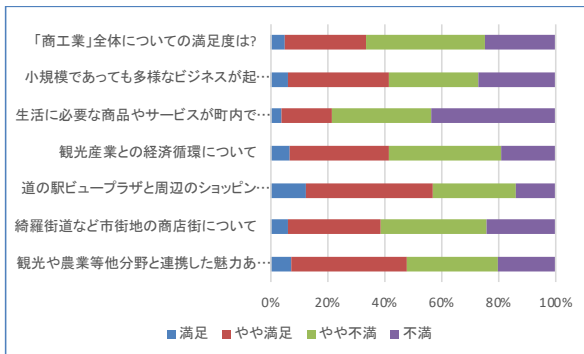
- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、全項目である。
- 2) 男女別では、設問2（森林づくり）と設問3（林業全体）で男性の方が女性より有意に満足度評価が高い
- 3) 居住歴別では、居住歴10年未満の人の方が全項目において有意に満足度評価が高い。

16 商工業に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

商工業に関する次の項目について														
1	観光や農業等他分野と連携した魅力ある地元産品づくりについて	7.5%	40.2%	32.2%	20.1%	21.2%	4.6%	45.1	41.1	49.1	52.4	43.1	44.6	74.5
2	綺羅街道など市街地の商店街について	6.1%	32.5%	37.4%	24.0%	10.7%	3.7%	40.2	39.0	40.9	45.4	38.6	40.2	43.7
3	道の駅ビュープラザと周辺のショッピングエリアについて	12.3%	44.6%	29.0%	14.0%	7.3%	3.4%	51.8	50.9	52.8	57.7	50.3	51.6	72.0
4	観光産業との経済循環について	7.0%	34.6%	39.5%	18.9%	30.2%	4.2%	43.2	43.2	43.7	49.2	41.7	43.0	58.4
5	生活に必要な商品やサービスが町内で充実しているか	3.7%	18.0%	34.8%	43.4%	9.3%	4.1%	27.3	30.0	25.4	28.1	27.1	26.6	50.0
6	小規模であっても多様なビジネスが起業・創業されているか	6.1%	35.2%	31.7%	26.9%	32.0%	4.4%	40.2	39.6	41.5	44.5	39	39.5	61.7
7	「商工業」全体についての満足度は?	5.2%	28.5%	41.4%	24.9%	21.0%	4.1%	38.0	38.5	37.5	44	36	37.4	54.8

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	38.6	41.0	45.1	4.0	39.3	37.0	51.2	14.3	41.7	48.3	44.2	①4.0	38.0	41.6	42.8	1.2	41.1	36.3	43.0	6.7	33.4	40.8	48.8	8.0	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
2	35.5	33.4	40.2	6.9	32.1	33.0	41.4	8.4	39.9	38.6	44.0	5.4	33.3	32.3	37.4	5.1	33.0	30.1	36.6	6.5	38.0	31.5	42.8	11.3	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ
3	55.5	54.0	51.8	-2.2	57.3	55.8	53.7	-2.1	60.2	56.8	54.3	-2.5	53.5	56.3	52.3	-4.1	51.4	43.4	46.9	3.6	57.7	53.7	52.8	-0.9	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
4		42.3	43.2	0.9		46.0	51.8	5.7	③	46.3	44.3	-2.0		44.1	38.0	-6.1		38.9	38.6	-0.3		32.2	48.6	16.4		Ⅲ	Ⅳ
5		20.5	27.3	6.8	④	18.2	25.1	7.0		20.4	31.1	10.7		22.6	23.5	0.9		21.5	25.1	3.5		17.3	34.4	17.1		Ⅲ	Ⅳ
6		32.6	40.2	7.6	⑤	32.2	42.0	9.9		35.5	40.7	5.2		34.2	38.6	4.4		29.8	35.5	5.7		33.0	47.0	14.0		Ⅳ	Ⅳ
7	37.7	32.3	38.0	5.7	⑥	37.0	33.0	4.1	36.1	33.4	32.5	-1.0	40.0	30.8	33.8	3.0	39.6	29.3	48.0	18.7							⑦



論点①：設問1（地元産品づくり）は、半分の地区で満足度評価が向上している

設問1（地元産品づくり）については、川北、東部、南西地区では満足度評価が有意に向上している。

論点②：設問2（市街地商店街）は、町全体と全地区で満足度評価が向上している

設問2（市街地商店街）については、町全体と全地区で満足度評価が向上しており、影響度指標類型は、Ⅳ（早急に改善が必要な領域）→Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）へと変化し、商店街に対する危機感は幾分弱まっているか、もしくは諦めが漂い始めていると思われる。

論点③：設問4（観光との経済循環）は、地区によって満足度評価が分かれている

設問4（観光の経済循環）は、川北、南西地区では満足度評価が有意に向上しているが、市街地区では評価が有意に低下している。影響度指標類型は、Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化し、観光と商工業の経済循環については市街地側からの危機感が強まっていることを伺わせる。観光産業の市街地経済圏への波及については、外部（周辺地区）で感じる印象と実際の当事者（市街地区）としての評価が異なっているというのは、経済循環が未だ形成途上にあるということであろう。

論点④：設問 1（生活必需品）は、満足度評価が向上している地区が多い

設問 5（生活必需品）については、町全体と川北、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上しているが、影響度指標類型をみると、Ⅲ（いずれ改善が望まれる領域）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化しており、生活必需品の町内入手が困難であることへの危機感が強まっていることを伺わせる。

論点⑤：設問 6（小規模ビジネスの起業）は、満足度評価が向上している地区が多い

設問 6（小規模ビジネスの起業）については、町全体と川北、有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。

論点⑥：設問 7（商工業全体）は、満足度評価が向上している地区がある

設問 7（商工業全体）については、町全体と南西地区で満足度評価が有意に向上している。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が 40%を超えているのは、設問 3（ビュープラザ周辺）以外の全項目である。
- 2) 居住歴別では、設問 5（生活必需品）以外の全ての項目で、居住歴 10 年未満の方が全項目において有意に評価が高い。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P116～117 参照）

- A) 市街地から遠く買い物に不便 (No2)
- B) ショッピングと病院の充実を望む (No4、49、204、211、267、321、411、440、479、522)
- C) 飲食店を増やして欲しい (No120、141)
- D) 市街地の発展を (No.146)
- E) 農産物を活用したレストランやカフェなど (No.146)
- F) 地域経済循環の実現を (No.153)
- G) ビュープラを充実させる (No.158、246)
- H) 経済優先ではなく移住したくなるまちづくりを (No.120)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 23：

綺羅街道やビュープラザなど商業エリアに対する満足度評価が東部、南西地区で評価が低下していたこと、および影響度指標類型がⅣのままなので、ニセコ町民にとっては緊急課題のままであった。

2019 年の状況：

綺羅街道については、町全体および全地区で満足度評価が向上しているが水準は依然低いままである。影響度指標類型はⅣからⅢに変わり、緊急性が薄らいできた。現状で受容する意識かもしれないし、諦めの意識かもしれない。

● 福村課長（商工観光課）からのコメント

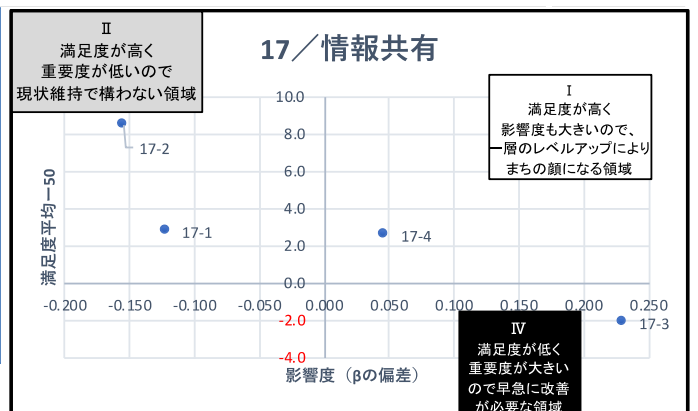
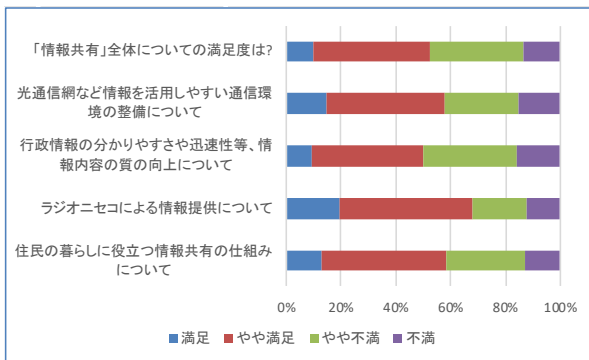
- ・市街地商店街に大手量販店サツドラが進出した効果は、大きいようだ。農家など飲料水を多量に講中する層にとっては価格面等で高い評価となっているが、反対に、コンビニなどの競合店にとっては脅威として受け止められ、不満傾向にある。

17 情報共有に関するアンケート調査結果から

●凡例	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として)	1	2	3	4	5	NA				未	上	日	外
※「わからない」は、40%以上に網掛け													
※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け													

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 住民の暮らしに役立つ情報共有の仕組みについて	13.0%	45.3%	28.7%	13.0%	20.8%	3.6%	52.8	53.3	53.9	56.3	52.9	53.1	66.7
2 ラジオニセコによる情報提供について	19.2%	49.0%	19.6%	12.1%	20.0%	3.2%	58.5	59.2	59.0	69	55.9	58.6	81.7
3 行政情報の分かりやすさや迅速性等、情報内容の質の向上について	9.5%	40.8%	33.7%	16.0%	25.9%	4.2%	47.9	47.7	48.7	50.4	47.8	47.4	74.5
4 光通信網など情報を活用しやすい通信環境の整備について	14.9%	43.2%	26.5%	15.4%	29.5%	3.4%	52.6	54.4	51.1	46.5	55.2	52.3	72.0
5 「情報共有」全体についての満足度は?	9.8%	42.4%	34.5%	13.2%	25.3%	4.1%	49.7	50.3	49.7	52.1	49.6	49.6	72.3

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)			
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	
1	39.7	48.9	52.8	3.9	42.5	45.8	54.8	9.0	40.3	54.2	57.8	3.7	38.6	51.7	50.7	-0.9	30.4	45.3	49.7	4.4	40.4	42.1	56.6	14.5	III	IV	II	
2			58.5	①			63.3				59.9				56.2				58.7				63.3			③	II	
3	40.6	44.0	47.9	4.0	45.1	42.4	49.3	7.0	39.4	50.2	51.4	④	2	39.1	46.4	47.0	0.6	32.1	40.1	43.8	3.7	43.1	38.9	51.0	12.1	IV	III	IV
4	50.7	52.2	52.6	0.4	55.7	53.2	55.7	2.5	46.9	53.8	56.3	2.5	50.1	57.0	48.5	-8.5	42.5	47.4	51.4	4.0	50.7	42.8	55.0	12.2	I	I	I	
5	41.3	46.6	49.7	3.1	42.0	45.1	53.3	8.2	39.9	50.0	51.3	⑤	3	41.1	50.4	48.7	-1.7	32.2	43.6	46.9	3.4	43.9	39.4	51.6	12.2			



論点①：町全体としては、どの設問に関しても満足度評価に変化が見られない

町全体としては、どの項目に関しても、誤差の範囲内としても数値的には向上しているが満足度評価の有意な変化が見られず、評価水準としては50%前後である。

論点②：設問1（暮らしに役立つ情報共有）は、満足度評価が向上している地域がある

設問1（暮らしに役立つ情報共有）については、川北、南西地区で、満足度評価が有意に向上している。評価水準としては50%を若干超えた程度なので、まだ決して高いといえるレベルではない。影響度指標類型は、IV（早急に改善が必要な領域）→II（現状維持であれば良い領域）へと変化している。生活情報についての充実度が町民によろしく受け入れられる水準に届いたということか。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- 日常的な情報共有の有り様として特に問題を感じない、ということかもしれない。ただ、何かことがあれば、すぐに評価が変動する不安定さもかかえているということなので、安定した情報共有の地域社会になったというほどの評価ではないだろう。行政としては、このことを肝に銘じて日常の情報共有に励む必要があると感じている。

論点③：設問2（ラジオニセコ）は、満足度評価水準が60%台で地域差も小さい

設問2（ラジオニセコ）については、今回初めて設定した設問だが、評価水準は全地区とも60%でやや高い水準と言える。また、影響度指標類型はII（現状維持で構わない）で、いずれにしても満足度評価は安定している。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- ・昨年のブラックアウト時の防災ラジオ放送としての実績に対する住民の評価もあるだろうし、さまざまな情報メディアのひとつとして地域コミュニティ志向のスタジオ運営に対しては、住民の評価も高いようだが、行政も高く評価している。

論点④：設問3（情報のわかりやすさや質の向上）は、満足度評価が向上している地域がある

設問3（情報のわかりやすさや質の向上）については、川北、南西地区で満足度評価が有意に向上している。満足度評価水準は全地区とも50%前後で町全体としては50%を下回り、決して高い水準とは言えない。この点を重視した意識があったと思われ、重要度指標の領域はⅢ（いずれ改善が望まれる領域）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化し、改善の切実さが示唆された結果となっている。

L

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- ・広報媒体の文章表現の中に、最近また行政用語など住民には分かりにくい表記が使われる頻度が増えてきて、住民から見た場合分かり難くなっているかもしれない。

論点⑤：設問5（情報共有全体）は、満足度評価が向上している地域がある

設問5（情報共有全体）については、川北、南西地区で満足度評価が有意に向上している。しかし、評価水準は全地区とも50%前後、町全体としても50%を下回っており、高い水準とは言えない。

L

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- ・評価水準が決して高くない状態で止まっているということは、まちづくり基本条例の評価と関連していると思う。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、町全体及び各地区を通して、全くない。20%台の水準であり、情報共有についての関心が高いことを示している。
- 2) 居住歴による評価の差異を見ると、設問2（ラジオニセコ）では、居住歴10年未満の人の方が評価は有意に高い。また、設問4（通信環境の改善）については、居住歴10年以上の人の方が評価は有意に向上している。

L

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P118参照）

- A) 情報の入手方法がわからない (No72)
- B) ラジオニセコは行政情報がわかりにくい (No87、246)
- C) WiFi環境を普及させるべき (No88)
- D) 周辺部地区に情報が届きにくい (No.97)
- E) 単身者向けの情報少ない (No.130)
- F) 電波も光回線も届かない地域がある (No.194)
- G) 住民本位の情報共有を (No.210)
- H) インターネットや広報にもっと関心を持つべき (No.266)
- I) ニセコ町の情報をもらったことがない (No420)
- J) HP 見ているが、町民センターや総合計画の情報が見つからない (No509)
- K) 町内会に入っていないと、町の情報が届かない (No.525)

前回2015年見直し時の論点振り返りと今回2019年時点での変化

2015年の論点24：

有島、市街、東部地区では情報共有に関して満足度評価が顕著に向上しているが、南西、川北地区では満足度評価が低下傾向にある。地区ごとの背景や事情による違いと思われるので、地区ごとのきめ細かな配慮が必要である。特に、デマンドバスの予約が取りにくい南西地区では、交通アクセスの不便な状況もこのような低い評価の要因の一つになっているとの指摘もあった。

A

この点に関して、関係セクションから有意義な分析視点が提示され、それは、2019年見

直し時点においてもそのまま該当して言えることなので、以下に再掲しておく。

●佐竹事務局長（議会事務局）からのヒアリング（12/9）

- ・まちづくりの情報の出し方が、行政の都合に合わせて出されているような気がする、という声がある。大きな政策判断をする場合、判断までのプロセスを町民に情報共有することが以前より少なく、結論がいきなり町民に伝えられるため、不安や不満を感じているのではないか。
- ・また、情報伝達はソーシャルネットワーク等の普及により伝達速度が速くなった反面、SNS を使用できない人への情報伝達手段が課題である。昔から「人づて」「口コミ」が一番早い情報伝達の方法だったため、高齢者の集まりや地区の集まりで周知するなど、人を介した細かな取り組みが求められているのではないか。

●山本課長（企画環境課）からのヒアリング（12/10）

- ・影響度の類型が今回IVになった「暮らしに役立つ情報共有の仕組み」については、制度的には、まちづくりトークやまち懇、まちづくり町民講座などがあるが、その実施のタイミングや運営などに問題があるのかもしれない。たとえば、そのような機会に住民と共有しようというまちづくり情報について、情報の熟度があがるまで住民に示すことを躊躇するような空気が、まだ庁内に見られる。この傾向は、不断に克服していかないと、すぐ劣化してしまう。
- ・まちづくり情報については、「情報共有」と「まちづくり事業のスピード」が、トレードオフになりがちだが、両立させなければいけないし、本来両立は可能だ。その基本を示したのが、「まちづくり基本条例」だ。
- ・「まちづくり基本条例」は日本国憲法と同じ、と言って来た意味を、改めて実感している。日本国憲法は、日本国民が権力者を縛るための最高の武器であることを思い起し、まちづくり基本条例も、町民が権力に対して自らを守り主張するためのものだから、その意味を、これまで以上に町民に訴えていく必要がある。
- ・「もっと知りたいことしの仕事」冊子にしても、今現在関心のない人にも配布し続けることの意味は大きい。情報にアクセスしたいときに扉が開いていることが大切。しっかり継続していきたい。

●福村課長（農政課）からのヒアリング（12/11）

- ・行政と住民との情報共有機能が、総体的に低下してきている。それは、制度設計や政策決定、事業化に向けたプロセスにおける情報共有の積み重ねが足りていないと思われる。スピード感を持って取り組む必要がある政策もあるが、現状では、住民生活に直結するような政策はじっくり取り組むことも重要な政策もある。バランスを重視し、しっかり説明責任を果たす取り組みが必要である。
- ・情報媒体についても、ソーシャルメディア（SNS など）の利用において、ニセコ町は大きく遅れを取っている。情報の可視化にとって、メディアの多様化と、現代社会のトレンドにマッチしたメディアの選択は重要だ。しかし、そのことへの取り組みが弱い。

2019年の状況：

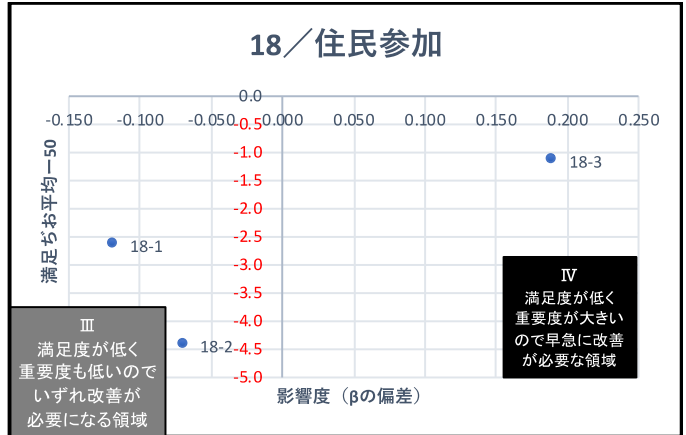
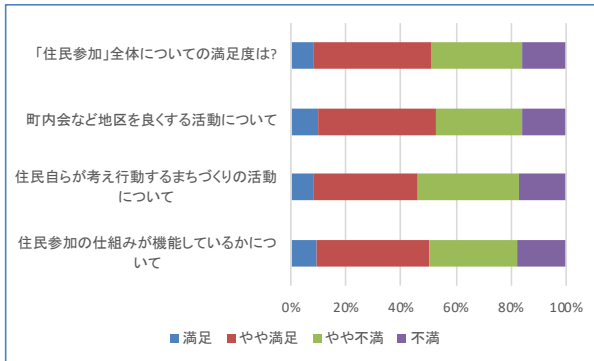
前回の調査で満足度評価が低下した川北、南西地区において、今回の調査では軒並み満足度評価が大きく向上した。交通事情については改善に向けた動きが可視化されてきたのでそのことによる評価の向上と言えそうだが、前回指摘を受けた観点が改善されたのかどうか、検証が必要だ。検証に当たっての視点は、前述再掲載した前回指摘された観点が有益である。

18 住民参加に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

住民参加に関する次の項目について														
1	住民参加の仕組みが機能しているかについて	9.3%	41.2%	31.6%	17.9%	34.4%	3.9%	47.4	46.0	49.5	49.1	47.8	47.3	69.6
2	住民自らが考え行動するまちづくりの活動について	8.0%	38.2%	36.5%	17.4%	36.4%	4.1%	45.6	44.9	46.6	48.4	45.2	45.1	69.8
3	町内会など地区を良くする活動について	9.8%	43.0%	31.0%	16.2%	26.9%	4.1%	48.9	47.9	50.8	53.1	48.4	48.8	69.8
4	「住民参加」全体についての満足度は?	7.9%	43.2%	32.7%	16.2%	31.4%	3.9%	47.6	45.9	49.9	50.5	47.7	47.3	69.6

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	49.9	47.5	47.4	-0.1	56.2	46.6	44.0	-2.6	46.7	49.8	52.4	2.6	49.1	49.4	47.2	-2.2	42.5	49.2	48.3	-0.9	52.6	43.0	48.4	5.5	III	III	III
2	47.1	44.8	45.6	0.8	49.9	47.1	43.1	-3.9	45.1	46.0	46.6	0.6	47.4	44.8	45.3	0.5	37.9	50.5	51.2	0.7	49.0	36.6	45.9	9.3	III	III	III
3	47.1	48.6	48.9	0.2	49.9	47.7	48.1	0.5	45.1	50.6	49.1	-1.6	47.4	49.4	49.9	0.5	37.9	51.6	50.7	-0.9	49.0	44.1	52.4	8.4	III	IV	IV
4	50.2	47.0	47.6	0.6	53.1	47.3	45.6	-1.7	49.5	51.6	50.8	-0.8	50.2	47.8	47.0	-0.9	45.9	48.9	50.4	1.6	52.1	41.5	50.4	9.0	III	III	III



論点①：町全体としては、どの設問についても満足度評価に変化が見られない

町全体としては、どの項目に関しても、満足度評価の有意な変化が見られず、評価水準としては50%に届いていない。影響度指標類も変化していない。

論点②：南西地区において、どの設問についても満足度評価が向上している

南西地区では、全ての設問についても満足度評価は有意に向上している。

その他の特徴

- 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、町全体及び各地区を通して、全くない。20~30%台の水準であり、住民参加についての関心が高いことを示している。

自由記述回答から (※具体的な意見内容は、資料編 P118、P121~122 参照)

- 別荘に住んでいるが、町税払っても町内会なくて広報も届かないのはおかしい (No.35)
- 外国人住民も含めて人口増なのは素晴らしい (No.49)
- 町内会の集まりと町民講座が連携する仕組みがいいのではないかと (No.58)
- 町内会に入って会費払うだけでなく活動にも参加して欲しい (No.64)
- 周辺地区で町内会がないところはどうか話し合う機会が欲しい (No.97)
- 忙しいので、町内会をなくして欲しい (No.106)
- 転入届時点で町内会参加を情報提供するなどの仕組みが必要 (No.182)

- H) 移住日本人の地域理解には疑問を感じる (No.207)
- I) 外国人居住者と犯罪の関係を疑ってしまう (No.267)
- J) コミュニティ内部の人的付き合いが希薄 (No.281)
- K) お祭りの活気が薄くなった (No.411)
- L) 高齢者が暮らしにくい状況になってきた (No.414)
- M) 若い人が定着できるまちづくりに (No.458)
- N) 相互扶助の精神を忘れずに (No.523)
- O) 外国人優先はおかしい (No.551)
- P) 転入者が多いからか、住民参加の意識が低い (No.87)

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 25 :

南西、川北地区では住民参加に関する満足度評価が大きく低下している一方で、東部地区では満足度評価が大きく向上している。それぞれの地域事情によって従来からの住民と移住してきた新住民の関係づくりが異なっていることがコミュニティ運営の違いに現れ、それぞれの地域ごとの多様な満足度評価になっている。このことについては、影響度指標類型がIVであることから危機感を持っていることも示されている。

2019 年の状況 :

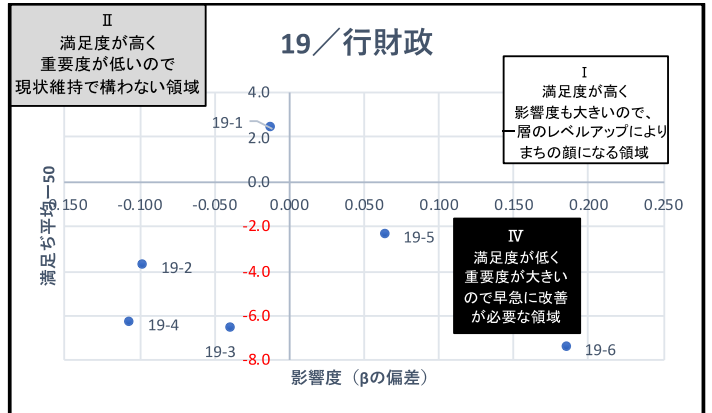
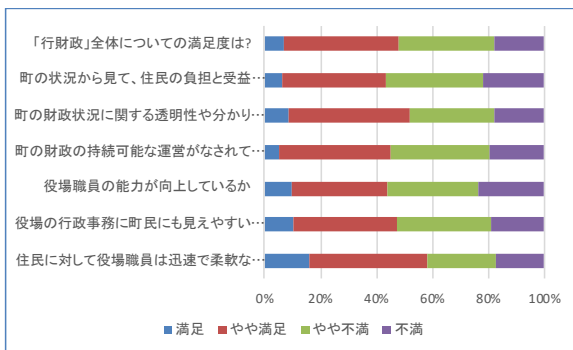
南西地区だけがほとんどの項目で満足度評価が大きく向上しているほかは、町全体としても各地区においても、基本的な変化が見られない。影響度指標類型も前回と同じである。

19 行財政に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住地」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
	1	2	3	4	5	NA							

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
1 住民に対して役場職員は迅速で柔軟な対応ができていますか	15.8%	42.6%	24.3%	17.3%	15.3%	3.2%	52.4	52.9	50.9	53.6	51.4	51.9	61.3
2 役場の行政事務に町民にも見えやすい透明性があるか	10.3%	37.2%	33.3%	19.2%	25.3%	4.1%	46.2	47.2	44.9	48.2	45.5	45.5	66.8
3 役場職員の能力が向上しているか	9.9%	34.1%	32.1%	23.9%	36.4%	3.9%	43.4	44.4	41.3	44.2	42.4	42.1	66.8
4 町の財政の持続可能な運営がなされているか	5.4%	39.6%	35.5%	19.5%	42.5%	4.4%	43.7	43.7	42.9	44.9	43.2	43.0	62.0
5 町の財政状況に関する透明性や分かりやすさについて	8.5%	43.5%	30.0%	17.9%	34.1%	4.4%	47.6	48.4	47.0	44.8	48.6	47.7	57.1
6 町の状況から見て、住民の負担と受益はバランスが取れているか	6.4%	36.8%	34.8%	22.0%	37.1%	4.4%	42.5	43.9	41.4	45.5	41.6	41.8	66.7
7 「行財政」全体についての満足度は?	7.0%	40.8%	34.3%	17.9%	27.1%	4.7%	45.6	46.2	44.8	46.9	45.1	44.8	66.8

項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)		
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	49.3	44.0	52.4	8.3	52.6	45.8	53.8	8.0	46.4	49.0	51.6	2.6	50.1	47.7	47.9	0.2	41.1	37.9	52.5	14.6	52.1	38.5	57.2	18.7	III	III	II
2	48.0	43.2	46.2	3.0	52.9	46.4	44.5	-1.9	46.6	46.2	48.0	1.8	48.6	47.4	44.1	-3.3	34.1	37.8	42.0	4.2	47.0	36.0	52.5	16.5	III	III	III
3	44.2	39.4	43.4	4.0	45.0	46.7	41.8	-4.9	46.1	44.3	45.5	1.2	45.7	42.3	38.5	-3.9	40.7	34.1	40.7	6.6	45.0	31.2	51.4	20.3	III	III	III
4	46.8	37.8	43.7	5.9	47.9	38.9	44.9	6.0	49.5	36.7	43.4	6.7	46.3	42.5	39.9	-2.6	39.3	34.1	41.9	7.9	46.3	33.9	53.3	19.4	III	IV	III
5		44.2	47.6	3.4		48.8	44.1	-4.7		44.8	50.5	5.6		48.7	47.6	-1.1		42.3	45.0	2.7		38.5	54.3	15.7		III	IV
6	44.7	36.0	42.5	6.5	48.8	36.0	43.9	7.9	49.1	37.2	47.2	10.1	44.5	39.9	35.5	-4.4	36.5	31.1	41.7	10.6	39.5	32.3	50.9	18.6	IV	IV	IV
7	45.9	41.0	45.6	4.6	46.7	44.9	46.1	1.2	47.7	41.6	47.4	5.7	46.3	46.1	42.9	-3.2	40.7	36.6	45.1	8.4	42.7	38.1	49.7	11.7			



論点①：設問1（役場職員の柔軟な対応）は、町全体と半数の地区で満足度評価が向上している

設問1（役場職員の柔軟な対応）については、町全体と川北、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。その結果、影響度指標類型は、III（いずれ改善が必要）→II（現状維持で構わない）へと変化している。役場全体として改善効果が認められたと言えるが、アンケートの自由記述回答には、個々の職員レベルに対して町民からの批判や指摘が見られるので、影響度指標類型II（現状維持で構わない）と受け止めずにIII（いずれ改善が必要）のまま受け止める必要がある。

●阿部課長（総務課）からのコメント

- 全体としてはそうなのかもしれないが、自由記述回答に寄せられている個々の厳しい意見が非常に重い。改善に向けて今後も真摯に取り組みたい。

論点②：設問4（持続可能な財政運営）は、町全体と半数の地区で満足度評価が向上している

設問4（持続可能な財政運営）については、町全体及び有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。その結果、影響度指標類型は、IV（早急に改善が必要な領域）→III（いずれ改善が望まれる領域）へと変化し、町民の状況認識にややゆとりが生まれている。

論点③：設問5（財政の透明性）は、半数の地区で満足度評価が向上している

設問5（財政の透明性）については、有島、南西地区で満足度評価が有意に向上している。しかし、影響度指標類型はⅢ（いずれ改善が必要）→Ⅳ（早急に改善が必要な領域）へと変化しており、住民の関心は高まっている。地区別のまちづくり懇談会でも折々に意見が出される補助金事案の多さに対する住民の不安感が反映されたものと考えられる。

0

●阿部課長（総務課）からのコメント

- ・役場新庁舎建設のこともあるので、補助金に対して住民の不安がなかなか解消されないというその気持ちはわかる。しかし、補助金のメリットについても住民の理解が深まることを期待したい。このことも含めて、財政に関して情報の共有と丁寧な説明の積み重ねが一層重要であることは、このアンケート結果からも理解できる。

論点④：設問6（住民の負担と受益のバランス）は、町全体と多くの地区で満足度評価が向上している

設問6（住民の負担と受益のバランス）については、町全体と川北、有島、東部、南西地区で満足度評価が有意に向上している。しかし評価水準は低く、南西地区以外は30～40ポイントにとどまっている。影響度指標類型もⅣ（早急に改善が必要な領域）で不安感が色濃く漂っているままである。

0

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問4（持続可能な財政運営）のみである。

●阿部課長（総務課）からのコメント

- ・財政問題は住民にあまり関心を持ってもらえないものと思っていたので、この結果は意外に思った。これも、情報共有と説明を重ねてきた結果と言えるのかもしれない。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編P119～120参照）

- A) 学校の生徒を撮った写真の扱いに問題がある町議に不信感を抱いている（No26）
- B) 役場職員の窓口対応が、横柄で挨拶をしないなど、悪い人がいる（No48、87、182、428）
- C) 若い職員など、町民への対応がよくできていて、住んで良かったと思う（No128、211）
- D) 役場は、無駄をなくする努力や検討ができているのか（No.128）
- E) 役場職員の労働環境や健康が心配（No.180、579）
- F) 町長や管理職の考えが一致しておらず部下にも伝わっていない「だらけ感」を感じる（No.258、312、579）
- G) 町議に女性が少なすぎだし、高齢者が多すぎる（No.440、480）
- H) 町民や部下の声に耳を傾けず、偉い人にペコペコしている片山町長は嫌いだ（No.445）
- I) 条例を知らない役場職員や町民が多いので、相談窓口を設けるといい（No450）
- J) 役場の対応が遅い、間違いが多いなど職員の意識が低い（No480）
- K) 町民の多様な相談に即した臨機応変の対応ができない職員がいる（No579）
- L) 行政の見える化に向けた要員配置を（No349）

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 26：

行財政に関連する全ての項目について、町全体、全地区とも満足度評価の大幅な低下が見られた。その背景等については、4年前になされた担当者の分析が現時点においてもそのまま当てはまるように思えるので、改めてここに掲載する。

0

●高瀬課長、川埜係長（総務課）からのヒアリング

- ・全体として、予想通りの住民評価と思う。その理由は、以前から財政状況の推移・将来見通し（例えば基金取崩し）について町民への情報共有を図ってきて、結果、町財政の現状についての理解が広く浸透しているため、それが、全般的にこのような厳しい評価に結びついていると思う。
- ・もう少し個別にその背景を考えると、公共施設への投資が近年多く、そのことについて

て、ランニングコストも含めた将来的な見通しに関するコストパフォーマンスについての情報共有が十分になされているとは言い難い状況にある。補助金などで現状の負担は少ないと言っても、将来にわたってどうなのかなどに関する漠然とした不安感が、住民の意識の中に漂っているのではないか。具体的には、火葬場の増築や、こども館の建設、駅前倉庫群関連のハード事業、などについての不安感は、住民の間にあるのかもしれない。

- ・しかし、現行の過疎法は平成 32 年度までの時限立法であり、平成 33 年度以降は制度自体も大きく変わる可能性があることなどから、ニセコ町にとって有利な財政支援制度である過疎債を、今の内に活用し、未来世代に向けたまちづくり投資を重視するという、トップの政治判断は理解できる。
- ・項目の、4、ないしは、6、については、町民のこのような不安感を反映した内容になっているものだろう。
- ・しかし、項目の5、「財政状況に関する透明性やわかりやすさ」については、評価の全体水準としては、決して非常に低いわけではなく、これまでの財政状況に関する町からの情報共有の結果だと伺える。つまり、これまでの情報共有によって、財政に関する諸問題がよりはっきりと見えやすく可視化されたということを前向きに捉え、今後は、特に、「6.住民負担と受益のバランス」については、将来世代をも見据えた議論ができるよう、いっそうの情報拡充が求められる段階に入ったと言える。
- ・この点を考慮に入れて、まちづくり事業と財政負担およびその支援策などについて、より実態に即した情報共有が求められる段階に入ったと思う。

2019 年の状況：

財政運営の持続性については、町民の不安感、切迫感が幾分薄れていることが影響度指標類型の変化に現れている。これは、折に触れて住民に対して説明を重ねてきた結果によるものと見ることができ、丁寧な住民説明の重要性を立証したケースだと思われる。この点は、4 年前の前回で分析した視点、つまり、丁寧な説明によって財政状況の難しい現状の理解が深まると一旦は危機感の共有によって満足度評価の低下と影響度の高まり（影響度指標類型Ⅳ）を招くが、積み重ねることによって、明らかに理解された情報の共有によって信頼感が醸成され、危機感が薄らぐ結果となる（影響度指標類型Ⅲ）ことを示している。情報共有の重要性を改めて認識させられたとも言える。しかし、情報共有、説明の透明性が幾分向上したとはいえ、住民が求めるレベルにはまだ達しておらず、まだまだ不十分であることもシビアに認識され、情報の透明性についての影響度指標類型がⅢ→Ⅳになって住民の関心がより深くなっていることも示されており、まだまだ今後の努力が要請された結果であることも、重く受け止めるべきだろう。このような住民意識の厳しさがどこからきているのかといえ、行政による住民の負担とバランスのバランスが崩れているという厳しい見方が相変わらず影響度指標類型Ⅳであることに、現れている。

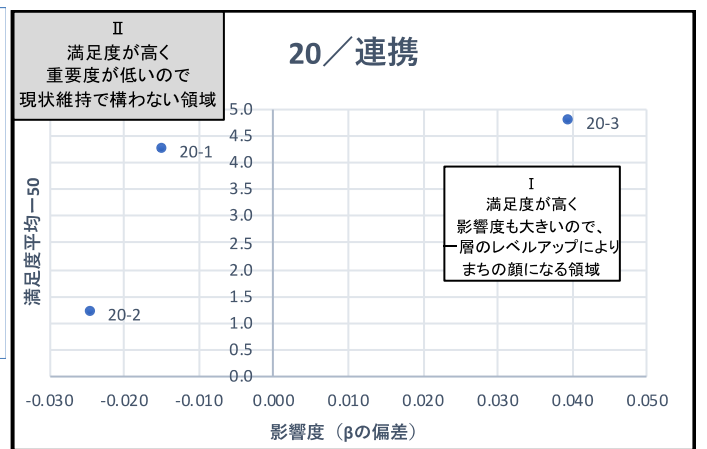
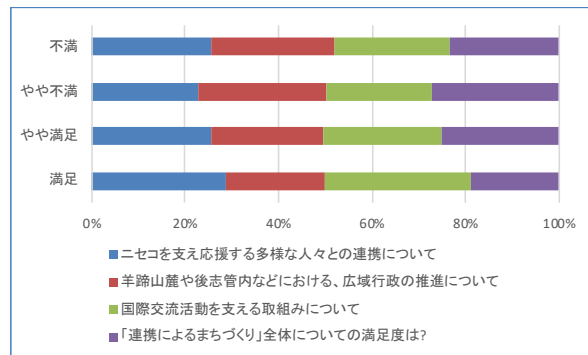
このような状況を今後一層改善していくための基本的方針が、住民との情報共有でありその共有された情報に関する丁寧な説明の積み重ねである。その可能性と現状を示したのが、今回の分析結果であった。

20 連携によるまちづくりに関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わか らな い	無回 答	平均 値/ 全町	平均 値/ 男性	平均 値/ 女性	平均 値/ 10年 未満	平均 値/ 10年 以上	平均 値/ 日本 人	平均 値/ 外国 人
	1	2	3	4	5	NA							

連携によるまちづくりに関する次の項目について														
1	ニセコを支え応援する多様な人々との連携について	9.4%	53.6%	27.0%	10.0%	40.3%	3.7%	54.2	52.4	56.2	59.5	52.6	53.9	64.3
2	羊蹄山麓や後志管内などにおける、広域行政の推進について	7.0%	49.7%	32.9%	10.4%	40.3%	4.1%	51.2	48.1	53.5	55.7	49.5	50.7	59.3
3	国際交流活動を支える取組みについて	10.3%	53.1%	26.9%	9.7%	36.3%	4.4%	54.8	52.5	56.0	59.3	52.8	53.7	74.2
4	「連携によるまちづくり」全体についての満足度は?	6.2%	52.4%	32.2%	9.2%	39.0%	3.7%	51.9	49.5	54.1	57.2	50	51.3	63.7

	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値				影響度の類型の変化(※注)						
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019
1	51.3	53.0	54.2	1.2	49.4	53.0	53.9	0.8	45.0	51.6	54.9	3.3	44.4	54.6	50.5	-4.2	43.6	53.5	54.4	0.9	49.4	53.1	61.8	8.7	II		II				
2	46.2	50.6	51.2	0.6	47.5	54.8	51.3	-3.5	45.4	49.3	51.4	2.2	44.3	53.0	44.7	-8.3	37.3	48.0	55.2	7.2	46.9	47.4	59.7	12.4	IV		II				
3	45.3	55.3	54.8	-0.6	46.3	62.3	54.4	-8.0	50.0	53.0	53.9	0.8	46.3	57.3	51.7	-5.6	42.6	50.1	57.8	7.7	48.5	57.1	59.9	2.8	IV		I				
4	47.2	50.2	51.9	1.7	51.8	52.7	51.3	-1.4	55.1	47.5	53.8	6.3	50.0	55.0	46.9	-8.1	47.2	50.7	54.5	3.8	47.3	45.2	56.8	11.6							



論点①：町全体としては、どの設問についても満足度評価に変化が見られない

町全体としては、どの項目に関しても、満足度評価の有意な変化が見られず、評価水準としては50%をわずかに超えたレベルである。影響度指標類型も変化していない。

また、地区別に見ると、市街地区では設問2（広域行政）、設問3（国際交流）、設問4（連携全般）において、評価は有意に低下している。

反面、東部地区では設問2（広域行政）、設問3（国際交流）において評価は有意に向上しており、南西地区でも設問1（ニセコを応援する人々）設問2（広域行政）、設問4（連携全般）において、評価は有意に向上している。

論点②：国際交流活動に関する重要度指標は、ニセコ町の顔になったことを示している

重要度指標を見ると、設問3（国際交流活動）が、IV（早急に改善が必要な領域）→I（一層のレベルアップで町の顔になる領域）へと大きく変化している。国際交流員の活動などが、幅広く町民に認知され親しみを持って接する機会が増えて誇りになってきたことを示している。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- ・国際交流員の活発な活動により交流が進んでいるものと推察できる。」同時に、川北、市街地区で満足度評価が優位に低下しているのは、特に地域生活ルールを知らない外国人居住者と接している地区住民の評価が低下しているのではないかと。

その他の特徴

- 1) 設問に対し「わからない」を選択した人の割合が40%を超えているのは、設問1（ニセコを応援する人々）と設問2（広域行政）である。これらは、存在を知っていても住民にはなかなか見えにくい領域でもあり、健康保険や介護保険のような広域行政をどのように評価して良いか判断ができないということもあるだろう。
- 2) 男女間の差異を見ると、設問2（広域行政）については男性の方が有意に満足度評価が高い。
- 3) 居住歴による差異を見ると、全ての項目で、居住歴10年未満の人の方が満足度評価は有意に高い。

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 27 :

全ての項目で満足度評価が高まり、影響度指標類型も緊急度が弱まっている傾向が見られたが、広域行政も国際化もそれ自体は否定されないだろうから、今後はその中身を問う分析も必要だとの分析指摘があった。

2019 年の状況 :

国際化に関する満足度評価が高まり影響度指標類型もIV→Iと転換されたことに現れているように、連携は相手が見えないと住民の評価も難しいが、国際化については国際交流員や外国人居住者が住民やコミュニティの中に入っていく度合いが徐々に増えて国際連携が可視化されてきていることが大きなポイントだろう。

P

21 情報共有と住民参加を基軸とする「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全般に関するアンケート調査結果から

●凡例 ※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け(満足度4項目の計を100%として) ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	満足	やや満足	やや不満	不満	わから ない	無回 答	平均 値/ 全町	平均 値/ 男性	平均 値/ 女性	平均 値/ 10年 未満	平均 値/ 10年 以上	平均 値/ 日本 人	平均 値/ 外国 人
	1	2	3	4	5	NA							

情報共有と住民参加を基軸とする「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体について													
「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体についての満足度は?	7.8%	51.9%	27.2%	13.1%	38.6%	4.6%	51.5	50.6	52.9	53.2	51.7	52.0	56.7

2019年度のアンケート調査における設問項目	ニセコ町全体の満足度の平均値				川北地区の満足度の平均値				有島地区の満足度の平均値				市街地区の満足度の平均値				東部地区の満足度の平均値				南西地区の満足度の平均値			
	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減
「ニセコ町まちづくり基本条例」の運用全体について	52.7	51.9	51.5	-0.4	53.7	57.2	45.7	-11.5	52.5	52.4	54.5	2.1	51.5	54.9	48.3	-6.6	47.9	49.6	52.5	2.9	57.9	45.1	61.7	16.6

論点①：設問 21（ニセコ町まちづくり基本条例）については、地域によって満足度評価が分かっている

設問 21（ニセコ町まちづくり基本条例）について、川北、市街地区では満足度評価が有意に低下している一方、南西地区では評価が有意に向上している。

ニセコ町まちづくり基本条例については、近年形骸化を指摘する声も具体的な案件に即して提起されているので、今後はより具体的な方法で検証する必要がある。

● 山本課長（企画環境課）からのコメント

- ・難しい問題だが、何らかの方法で検討を深めたい。自ら考え行動する町を目指す本町において、まちづくり基本条例は今もまちづくりの基本スタンスであり続けている。まちづくり基本条例が形骸化しないよう常にそのコンセプトを維持する取組は欠かせない。

前回 2015 年見直し時の論点振り返りと今回 2019 年時点での変化

2015 年の論点 28：

まちづくり基本条例の運用についての満足度評価が全体に低い水準にとどまっていることは、まちづくりの日常のありように対する包括的な評価の現れであろう、との分析がなされた。

2019 年の状況：

前回の満足度評価と比べて、川北と市街地区での落ち込みが大きく、一方で南西地区では大幅に向上している。まちづくり基本条例の運用についてどこに着目して評価をしているかによって結果は大きく異なるわけだが、近年はまちづくり基本条例の形骸化を指摘する声も少なくないことから、より具体的に、条例のどこの部分の運用実態がどのように評価・批判されているのかなど、きめ細かい評価作業が必須と言えるだろう。

22 この4年間（2015～2019）のまちづくり全体に関するアンケート調査結果から

●凡例	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	平均値/全町	平均値/男性	平均値/女性	平均値/10年未満	平均値/10年以上	平均値/日本人	平均値/外国人
※「満足度」は最大比率の選択肢に網掛け（満足度4項目の計を100%として） ※「わからない」は、40%以上に網掛け ※「性別」「居住歴」「国籍」「満足度増減」は±5%以上の差がある項目に網掛け	1	2	3	4	5	NA							
この4年間(2015～2019)のニセコ町のまちづくり全体について													
この4年間のまちづくり全体についての満足度は?	7.9%	50.0%	28.5%	13.6%	30.8%	4.4%	50.8	51.0	51.2	54.4	50.5	50.9	57.5

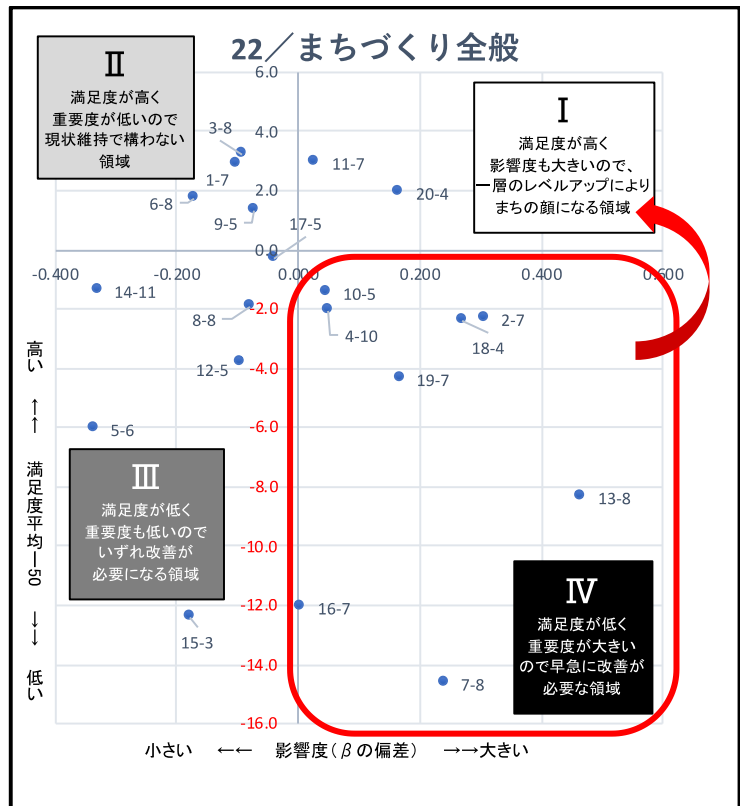
ニセコ町全体の満足度の平均値	川北地区の満足度の平均値	有島地区の満足度の平均値	市街地区の満足度の平均値	東部地区の満足度の平均値	南西地区の満足度の平均値	影響度の類型の変化(※注)																									
2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減	2010	2015	2019	増減				
50.5	50.8	50.8	-0.1	51.8	53.3	50.8	2.5	55.1	54.5	52.9	-1.6	50.0	52.2	49.0	-3.2	47.2	48.8	48.6	-0.1	47.3	46.4	59.4	13.0								

論点①：設問 22（4年間のまちづくり全体）については、多くの地域で満足度評価に変化が見られなかった

設問 22（4年間のまちづくり全体）については、南西地区のみで満足度評価が有意な向上を示しているが、他の地区では有意な変化が見られなかった。今回の見直し調査では、南西地区における様々な領域での満足度評価の大幅な向上が最大の特徴となっているが、そのことが集約的に現れたのが、この「4年間のまちづくり全体」についての住民評価である。

まちづくり全般に関する各領域の「満足度（＝満足度平均-50）」と「影響度（＝標準偏回帰係数β）」の散布状況「影響度指標類型」は、下図のように領域（類型）区分される。

		全町				影響度の類型
標準偏回帰係数(β)	βの偏差	満足度平均-50	満足度平均			
1-7	-0.065	-0.102	2.9	52.9	II	
2-7	0.342	0.305	-2.3	47.7	IV	
3-8	-0.057	-0.094	3.2	53.2	II	
4-10	0.086	0.048	-2.0	48.0	IV	
5-6	-0.300	-0.337	-6.1	43.9	III	
6-8	-0.136	-0.174	1.7	51.7	II	
7-8	0.276	0.239	-14.6	35.4	IV	
8-8	-0.044	-0.081	-1.9	48.1	III	
9-5	-0.037	-0.075	1.3	51.3	II	
10-5	0.082	0.045	-1.4	48.6	IV	
11-7	0.064	0.027	3.0	53.0	I	
12-5	-0.058	-0.095	-3.8	46.2	III	
13-8	0.502	0.464	-8.3	41.7	IV	
14-11	-0.294	-0.331	-1.4	48.6	III	
15-3	-0.142	-0.179	-12.4	37.6	III	
16-7	0.041	0.004	-12.0	38.0	IV	
17-5	-0.003	-0.040	-0.3	49.7	III	
18-4	0.307	0.270	-2.4	47.6	IV	
19-7	0.203	0.166	-4.4	45.6	IV	
20-4	0.202	0.165	1.9	51.9	I	



I（満足度評価は高く影響度も大きいので、一層のレベルアップでまちの顔になる領域）

- 11-7 : 子育て支援全般
- 20-4 : 連携によるまちづくり全般

R

II（満足度評価が高く重要度は低いので、現状維持で構わない領域）

- 1-7 : 学校教育全般
- 3-8 : 地域の歴史文化全般
- 6-8 : 住宅や住宅地全般
- 9-5 : 健康・医療全般

III（満足度評価が低く重要度も低いので、いずれ改善が必要な領域）

- 5-6 : 省エネと再生エネルギー全般
- 8-8 : 防災・防犯全般
- 12-5 : 障がい者福祉全般
- 14-11 : 農業全般
- 15-3 : 林業全般
- 17-5 : 情報共有全般

IV（満足度評価が低く影響度が大きいので、早急に改善すべき領域）

- 2-7 : 学習機会全般
- 4-10 : 環境の保全・創造全般
- 7-8 : 交通網全般
- 10-5 : 高齢者福祉全般
- 13-8 : 観光全般
- 16-7 : 商工業全般
- 18-4 : 住民参加全般
- 19-7 : 行財政全般

R



重点施策とすべき領域

※この影響度の類型のうち、IVは満足度評価が低く影響度が大きいので、その改善効果の影響は全体に対して大きく作用する。そこで、このIVを施策領域として最も重視し、その施策項目の満足度評価を向上させるような目標値「目指そう値」を設定し、その実現を図ることが、総合計画による住民満足度の向上に効果的に結びつくことが期待できる。

自由記述回答から（※具体的な意見内容は、資料編 P123 参照）

- A) ニセコ町の将来がどこに向かうのかイメージできない（No312、577）
- B) ニセコ町のまちづくりを評価している（No532）
- C) ニセコブランドのイメージを利用してお見合いイベントを（No1002）

4：まとめ

4-1. アンケートとヒアリングから

A. 南西地区の交通問題取り組みの波及効果

南西地区における交通問題（デマンドバスの利便性）についての南西地区の満足度評価が大きく向上し、関連して他の多くの領域・項目についても満足度評価が向上した。平成 28-29 年冬のスキーバス運行によってデマンドバスの利用状況に余裕が生まれ予約が取れやすくなったことなど、デマンドバスの実際の利便性が向上したことや、デマンドバスが利用しやすくなるような情報の提供など役場の取り組みに対する評価、また、福井地区における住民有志による「助け合い交通」の活動など地域自治会の問題解決に向けた取り組みが可視化されてきたことによって、そのことへの期待感や信頼感が周辺地区にも広がる形で満足度評価の向上に結びついた可能性が大きいと思われる。この 4 年間の取り組みによる成果として、最も大きなものである。地域課題に関する取り組みのひとつのモデルとして位置付けることが可能である。

●具体的には以下のページの **A** を参照のこと

→P16（学校の教育）、P20（歴史文化）、P30～33（交通網）、P55～56（情報共有）、P65（まちづくり全般）

B. コミュニティスクールの取り組み効果

コミュニティスクールの取り組みは始まったばかりだが、学校教育に及ぼす影響度が住民に認知され、高い満足度評価に結びついているばかりでなく、学校における子供の教育が地域全体の中で可視化され地域全体にとっての価値が再認識されるきっかけになる可能性がある。また、地域住民の学習活動におけるリーダーの可視化にも結びつく効果も期待できるが、そのためには大人のリカレントが必要となる。また、まちづくり基本条例における住民参加の実質化を担う一翼としても期待できる。

●具体的には以下のページの **B** を参照のこと

→P14、P15（学校の教育）、P18（地域住民の学習機会）

C. あそぶつくと有島記念館は、町内外の幅広い層から支持されている

あそぶつくは、その交流機能と図書貸出機能の各面において町内外の利用者を得るなど、リゾート客の多いニセコ特有の利用形態となっているほか、有島記念館も幅広い住民層から高い満足度評価を受けており、地域における両施設に対する価値認識が広がっている。今後は、あそぶつくと有島記念館の連携が、各施設のメリットを結びつけて町内外の利用者に定着していくことが期待される。

●具体的には以下のページの **C** を参照のこと

→P17（住民の学習機会）、P20（地域文化）

D. 土地利用における環境への影響が懸念されている

大規模なリゾート開発や中小規模の宅地・事業所開発による緑環境への悪影響の懸念から、満足度評価が低く危機感が強い傾向が続いている。準都市計画や景観条例の規定や運用を、住民要望に沿う方向でより強化できないか、これまでの成果と限界をもとに新たな検討が期待される。

●具体的には以下のページの **D** を参照のこと

→P21、22、23（環境の保全・創造）

E. CO2 削減の方向が実感できない傾向が続いている

CO2 削減に関する満足度評価は低く、地域で省エネや再生エネルギーがどのように進められているのか、住民がその実態を理解することはまだ困難な状況にある。しかし、環境モデル都市第 2 次アクションプランが始まったので、施策や事業として町民にも可視化が進むことが期待されている。

●具体的には以下のページの **E** を参照のこと

→P25（省エネと再生エネルギー）

F. 家賃の高さが、新住民の転入を妨げる大きな障壁になっている

ニセコ町への生活移住や新規就農、観光産業への就業など、様々なニーズによる転入希望者にとって、家賃の高さが大きな障壁となっている。行政としての支援策に妙案のないのが実情だ。

●具体的には以下のページの[F]を参照のこと

→P28（住宅や住宅地）

G. 高齢者を地域で支えあう取り組みが前進している

高齢者を地域で支え合う取り組みがこの4年間で全町的に前進しつつあるが、災害や犯罪から高齢者を守る取り組みは、その緊急性は認識されながら具体的な成果は上がっていない。高齢者福祉全体の評価が向上した背景には、保健師が4人から5人に増え、地域に赴いたり個々のケアがきめ細かくなったりしていることがあるのではないかと。一方で、高齢者を消費者詐欺から守る仕組みづくりについては、関係するセクションの連携が必要になっているのではないかと。

●具体的には以下のページの[G]を参照のこと

→P38、39（高齢者福祉）

H. 子育て世帯や障がい者に固有の社会的ニーズに、地域は応えることができていない

子育て世帯や障がい者が抱えている課題は地域社会とのつながり無くしては解決が難しいにもかかわらず、これができていないのは、子育て世帯や障がい者に対して地域社会全体の認識や関心が及んでいないからである。その観点から、幼児センターなどと協力し合って、幼児センターの仕組みが及んでいない対象者への関わりを行う民間のボランティアグループの活動が見られるようになったことに、注目すべきだろうし、行政機関としての子育て支援機関の一層の充実も求められる。

●具体的には以下のページの[H]を参照のこと

→P41、43、44（子育て支援社、障がい者福祉）

I. リゾート観光客の長期滞在やMICEの推進は、来訪客と住民との交流づくりがポイント

リゾート観光客の長期滞在は、住民との交流がいかなる形で実現するかによって成否が分かれる。MICEについても地域住民との交流が可能になる形態や適切な規模が求められる。

●具体的には以下のページの[I]を参照のこと

→P46、47（観光）

J. 有機農業に関する地域の評価は、有機農業実践者の存在が地域に開かれることで向上する

有機農業の状況を具体的に知る機会が多い地区では有機農業についての理解が進み、有機農業の今後について、その可能性も課題も現実的に考え評価している。また、農業者と非農業者の間で有機農業に対する評価に有意な差は見られなかった。有機農業に対する行政支援については、有機JASや特認など基準の明確な農法でないと難しいという認識もある。

●具体的には以下のページの[J]を参照のこと

→P49（農業）

K. 観光と商工業の循環は、地元商工事業者をベースに

地元商店街の商工事業者は、観光と商工業の循環についてはその経済的メリットが地元商工事業者に実感されることによって、初めて循環形成の取り組みに参加する。

●具体的には以下のページの[K]を参照のこと

→P52（商工業）

L. 情報共有は住民が高い感心を寄せているが、情報共有を実現する役場の対応が不十分

ニセコ町が情報共有のまちづくりを掲げていることについて多くの町民は認識し関心を寄せているが、まちづくり基本条例の運用に関連して行政情報共有に向けた役場の対応が不十分であり、基本条例の形骸化も指摘される実態が町民の満足度評価を低めている。

●具体的には以下のページの[L]を参照のこと

→P55、56（情報共有）

M. コミュニティ参加についての住民の関心は高い

住民参加についての満足度評価は総じて低い、まちづくりへの住民参加よりも町内会活動への参加に強い関心を寄せている。

●具体的には以下のページの[M]を参照のこと

→P57（住民参加）

N. 役場職員の窓口対応は総じて改善されてきたが、要改善対象となる個別のケースもある

役場職員の窓口対応は総じて改善効果が見られるものの、自由記述の中には個別に問題視されているケースがあるので、引き続き改善に向けた努力が必要である。

●具体的には以下のページの[N]を参照のこと

→P58（行財政）

O. 財政状況についての町民の認識は深まっている

行財政の実態に関する情報の共有が進められ、その点についての住民の満足度評価は向上しているが、評価の水準はまだ低く、情報共有が進むにつれて住民の危機感が強まる領域と危機感が緩和された領域が見えてきた。この状態を過度的に経ることで、町民は自分の町の行財政を我が事として向き合うことができるようになる。行財政の実態に関する情報を、その問題点も含めて住民との情報共有を積極的に進め、課題をともに考える環境づくりを進めていることは、まちづくり基本条例の精神に適ったことでもある。

●具体的には以下のページの[O]を参照のこと

→P59～61（行財政）

P. 国際化は、その相手が見えることで満足度評価が高まる

国際化は、国際交流員や外国人住民との日常的な交流が増え、存在や関係性が可視化されることによって、住民の満足度評価が向上している。しかしその反面、特に川北地区のリゾート施設で働く外国人従業員がゴミの分別などにおいて適切に対応できていない実情があることなどが、その地区住民の評価を下げていることもあり、雇用事業者などの一層の努力が求められる。

●具体的には以下のページの[P]を参照のこと

→P63（連携）

Q. まちづくり基本条例の運用に関する満足度評価の低下傾向を、真摯に受け止める必要がある

まちづくり基本条例の運用については、多くの地区と町全体で満足度評価が低下傾向にある。この背景には、近年の具体的事案について条例運用の形骸化が見られるとの指摘がなされていたことなどが想定されるので、これらの状況を真摯に受け止め、実態把握と具体的な検証を行い、改善に向けた努力が求められる。

●具体的には以下のページの[Q]を参照のこと

→P64（まちづくり基本条例）

R. まちづくり全般の住民満足度評価を高めるために、重点施策とすべき領域が明らかとなった

影響度指標類型のIV（早急に改善すべき領域）を重点課題として行政資産を集中的に投入し、それらを影響度指標類型のI（町の誇りになる領域）に転換すべく、今回の見直しに基づく向こう4年間の重点施策を具体化すべきである。

●具体的には以下のページの[R]を参照のこと

→P66（まちづくり全体）

4-2. 重点課題の絞り込みに向けて（アンケート分析からの視点）

（1）全体におけるIVの算出

既に（P14～63）、各ジャンルごとの影響度指標類型（Ⅰ～Ⅳ）を算出し、特にその中のⅣは「早急に改善が必要な領域」として政策見直しの際に重点施策とする検討を加える対象となるが、しかし、ここで指標の補正が必要となる。

例えば、影響度を示す「標準回帰係数（ β ）」の値が大きいジャンル「13-8. 観光全般」 $\beta = 0.502$ の中で β の値が小さい項目「13-4. 周辺町村との広域連携」 $\beta = 0.039$ と、 β の値が低いジャンル「5-6. 省エネと再生エネルギー」 $\beta = -0.300$ の中で β が高い項目「5-2. 再生エネルギーを自給する仕組み」 $\beta = 0.367$ の、どちらの β 値が高いのか、このままでは比較ができない。

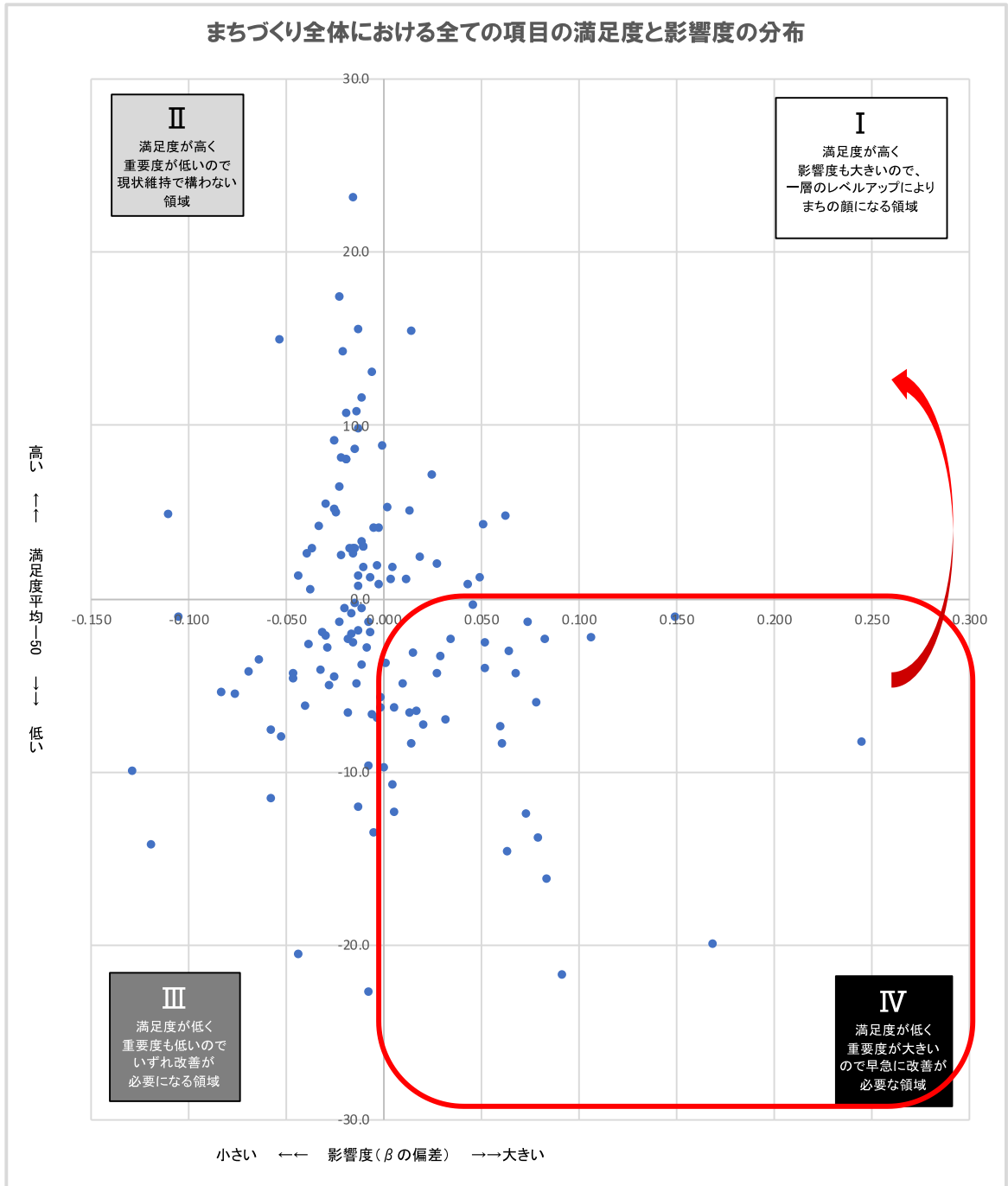
そこで、全ての設問項目を統一した基準によって一元的に比較できるように、データを補正する必要がある。この補正は、各ジャンルごとの β の値によって各設問項目の β に重み付けを行うことにより算出した。その結果は、次の通りである。

	標準回帰 係数(β)	重み付け された β	重み付け された β の偏差	満足度 平均- 50	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
1-1	0.152	-0.010	-0.025	9.1		Ⅱ		
1-2	0.279	-0.019	-0.033	4.2		Ⅱ		
1-3	-0.026	0.002	-0.013	9.8		Ⅱ		
1-4	0.143	-0.010	-0.024	4.9		Ⅱ		
1-5	-0.031	0.002	-0.012	0.7		Ⅱ		
1-6	0.429	-0.029	-0.043	1.3		Ⅱ		
1-7	-0.065	0.004	-0.010	2.9		Ⅱ		
2-1	0.083	0.029	0.015	15.4	Ⅰ			
2-2	0.082	0.029	0.014	-8.4				Ⅳ
2-3	0.249	0.088	0.073	-12.5				Ⅳ
2-4	0.112	0.039	0.025	7.1	Ⅰ			
2-5	0.166	0.058	0.044	0.7	Ⅰ			
2-6	0.267	0.094	0.080	-13.8				Ⅳ
2-7	0.342	0.121	0.106	-2.3				Ⅳ
3-1	-0.038	0.002	-0.012	15.5		Ⅱ		
3-2	0.101	-0.006	-0.020	14.2		Ⅱ		
3-3	0.131	-0.008	-0.022	6.3		Ⅱ		
3-4	0.247	-0.014	-0.029	5.4		Ⅱ		
3-5	0.123	-0.007	-0.021	2.4		Ⅱ		
3-6	0.047	-0.003	-0.017	2.8		Ⅱ		
3-7	0.389	-0.023	-0.037	0.4		Ⅱ		
3-8	-0.057	0.003	-0.011	3.2		Ⅱ		
4-1	0.107	0.009	-0.005	4.0		Ⅱ		
4-2	0.099	0.009	-0.006	13.0		Ⅱ		
4-3	0.043	0.004	-0.011	11.5		Ⅱ		
4-4	0.013	0.001	-0.013	10.8		Ⅱ		
4-5	-0.014	-0.001	-0.015	23.1		Ⅱ		
4-6	0.138	0.012	-0.002	4.0		Ⅱ		
4-7	0.036	0.003	-0.011	-0.7			Ⅲ	
4-8	0.224	0.020	0.006	-10.8				Ⅳ
4-9	0.395	0.035	0.021	-7.4				Ⅳ
4-10	0.086	0.008	-0.007	-2.0			Ⅲ	

5-1	0.159	-0.049	-0.063	-3.6			III	
5-2	0.012	-0.004	-0.018	-6.7			III	
5-3	0.292	-0.090	-0.104	-1.1			III	
5-4	0.197	-0.061	-0.075	-5.6			III	
5-5	0.367	-0.114	-0.128	-10.0			III	
5-6	-0.300	0.093	0.078	-6.1				IV
6-1	0.276	-0.039	-0.053	14.9		II		
6-2	0.054	-0.008	-0.022	17.4		II		
6-3	0.127	-0.018	-0.032	-4.2		II		
6-4	0.177	-0.025	-0.039	2.6		II		
6-5	0.223	-0.031	-0.046	-4.7			III	
6-6	0.071	-0.010	-0.024	5.1		II		
6-7	0.202	-0.028	-0.043	-20.6			III	
6-8	-0.136	0.019	0.005	1.7	I			
7-1	0.100	0.029	0.014	5.0	I			
7-2	0.046	0.013	-0.001	-5.7			III	
7-3	-0.037	-0.011	-0.025	-4.5			III	
7-4	0.156	0.044	0.030	-3.4				IV
7-5	0.374	0.106	0.092	-21.7				IV
7-6	0.163	0.046	0.032	-7.0				IV
7-7	0.266	0.076	0.062	-8.4				IV
7-8	0.276	0.079	0.064	-14.6				IV
8-1	0.074	-0.003	-0.018	-2.4			III	
8-2	0.101	-0.005	-0.019	10.7		II		
8-3	0.023	-0.001	-0.015	-2.6			III	
8-4	0.029	-0.001	-0.016	-0.9			III	
8-5	0.360	-0.016	-0.030	-2.0			III	
8-6	0.171	-0.008	-0.022	-1.4			III	
8-7	0.286	-0.013	-0.027	-5.1			III	
8-8	-0.044	0.002	-0.012	-1.9			III	
9-1	0.172	-0.007	-0.021	8.0		II		
9-2	0.117	-0.005	-0.019	7.9		II		
9-3	0.109	-0.004	-0.018	8.0		II		
9-4	0.555	-0.021	-0.036	2.9		II		
9-5	-0.037	0.001	-0.013	1.3		II		
10-1	0.308	0.026	0.012	1.0	I			
10-2	0.221	0.019	0.005	1.1	I			
10-3	0.097	0.008	-0.006	1.2		II		
10-4	0.373	0.032	0.017	-6.6				IV
10-5	0.082	0.007	-0.007	-1.4			III	
11-1	0.254	0.017	0.002	5.2	I			
11-2	0.091	0.006	-0.008	-2.9			III	
11-3	0.192	0.013	-0.002	0.8		II		
11-4	0.168	0.011	-0.003	1.8		II		
11-5	0.171	0.011	-0.003	-7.0			III	
11-6	0.217	0.014	0.000	8.8	I			
11-7	0.064	0.004	-0.010	3.0		II		

12-1	0.081	-0.005	-0.019	-0.6			III	
12-2	0.254	-0.015	-0.029	-2.2			III	
12-3	0.239	-0.014	-0.028	-2.9			III	
12-4	0.424	-0.025	-0.039	-6.3			III	
12-5	-0.058	0.003	-0.011	-3.8			III	
13-1	0.118	0.061	0.046	-0.4				IV
13-2	0.048	0.025	0.011	-5.0				IV
13-3	0.129	0.067	0.053	-4.1				IV
13-4	0.039	0.020	0.006	-6.4				IV
13-5	0.153	0.079	0.065	-3.1				IV
13-6	0.190	0.098	0.084	-16.2				IV
13-7	0.355	0.184	0.169	-19.9				IV
13-8	0.502	0.259	0.245	-8.3				IV
14-1	-0.099	0.030	0.016	-3.2				IV
14-2	0.104	-0.032	-0.046	-4.4			III	
14-3	-0.033	0.010	-0.004	-13.6			III	
14-4	0.077	-0.023	-0.038	-2.7			III	
14-5	-0.002	0.000	-0.014	2.8	II			
14-6	0.142	-0.043	-0.057	-7.6			III	
14-7	0.123	-0.037	-0.051	-8.0			III	
14-8	0.178	-0.054	-0.068	-4.3			III	
14-9	0.224	-0.068	-0.082	-5.5			III	
14-10	0.315	-0.095	-0.110	4.9	II			
14-11	-0.294	0.089	0.075	-1.4				IV
15-1	0.291	-0.042	-0.057	-11.6			III	
15-2	0.714	-0.104	-0.118	-14.2			III	
15-3	-0.142	0.021	0.006	-12.4				IV
16-1	0.017	0.001	-0.014	-4.9			III	
16-2	0.170	0.007	-0.007	-9.8			III	
16-3	0.109	0.005	-0.010	1.8	II			
16-4	0.219	0.009	-0.005	-6.8			III	
16-5	0.178	0.007	-0.007	-22.7			III	
16-6	0.356	0.015	0.001	-9.8				IV
16-7	0.041	0.002	-0.013	-12.0			III	
17-1	0.129	0.000	-0.015	2.8	II			
17-2	0.096	0.000	-0.015	8.5	II			
17-3	0.482	-0.001	-0.016	-2.1			III	
17-4	0.298	-0.001	-0.015	2.6	II			
17-5	-0.003	0.000	-0.014	-0.3			III	
18-1	0.211	0.067	0.053	-2.6				IV
18-2	0.260	0.082	0.068	-4.4				IV
18-3	0.519	0.164	0.150	-1.1				IV
18-4	0.307	0.097	0.083	-2.4				IV

19-1	0.159	0.033	0.019	2.4	I		
19-2	0.074	0.016	0.001	-3.8			IV
19-3	0.133	0.028	0.014	-6.6			IV
19-4	0.065	0.014	-0.001	-6.3		III	
19-5	0.236	0.049	0.035	-2.4			IV
19-6	0.357	0.075	0.061	-7.5			IV
19-7	0.203	0.043	0.028	-4.4			IV
20-1	0.318	0.066	0.052	4.2	I		
20-2	0.308	0.064	0.050	1.2	I		
20-3	0.372	0.078	0.063	4.8	I		
20-4	0.202	0.042	0.028	1.9	I		



《参考》

影響度の大きな領域（Ⅰ、Ⅳ）における施策項目を影響度の大きな順（＝ β の値の大きな順）に並べ替えた一覧表は、下記のとおりである。

	標準回帰 係数	重み付け された β	重み付け された β の偏差	満足度 平均- 50	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
20-3	0.372	0.078	0.063	4.8	I			
20-1	0.318	0.066	0.052	4.2	I			
20-2	0.308	0.064	0.050	1.2	I			
2-5	0.166	0.058	0.044	0.7	I			
20-4	0.202	0.042	0.028	1.9	I			
2-4	0.112	0.039	0.025	7.1	I			
19-1	0.159	0.033	0.019	2.4	I			
2-1	0.083	0.029	0.015	15.4	I			
7-1	0.100	0.029	0.014	5.0	I			
10-1	0.308	0.026	0.012	1.0	I			
6-8	-0.136	0.019	0.005	1.7	I			
10-2	0.221	0.019	0.005	1.1	I			
11-1	0.254	0.017	0.002	5.2	I			
11-6	0.217	0.014	0.000	8.8	I			

	標準回帰 係数	重み付け された β	重み付け された β の偏差	満足度 平均- 50	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
13-8	0.502	0.259	0.245	-8.3				IV
13-7	0.355	0.184	0.169	-19.9				IV
18-3	0.519	0.164	0.150	-1.1				IV
2-7	0.342	0.121	0.106	-2.3				IV
7-5	0.374	0.106	0.092	-21.7				IV
13-6	0.190	0.098	0.084	-16.2				IV
18-4	0.307	0.097	0.083	-2.4				IV
2-6	0.267	0.094	0.080	-13.8				IV
5-6	-0.300	0.093	0.078	-6.1				IV
14-11	-0.294	0.089	0.075	-1.4				IV
2-3	0.249	0.088	0.073	-12.5				IV
18-2	0.260	0.082	0.068	-4.4				IV
13-5	0.153	0.079	0.065	-3.1				IV
7-8	0.276	0.079	0.064	-14.6				IV
7-7	0.266	0.076	0.062	-8.4				IV
19-6	0.357	0.075	0.061	-7.5				IV
13-3	0.129	0.067	0.053	-4.1				IV
18-1	0.211	0.067	0.053	-2.6				IV
13-1	0.118	0.061	0.046	-0.4				IV
19-5	0.236	0.049	0.035	-2.4				IV
7-6	0.163	0.046	0.032	-7.0				IV
7-4	0.156	0.044	0.030	-3.4				IV
19-7	0.203	0.043	0.028	-4.4				IV
4-9	0.395	0.035	0.021	-7.4				IV
10-4	0.373	0.032	0.017	-6.6				IV
14-1	-0.099	0.030	0.016	-3.2				IV
2-2	0.082	0.029	0.014	-8.4				IV
19-3	0.133	0.028	0.014	-6.6				IV
13-2	0.048	0.025	0.011	-5.0				IV
15-3	-0.142	0.021	0.006	-12.4				IV
13-4	0.039	0.020	0.006	-6.4				IV
4-8	0.224	0.020	0.006	-10.8				IV
19-2	0.074	0.016	0.001	-3.8				IV
16-6	0.356	0.015	0.001	-9.8				IV

(2) 重点施策の候補の絞り込み (IVとなった項目の中から)

3回のアンケート (2010年、2015年、2019年) を通して各ジャンルごとにIV (早急に改善が必要な領域) であり、かつ全体においてもIV (P70~73) であった重複部分 A、B、C、D (下記) を「重要課題項目」とし重点施策の候補として絞り込んだ。また、それら A~D 各重要課題項目と内容的に深い関連がある項目を「重点関連項目」とした。

2019年度のアンケート調査における設問項目		影響度指標類型の変化			全体補正後の指標類型	重点課題項目 IV→IV→IV & IV & 重点関連項目
(1)	子どもの教育に関する次の各項目について	2010	2015	2019	2019	
(2)	地域住民の学習機会に関する次の各項目について	2010	2015	2019	2019	
	3 地域住民の学習活動のリーダーが育っているか	III	IV	IV		
	6 スポーツ合宿の誘致が可能な施設について		IV	IV	IV	
	7 「地域住民の学習機会」全体についての満足度は?			IV	IV	
(3)	地域の歴史文化に関する次の各項目について	2010	2015	2019	2019	
(4)	環境の保全・創造に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	8 ニセコ町の土地利用が適切に行われているか	IV	III	IV	IV	重点関連項目 C
	9 準都市計画区域のエリアの現状について		IV	IV	IV	重点関連項目 C
	10 「環境の保全・創造」全体についての満足度は?			IV		
(5)	地域における再生エネルギーの活用と省エネの状況について	2010	2015	2019	2019	
	3 暮らしや経済活動における二酸化炭素削減の取組について	II	IV	IV		
	5 エネルギー等環境に関する地域課題を解決するビジネスの起業について		IV	IV		
(6)	住宅や住宅地に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	5 住宅不足を解消するための、民間住宅の建設促進について		III	IV		
	7 廃屋の環境・景観対策について		IV	IV		
(7)	交通網に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	4 デマンドバス「にこっとBUS」の利便性などについて	IV	IV	IV	IV	重点課題項目 A
	5 公共交通機関 (JRやバスなど) の使いやすさについて			IV	IV	重点関連項目 A
	6 高速道路や新幹線などの整備促進の取組について	IV	IV	IV	IV	
	7 商店街や公共施設などの使いやすさについて		III	IV	IV	
	8 「交通網」全体についての満足度は?			IV	IV	
(8)	防災・防犯に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	5 防災備品の定期的な点検の状況について		IV	IV		
	6 災害時における町内避難経路について		IV	IV		
	7 消費者詐欺等から消費者が自らを守るための行政の支援について		IV	IV		重点関連項目 B
(9)	医療・健康に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
(10)	高齢者福祉に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	4 災害や犯罪などから高齢者を守る取組について	IV	IV	IV	IV	重点課題項目 B
	5 「高齢者福祉」全体についての満足度は?			IV		
(11)	子育て支援に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
(12)	障がい者福祉に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
	2 障がい者への、教育支援、就労支援、保健・医療・リハビリ支援について		IV	IV		
	4 障がい者が安全安心に暮らせる生活環境について		IV	IV		

2019年度のアンケート調査における設問項目		影響度指標類型の変化			全体補正後の指標類型	重点課題項目 IV→IV→IV & IV & 重点関連項目
(13)	観光に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	重点課題項目 C
5	国内や海外からの観光客に対する住民のおもてなしについて	IV	III	IV	IV	
6	大規模なリゾート観光開発の進め方について	IV	IV	IV	IV	
7	リゾート観光エリアと市街地商店街の経済循環について		IV	IV	IV	
8	「観光」全体についての満足度は?			IV	IV	
(14)	農業に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	重点関連項目 C
2	都市住民との交流を深めるグリーンツーリズムの現状について		III	IV		
6	農業への支援システムづくりについて		IV	IV		
7	共同経営体や農作業の受託をする組織を作り育てることについて		IV	IV		
8	農地の保全状態について	IV	IV	IV		
9	地域合意に基づく農村地区の集落再編について		III	IV		
(15)	林業に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
2	計画的な森林づくりの状況について		IV	IV		
(16)	商工業に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
4	観光産業との経済循環について		III	IV		
5	生活に必要な商品やサービスが町内で充たされているか		III	IV		
6	小規模であっても多様なビジネスが起業・創業されているか		IV	IV	IV	
7	「商工業」全体についての満足度は?			IV		
(17)	情報共有に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
3	行政情報の分かりやすさや迅速性等、情報内容の質の向上について	IV	III	IV		
(18)	住民参加に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	
3	町内会など地区を良くする活動について	III	IV	IV	IV	
4	「住民参加」全体についての満足度は?			IV	IV	
(19)	行財政に関する次の項目について	2010	2015	2019	2019	重点関連項目 D
5	町の財政状況に関する透明性や分かりやすさについて		III	IV	IV	重点課題項目 D
6	町の状況から見て、住民の負担と受益はバランスが取れているか	IV	IV	IV	IV	
7	「行財政」全体についての満足度は?			IV	IV	

上記のように、「重点課題項目」は次の4点とする。

- A. デマンドバスの利便性を高め、自立と連携の地域自治を確立する
- B. 災害と犯罪から高齢者を守る地域の「相互扶助」を確立する
- C. 土地利用がまちづくりの基礎となるランドデザインをつくる
- D. 町民に開かれた町財政の健全化を推進する

※参考

過去2回（2010年、2015年）のアンケート調査において影響度指標類型が「IV」であったが、今回（2019年）「IV」以外（つまり、I、II、III）の類型になった項目は、以下の意通りである。なぜIVから脱却できたのか、その背景や具体的対応等から学ぶことは多いと思われる。

2019年度のアンケート調査における設問項目		影響度の類型の変化(※注)		
(1)	子どもの教育に関する次の各項目について	2010	2015	2019
	2 学習意欲があり、自分で考えることができる子どもの教育について	IV	IV	I
	5 幼児センターから高等学校まで連携して、教育や子育てを向上させているか	IV	IV	II
	6 学校教育と地域住民は連携して教育環境や内容の充実を図っているか	IV	IV	I
(3)	地域の歴史文化に関する次の各項目について	2010	2015	2019
	7 町民の文化活動に対する行政の支援について	IV	IV	I
(8)	防災・防犯に関する次の項目について	2010	2015	2019
	3 町民参加の避難訓練について		IV	III
(9)	医療・健康に関する次の項目について	2010	2015	2019
	4 健康保険、介護保険、医療機関等の広域的取組について		IV	I
(10)	高齢者福祉に関する次の項目について	2010	2015	2019
	1 高齢者を地域で助け合う身近な見守り、介護、福祉について	IV	IV	I
(11)	子育て支援に関する次の項目について	2010	2015	2019
	5 家庭において家族が子育てに協力し合う男女共同の取組について	IV	IV	II
(12)	障がい者福祉に関する次の項目について	2010	2015	2019
	3 障がい者が自立し充実した生活を送るための、相談・支援の取組について		IV	III
(14)	農業に関する次の項目について	2010	2015	2019
	4 環境と調和したクリーン農業によるブランド化の展開について	IV	IV	III
(16)	商工業に関する次の項目について	2010	2015	2019
	2 綺羅街道など市街地の商店街について	IV	IV	III

